

平成 26 年度

高校生国際協力実体験プログラム

報 告 書

2014 年（平成 26 年）

1 回目 8 月 6 日～8 月 8 日

2 回目 8 月 20 日～8 月 22 日



独立行政法人 国際協力機構
九州国際センター（JICA 九州）

<目 次>

1. は じ め に	1
2. 高校生国際協力実体験プログラム報告	
プ ロ グ ラ ム	
開会式・オリエンテーション	3
アイスブレイキング	4
ク バ ー ラ	7
国際交流パーティ	9
アイスブレイキング「朝からボディー花火大会！」	11
開発教育ワークショップ「貿易ゲーム」	13
青年海外協力隊体験談	15
青年海外協力隊活動計画作り	17
青年海外協力隊活動計画発表	20
ふりかえり・閉会式	22
参加校一覧・スタッフ一覧	24
3. 添 付 資 料	
・ 高校生国際協力実体験プログラム募集要項	26
・ アンケート集計結果（参加生徒・教員）	31

1. はじめに

【事業の結果概要】

平成8年度より JICA 九州は、九州の高校生の開発途上国への理解を深めることを目的とした「高校生国際協力実体験プログラム」を実施しており、今回で19回目を迎えた。

本年度は九州7県から28校からの応募があったため、応募書類に関しての選考を行い、19校を合格とした。結果、計85名（生徒66名、教員19名）が本プログラムに参加した。事前学習として、各県国際協力推進員が参加校を訪れ、JICA 事業の紹介を行った。また参加する生徒達には、プログラム参加前の「国際協力」に関するイメージをウェビング^{*1}により記述してもらい、プログラム後との比較を行った。

国際協力実体験プログラムの第1回目は8月6日から8月8日、第2回目は8月20日から8月22日にかけての2泊3日で JICA 九州にて行なわれた。JICA 研修員受入事業により各国から JICA 九州に来ている研修員との交流、各県国際協力推進員の任国の料理試食、クバーラ^{*2}、元青年海外協力隊員による体験談、貿易ゲーム、青年海外協力隊活動計画作り・発表等を行なった。

生徒、教員に対するアンケートの結果からは、ほぼ全員がプログラムに対して満足していることが伺えた。

特に生徒達からは、貿易ゲームと青年海外協力隊活動計画作りが印象に残っているという意見が多く、「世界は平等ではない事を知りました」、「協力することが大事」、「今まででいちばん頭を使った」といった感想が寄せられた。もっと学びたいという理由から、2泊3日では短いという意見も多い。

プログラム全体を通しての参加者の評価は以下の通りである。

【アンケート結果】

・三日間を通してプログラムの内容の満足度は何%でしたか（85名中）

満足度 (%)	100 以上	90 ～ 99	80 ～ 89	80 未満	無回答
人数	53 人	19 人	8 人	2 人	3 人

ほとんどの参加者が90%以上の満足度を示しており、今回のプログラム内容が充実したものであり、参加者の期待に応えられていたことが伺える。以前も参加した教員からは、「自身、3回参加しましたが、年々バージョンアップしてきていると感じます」という意見もあった。

参加者からの要望や改善点としては、例年タイムスケジュールに関する指摘が挙げられる。しかし、タイムマネジメントを厳格に行うためには、発表を途中で遮ったりする必要もあり、その場合には「最後まで発表させてほしい」という意見も出るため、調整が難しいところではある。

以下、各プログラムの概要と参加者からの意見を記している。多くのプログラムにおいて

「役に立った」「考えさせられた」といった感想が挙がっており、今後も反省を踏まえながらより良いプログラムを実施していきたい。

※1 「ウェビング」

一つの題材・単語（本プログラムの場合は「国際協力」）を中心として、その題材から連想できるものを書き出していき、周りに網の目のように線でつなげていく方法。グループ内での各個人の意見を共有し、課題抽出や課題解決などの計画策定に用いられる手法。



（ウェビングの様子）

※2 「クバーラ」

アフリカのマダガスカルに伝統的にある遊びで、日本の鬼ごっこのようなゲーム。青年海外協力隊でマダガスカルに赴任していた元青年海外協力隊員が日本に持ち帰り、普及活動を進めている。道具が必要なく、ルールもシンプルではあるが、仲間とのコミュニケーションがとても重要になる。グループ内でのアイスブレイクとして、2011年度よりプログラムに取り入れている。



（クバーラの様子）

2. 高校生国際協力実体験プログラム報告

【プログラム名】

開会式・オリエンテーション

担当：渡辺 了孔（大分県国際協力推進員）

(1) ね ら い

- ・ プログラムの開会をもって参加への意識を高める。
- ・ プログラムの目的および意義を確認することでより質の高いプログラムを目指す。
- ・ プログラム運営スタッフを紹介し、青年海外協力隊経験者の存在を認識する。

(2) 概 要

はじめに JICA 九州国際センター所長の勝田が開会の挨拶を行った。

JICA が実施している国際協力事業について説明を行った後、私たちの生活と世界はつながっており、国際協力は私たちの身近なものであること、また九州の国際協力の拠点となる JICA 九州で、「高校生国際協力実体験プログラム 2014」を体験することで、多くの人と出会い、交流し、様々なことを学んで欲しいと参加者への期待を述べた。

開会挨拶後、本プログラム参加にあたっての心構えとして、その意義と目的について意識をもたせるために、個別に配布したパンフレットを見ながら確認をした。

その後、3 日間を共に過ごすスタッフ（九州各県の国際協力推進員、(特活)九州海外協力協会職員、JICA 九州にて研修中の教員、インターン）の自己紹介を行った。

最後に、(特活)九州海外協力協会職員より、3 日間を九州国際センターで過ごすにあたっての注意事項、諸連絡を行った。

(3) 課題とその対応策

プログラム開始前に、行程などを民族音楽とともにビッグパッドでスライドショーとして流したが、第二期に流した日付が、第一期のものとなっていた。事前に確認する必要がある。



(開会式 JICA 九州所長 勝田の挨拶)



(スタッフ自己紹介)

【プログラム名】

アイスブレイキング「はじめまして！新しい仲間たち！」

担当：西宮 奈緒美（北九州市国際協力推進員）

(1) ね ら い

- ・ 参加者の緊張をほぐし、プログラム全体に参加しやすい雰囲気を作る。
- ・ ゲームを通して、世界と自分との距離を徐々に近づけていき、本プログラムの導入とする。
- ・ グループ分けをして、その後のプログラムにつなげる。

(2) 概 要

6つのワークを通して、学校単位のグループから、個人の集合体へ、そして新しいグループ形成をはかった。

あえて言葉を使わないワークから始め、徐々に他者と関わり合うような段階を経ることで、緩やかに緊張をほぐした。

<内 容>

- ① 学校紹介：事前学習で宿題になっていた学校新聞を使って、1分間スピーチで自分の学校を紹介した。
- ② バースデーライン：言葉を使わずに誕生日順に参加者で円を作った。
- ③ 部屋の四隅：共通点と相違点を探した。
 - 1) 出身県（各地の推進員の周りに集合）
 - 2) 部活（運動部、文化部、なし、他の習い事）
 - 3) 将来の夢（ある、ない、考え中）
 - 4) 今の気持ち（ドキドキ、わくわく、びくびく、その他）
- ④ 地球ビンゴ：自分達と世界の結びつきを見つけながら、ビンゴをした。（※ P.4 参照）
- ⑤ 絵合わせ：名札に仕込まれた MDGs パズルを使ってグループ分けをし、8つのゴールについて解説。
- ⑥ グループ名決め：グループに分かれてからの自己紹介およびグループ名決め。
（※ 2回目はグループ名をこちらから指定した。）

(3) 課題とその対応策

- ・ 時間がぎりぎりだったので、バースデーラインからスタッフをはずしたり、部屋の四隅の質問を減らしたり、地球ビンゴは時間を区切ったりして調整した。
- ・ 1回目は生徒たちにグループ名を考えてもらったが、あまり使うことがなかったため、2回目はスペイン語の数字の読みをそのままグループ名とした。今後は必要かどうか再検討の余地あり。
- ・ 声が小さい生徒がいるということだったので、マイクフォローに人員を配置した。
- ・ MDGs への関心が高かったなので、教材として、JICA の資料を配布した。

- ・ 学校紹介の時間(1分間)が短すぎるとの意見が多かった。かなり準備してきてしまった学校があるようなので、事前学習で推進員からの共通の予告、もしくは新たな時間設定が必要。

(4) 参加者からの声

【生 徒】

- ・ 地球ビンゴの時、知らないことを知り、その上、他の学校の方と話すことができました。名札の中のピースを使ったグループ分けがおもしろいと思いました。
- ・ 学校紹介の1分間は短く感じましたが、良い経験となりました。短い時間で重要なポイントを短く、的確に相手に伝える難しさが分かりました。
- ・ 学校・年齢関係なく話してくれる人が多くて、とても気が楽になった。
- ・ 必ず他者と関わることになっていて、打ち解けることができ、とても楽しかった。
- ・ 初めは知らない人ばかりで不安でドキドキした。でも、ゲームをしていくうちに話せる人が増えてワクワクしてきました。ビンゴゲームの質問は、簡単そうで出来ないのが多かったです。結構、身近に海外のものがあることを改めて感じました。

【先 生】

- ・ 様々なゲームを取り入れて、本当のアイスブレイクが出来ていたと思います。
- ・ 授業でも取り入れることができる活動もあり、勉強になりました。



(学 校 紹 介)



(バースデーライン)



(部屋 の 四 隅)



(地球ビンゴ)

地球ビンゴ 「はい」と答えられる人を見つけて、**名前**とその**答え**を書きこもう！

ルール：1人につき1つしか質問できません。

1. 今、身につけている衣類に外国製のものがありますか？ どれ？ どの国の？ 名前：	2. 海外に住んでいる人と手紙のやりとりをしたことがありますか？ どの国の人？ 名前：	3. インドカスリランカでできた飲み物を飲んだことがありますか？ どの何を飲んだの？ 名前：	4. 海外のロックバンドの名前を言えますか？ なんていう名前？ 名前：	5. 家にある外国製品の名前を言えますか？ なんていう名前？ 名前：
6. 自分か家族の誰かが海外に行ったことがありますか？ 誰がどこに行ったの？ 名前：	7. 英語以外の言葉を耳にしたことがありますか？ 何語？ 名前：	8. 海外の料理があるレストランで食事をしたことがありますか？ どの国の料理？ 名前：	9. テレビで青年海外協力隊が出ているのを見たことがありますか？ 印象に残っていることは？ 名前：	10. 英語になっている日本の言葉を知っていますか？ なんていう言葉？ 名前：
11. 海外の航空会社の名前を言えますか？ 名前は？ 名前：	12. 海外に行ったことのある人や、住んだことのある人と話をしたことがありますか？ どの国？ 誰？ 名前：	13. ラッキー★ポイント最初に、自分の名前を書き込もう！ 名前：	14. 海外の作家の本（翻訳でよい）を何か知っていますか？ 名前分かる？ 名前：	15. 海外のテレビ局が作った番組を見たことがありますか？ どの国のどんな番組？ 名前：
16. 海外の映画を観たことがあって、そのタイトルを言えますか？ タイトルは？ 名前：	17. 海外から来た人が家に泊まったことがありますか？ どの国の人？ 名前：	18. 国際協力をしている団体の名前を1つ言えますか？ 名前知ってる？ 名前：	19. 輸入された食べ物を食べたことはありますか？ どの国の何食べたん？ 名前：	20. 外国人タレントの名前と出身国を1人言えますか？ どの誰？ 名前：
21. 海外のことを紹介する日本の番組を見たことがありますか？ 番組名分かる？ 名前：	22. 海外の新聞や雑誌を見たことがありますか？ どこで何を？ 名前：	23. 海外の人の名前を3つ言えますか？ 3つ言って！ 名前：	24. 自分が行ってみたい国の名前とその理由。 言ってみて！ 名前：	25. JICAの日本語名称か英語の名前を言える？ 名前：

【プログラム名】

クバーラ

担当：大内田 祥子（鹿児島県国際協力推進員）

(1) ね ら い

- ・ 青年海外協力隊による活動の一例（クバーラの普及啓発活動）を知る。
- ・ スポーツを通して3日間を共に過ごすメンバーらと協力し、団結力を強めることで、その後のプログラムの中でグループ活動を行いやすい環境を作る。
- ・ クバーラ体験と、マダガスカル隊員による体験談を組み合わせることで、体験談に臨場感をもたせ、青年海外協力隊活動への興味を引き出す。

(2) 概 要

マダガスカルの遊びであったクバーラを、一つのスポーツとしてルールを整え、普及した青年海外協力隊員の活動を知った上でクバーラを体験し、マダガスカルと青年海外協力隊活動についてより理解を深めるため、マダガスカルで活動していた元隊員（九州海外協力協会・佃職員）による国紹介を含めた体験談を実施した。

<流 れ>

- ① 青年海外協力隊員（マダガスカル・青少年活動）によるクバーラ普及啓発活動紹介DVDを視聴
- ② クバーラルール説明
- ③ 準備体操（ギニア語でラジオ体操・ポンペイ語でストレッチ）
- ④ クバーラ体験
- ⑤ 青年海外協力隊体験談（マダガスカル・コミュニティ開発）

(3) 課題とその対応策

- ・ 副審がジャッジに戸惑う場面があった。判断基準等について事前にスタッフ内で意識を統一しておく必要がある。
- ・ 参加者によって、反応や盛り上がり始めるタイミングが異なり、進行状況が一定ではないため、その場で臨機応変に練習時間や試合方法を調整する必要がある。



（クバーラの様子）



（元マダガスカル隊員による体験談）

(4) 参加者からの声

【生 徒】

- ・ クバーラができる経緯に青年海外協力隊が関わっていて、暮らしを良くする活動がよく分かった。
- ・ 何も道具を使わずにスポーツができるのは素晴らしいなと思いました。結果はあまり良くなかったけど、一生懸命作戦を立てたりして楽しかったです。
- ・ 運動が苦手な自分でもとても楽しめた。
- ・ 最初はコツが全然分からずチーム内の雰囲気も少しバラバラだったけど、どんどんやっていく中で、ゲーム内での会話も出来たりしたので良かった。
- ・ チームプレイがとても重要で、だからこそいっぱい会話もして仲良くなれました。
- ・ みんなでスポーツをすることで心の距離が縮まったと思います。
- ・ ここで一気に緊張がほぐれました。
- ・ 皆が笑顔になれるスポーツだと思った。

【先 生】

- ・ 生徒の次第に真剣になっていく目や、適応能力などが分かって楽しく参加させて頂きました。
- ・ 男女差や運動能力にもあまり関係なく、皆で楽しめる。チームの団結力（作戦）が重要であり、コミュニケーションが必要なので入学時や新年度当初にクラスで実施すると親睦も早く深まると思った。
- ・ マダガスカルに実際に行っていた方がマダガスカルについて説明してくださり、とても興味を持って聞くことができました。

【プログラム名】

国際交流パーティ

担当：山田 泰子（佐賀県国際協力推進員）

(1) ね ら い

- ・ 研修員と交流することにより、異文化への理解を深める。
- ・ 十分に言葉が通じない相手とのコミュニケーションを通して、様々なコミュニケーション方法を知る。
- ・ 相手を理解しようとすることの大切さやその意義、そしてそれが日常生活へも通じることに気づいてもらう。
- ・ 世界各国の料理を味わうことで食文化の違いを理解し、また、日本食を紹介することにより、自国の食文化を再発見する。

(2) 概 要

高校生のグループごとに、JICA 九州の技術研修員 1～2 名に入ってもらい、交流した。

【1回目】 アフリカ地域実践的電気・電子技術者育成コース 12 名

(エジプト 2 名、エチオピア 1 名、ギニア 1 名、ケニア 1 名、リベリア 2 名、ナミビア 1 名、スーダン 1 名、スワジランド 1 名、タンザニア 1 名、ウガンダ 1 名)

- ・ 全体での研修員紹介
- ・ グループ毎に各自自己紹介（高校生は英語で、研修員は日本語で。）
- ・ 「研修員の国について知ろう」と題し、各国の写真やパンフレットをもとに会話をしたり、日本についても紹介するように促した。
- ・ 研修員の国の料理（伝統料理・よく食べている料理・自慢の料理のうち 1 つ選択）について、材料、作り方、いつ食べるか等をインタビューし、グループ毎に発表。

【2回目】 中南米地域 中小企業・地場産業活性化コース 12 名

(アルゼンチン、ボリビア、チリ、コロンビア、コスタリカ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、ホンジュラス、パナマ、パラグアイ、ペルー、ベネズエラ 各 1 名)

- ・ 推進員によるスペイン語講座
- ・ グループごとに自己紹介
- ・ 「研修員の国について知ろう」（1 回目同様）

5 分間の休憩後に世界の料理が楽しめる夕食交流会を実施。食事はバイキング形式で、メニューは推進員の派遣国の料理と日本料理を提供した。

夕食交流会のルールとして、以下の 3 つを設定した。

- ① 苦手なもの、食べたことがないものにも挑戦しよう
- ② お互いの文化を尊重しよう（箸で食べる、手で食べる、ハラル、ベジタリアン等）
- ③ でも、無理はしない（押し付け禁止）

ハラルマークやベジタリアンについても紹介し、詳細については壁に掲示をした。各テーブルで「いただきます」（日本文化紹介）と言って食事を開始し、研修員へ手巻き寿司のつくり方を説明しながら、楽しく食事をした。

食事終了後にグループ毎に研修員の感想をもらい、研修員が退場後に高校生の代表者数名が感想を発表した。

(3) 課題とその対応策

- ・ 研修員が国を紹介するために持参するメディアは、写真かパンフレットのみにする必要がある。動画は見るだけになってしまい、コミュニケーションが阻害されるため。
- ・ 教員レクチャーについて、国際交流パーティ中に個別に声を掛けるのではなく、教員用の事前案内資料を作成し、周知しておく。
- ・ 夕食交流会のとき、先生が各グループに入って食事をすると、高校生と研修員の会話が少なくなってしまった。2回目は急遽、先生テーブルを準備したが、各テーブルにある手巻き寿司が足りなかった。先生の配置場所については事前に検討しておくこと。

(4) 参加者からの声

【生徒】

- ・ 言葉が通じなくて、とても難しかった。伝えたいことが伝えられなくて、もどかしい思いをしたが、言葉は通じなくても相手の思いやり、優しい人柄が伝わってきた。使う言葉は違って人も繋がれると感じた。
- ・ ジェスチャーで伝えたり、紙に書いたりして単語だけで何とか伝えたりして、それが伝わったときがとても嬉しかった。知らない国について知れてよかった。
- ・ 英語が聞き取れなかったり、自分かしゃべる言葉がパツと思いつかなかったりしたので、もっと英語を勉強してマスターしたい。英語だけでなく様々な語学を学んでみたい。
- ・ 日本にはない珍しい料理がたくさんあって、おもしろかった。

【先生】

- ・ 事前指導をもっとしておけばよかったと思った。交流会の目標として自己PRや質問など準備させて、自信を持たせたうえで他国の（他者）の理解につなげるが必要だった。事前に質問ボードがあり、どうやって答えを引き出すかというのも今回体験できているようだった。チームの結束が期待できる内容だった。



(研修員との交流)



(研修員との夕食会)

【プログラム名】

アイスブレイキング「朝からボディー花火大会！」

担当：西宮 奈緒美（北九州市国際協力推進員）

(1) ね ら い

- ① 朝から外（中庭）で朝日を浴びて、空気を吸って、体を動かす。脳を活性化させると共に、室内作業が続くプログラムにメリハリをつける。
- ② 言葉が通じなくても、身体に不自由があったとしても、自分が出来る範囲で楽しめる、自分が楽しむことを目的として作られたボディーパーカッション教育を紹介し、みんなで一つになる演出を行い、参加者の団結力を強める。

(2) 概 要

福岡県久留米市の特別学校の先生が取り組んでいるボディーパーカッション作品『花火』を実演した（下図参照）。4小節を1フレーズとし、アレンジを加えながら4回繰り返した。5グループに分かれた円を1小節ずつずらして演奏することによって、全体で打ち上げ花火が上がるように構成されている。全体で振付を覚えて、グループ練習を行い、本番へ。最後は全員で手をつないで、花火を打ち上げて終了。

(3) 課題とその対応策

- ・ 中庭で行う予定であったが、雨天時を想定して、体育館も予約していた。
- ・ スペースは十分だったが、日差しが強いこともあり、使える場所が偏ることもあった。
- ・ けがや体調不良の人には、出来る範囲で行うか、無理せずに休むように伝えた。

朝からボディー花火大会！



小さく手拍子

大きく手拍子

曲の前半2回は膝うち
後半2回は足踏み

「パーン」と手拍子をしながら声を出す

さいごは手をつないで「打ち上げ花火！」

(4) 参加者からの声

【生 徒】

- ・ 朝から体を動かし、スッキリしました。1人ではなく、他の人と声を出して出来ました。外の緑を見ると元気になりました。
- ・ 朝の低いテンションでいたけど、皆でボディー花火をして朝から元気がついたと思う。他の人たちも笑顔になっていて1日が楽しめそうな気がした。
- ・ 簡単に楽しかった。もうちょっと色んなパターンをしてみたい。
- ・ 恥ずかしがらずに、周りの子と一緒に花火になりきりました。
- ・ 朝、皆より遅れてしまったので明日は気をつけたいです。花火では緊張して楽しく出来なかったなので、次の機会があれば楽しみたいです。
- ・ ボディー花火って何だろうと思っていたら、すごく簡単で一体感が味わえて良かったです。特別支援学校などでされていると聞いて勉強になりました。

【先 生】

- ・ 体も頭も声も使った活動で、目を覚ますにはぴったりだと思いました。
- ・ 朝、お天気にも恵まれて、楽しい時間でした。最後の大きな花火は思いがけずちょっと感動しました。みんなが一つになる素晴らしさを再認識しました。



(ボディー花火 1 回目)



(ボディー花火 2 回目)

【プログラム名】

国際理解ワークショップ「貿易ゲーム」

担当：松永 広大（福岡市国際協力推進員）

(1) ね ら い

- ・ ゲームを通じて世界の貿易を疑似体験することで、貿易を中心とした世界経済の基本的な仕組みについて理解し、自由貿易や経済のグローバル化が引き起こすさまざまな問題に気づく。
- ・ 全体のまとめの中で、ゲーム内での最貧国について現実世界ではどのような生活をしているのかを担当者の任国のエピソードを交えながら想像させ、「豊かさ」や「幸せ」とは何かについて考えるきっかけをつくる。

(2) 概 要

大きな変更を加えず、基本ルールのみで貿易ゲームを実施した。

振り返りでは、まずそれぞれのチームの配布物について確認を行い、スタート時点で与えられた道具に差があったことを確認し、順位の発表を行った。発表した順位と、スタート時の道具との相関関係について確認をした後、それぞれの道具が現実世界では何を表しているのかについて個人ワーク（必要であればグループでの相談を可とした）を行った。また、ゲーム内で感じた「うれしかったこと」「いやだったこと」に焦点をあて、グループ内での振り返りを行い、全体で共有した。

全体のまとめとして、ゲーム内の最貧国に焦点をあて、担当者の任国でのポジティブなエピソード（みんなが楽しそうに歌って踊っている・家族のような近所付き合い）を今日の日本の一般的な生活様式との比較で紹介しつつ、貿易ゲームで稼げなかった国が果たして「貧しい」国なのだろうか、日本的な国が「豊かな」国なのだろうかという疑問を投げかけた。

(3) 課題とその対応策

今回は振り返りの時間を全体の三分の一程度とったが、それでも振り返りの時間としてはぎりぎりだった。

振り返りが十分にとれないと貿易ゲームを実施する意義が薄れるので、今後も貿易ゲームを実施する場合は振り返りの時間をしっかりと確保して行うとよい。

(4) 参加者からの声

【生 徒】

- ・ 貿易をすることで国の格差がどのようにできいくのかすごく深く理解することができた。
- ・ 楽しみながら現実の貧富の差を学べて良かった。
- ・ 恵まれた国にあたったが、逆の立場（貧しい国）でもやってみたい。

- ・ 貧しいと言われている国でもその人たちにとっての幸せがあるから貧しい国＝かわいそうというのを見直そうと思った。

【先生】

- ・ 貿易ゲームはぜひ全生徒に体験して欲しいと思いました。自由貿易について考え実感する良いチャンスだと思います。貧しい国が貧しいのはその国の罪じゃないことが良くわかったと思います。



(他の班と交渉をする様子)



(公平ではないマーケット)

【プログラム名】

青年海外協力隊体験談

担当：大野 章子（熊本県国際協力推進員）

(1) ね ら い

- ・ 青年海外協力隊として実際に現地で活動してきた経験者の話を聞くことで、国際協力の現場を知る。
- ・ 様々な生き方に触れ、自分自身を見つめなおし、将来の進路選択に役立てる。

(2) 概 要

青年海外協力隊事業の概要説明の後、現地で活動した元隊員の体験談を行った。午後からの活動計画作りで参考になるよう、計画行政分野の村落開発普及員と、保健医療分野より病院勤務だった栄養士の元隊員各1名、計2名の講師の体験談を聞いてもらった。講師は計3名。（講師の詳細は下記）

1回目： 山田麻樹さん（フィリピン 村落開発普及員）、梅田宏美さん（ベナン 栄養士）

2回目： 佐々木舞さん（キルギス 村落開発普及員）、梅田宏美さん（ベナン 栄養士）

体験談の内容は、派遣国の概要（場所、気候、言語、宗教、主要産業）と青年海外協力隊参加のきっかけ、活動内容、活動で苦労したところ、嬉しかったこと、活動する上で心がけていたこと、これが国際協力かと疑問に思ったこと、あなたにとって『国際協力とは…』という流れで、パワーポイントを用いて行った。

1回目は、生徒に JICA ボランティアのパンプと職種一覧表およびバインダーとメモ用のワークシートを配布した。なお、記録に囚われないように、拡大したワークシートを壁に貼り、講師の話に合わせキーワードを書き出した。

2回目は、より講師の話に集中するよう、バインダーとワークシートの配布を行わなかった。

(3) 課題とその対応策

青年海外協力隊事業の概要説明では、JICA 事業全体から説明したため説明が難しかったと指摘を受けた。関係のない事業は省き、生徒が青年海外協力隊の体験談へと集中していけるように組んだ方が望ましい。JICA 事業全体については、事前学習での確認に任せたい。

体験談の講師については、ジェンダーバランスが取れなかったが、午後からの活動計画作りには参考になる内容が紹介できた。

1回目の反省会で、講師の話より記録に一生懸命な姿が見受けられるという意見が出たため、2回目はワークシートなしで行った。講師の話に集中でき、中には自主的にメモをとる生徒もあり、講師のメッセージが皆に残りやすく各々の生徒の個性も出る結果となった。

ただ、その場での生徒からの質問や感想はほとんどなかった。会場で質問が出るような雰囲気作りにはもっと工夫が必要である。

(4) 参加者からの声

【生 徒】

- ・ 体験談を聞いて、青年海外協力隊は2年間で出来ることを活動して、なおかつ依存させないためにいろいろ努力して活動していかないといけないことを学びました。
- ・ 佐々木さんと梅田さんの話を聞いて、ただ行ってただ自分のやりたいようにやるだけではその現地では上手くいかないのだと思った。それに多くの支援、協力をしていく中では2年間という期間は短い気もした。

【先 生】

- ・ すごく刺激的な話で考えさせられた。逆に生徒の反応が薄くて、協力隊の方に申し訳ないと感じた。ワークシートがない方が話に反応を返しやすかったかもしれない。授業でも穴埋めのプリントを配ると生徒は記入することだけに一生懸命になってしまう。
- ・ 生徒の質問がなかなか出ないのが残念である。生の声が聞けたのは良かった。



(佐々木舞さん体験談発表)



(梅田宏美さん体験談発表)

【プログラム名】

青年海外協力隊活動計画作り

担当：木村 暁代（長崎県国際協力推進員）、北園 さつ紀（宮崎県国際協力推進員）

(1) ね ら い

参加者が青年海外協力隊員として開発途上国に派遣されると想定して、現地の課題への取組みを2年間の活動計画に落とし込みながら、国際協力活動を行う上での大切な視点に気付く。

(2) 概 要

■ メインプログラム導入（担当：木村推進員）

午前中の「青年海外協力隊体験談」プログラムの振り返りから開始。いよいよ自分たちが開発途上国に、青年海外協力隊として「コミュニティ開発」という職種で派遣されると発表した。

実際にコミュニティ開発隊員として派遣されていた「青年海外協力隊体験談」講師（1回目：山田真樹さん、2回目：佐々木舞さん）、古泉職員（九州海外協力協会）、佃職員（九州海外協力協会）、西宮推進員（北九州市）等の事例より、「コミュニティ開発」は収入向上や衛生・感染症予防、教育、女性の地位向上、環境教育など、さまざまな活動が出来る職種であることを説明した。

さらにJICAより届く要請書を配布し、派遣先の概要について説明。この要請に基づいて「活動計画」を作ることを説明した。活動計画の条件として、①チーム名、②活動名（プロジェクトタイトル）、③協力者、④対象、⑤村の現状、⑥活動内容、⑦目指す将来の村のイメージの7点を盛り込むことを説明した。また、翌日の活動計画発表の要領、評価項目の5点（妥当性、計画性、効果、持続性、独自性）についての説明を行った。

■ 活動計画作り導入（担当：北園推進員）

「さあ派遣！」という流れから、ウエストティモール国バリボ村の場所、村の様子をスライドにて確認。その後、「村にどのような人が住んでいるか」等を生徒に問い、関係者分析を実施。ある程度の関係者が出てきた段階で、バリボ村で起こり得る出来事についてスタッフと参加者による参加型寸劇で再現した。

～寸劇の内容～

- ① メッカに向かってお祈り（イスラム教）
- ② 水汲みをする女の子（ジェンダー・水問題）
- ③ 病院での出来事（栄養失調）
- ④ 診療所での出来事（医療事情・識字率）
- ⑤ 市場での出来事（ゴミ問題・児童労働）

⑥ 役場の休憩時間（隊員登場、ゴミ問題）

※それぞれの寸劇には村の特徴や問題点を織り交ぜている。

■ 活動計画の叩き台作り（担当：北園推進員）

寸劇後、青年海外協力隊の最初の観察期間という設定でウエストティモール国およびバリボ村概要の読み込みを行った。その後、付箋とポスター裏紙を使用して活動計画作りのための情報整理を行った。方法は次の通り。①村の良い点・課題点の書き出し→②グループ内共有→③問題の洗い出し（その課題があることによってどんな問題が起きているのか／起きそうなのか）→④良い点の認識（良い点を更に良くするためにはどうしたら良いのか）→⑤ダイヤモンドランキング→⑥活用できそうな良い点をピックアップ→⑦ターゲットおよび活動方針の仮決め。

■ 活動計画作成（グループワーク）（担当：木村推進員、北園推進員、他全スタッフ）

方針が仮決めされた後は、バリボ村の各役に成りきったスタッフと自由にコミュニケーションを取りながら活動内容を固める作業に入った。計画作りの途中で、ウエストティモール国に実際に派遣されていた隊員と村人のインタビュー映像を上映し（約15分間）、自分達の計画を見つめ直す機会を設けた。スタッフはその後、今度は元青年海外協力隊員として再登場し、参加者が各活動計画内容について自由に相談できる時間とした。

グループワーク中は、メインプログラム担当2名と村人役スタッフが常に情報共有を行い、計画作りが進んでいないグループや隊員の活動をうまくイメージできていないグループに対してはそれぞれの役割から活動計画作りをサポートした。

(3) 課題とその対応策

- ・ 国や村の情報の多さが生徒を混乱させる。

⇒ **対応策**： A4 両面に及ぶ国および村の情報を全生徒に配布したが、国情報は活動計画作り導入時にスライドで示す程度にし、村情報のみを配布することで活動計画作成の際の課題の洗い出しが容易になると考える。



（役人役スタッフに聞き込み中の参加者）



（活動計画作成中の様子）

- ・ 活動方針が定まらないグループのサポート方法

⇒ **対応策**： まず、活動計画作りのための情報整理において個人が考える時間を設ける。そうすることで、グループでの課題共有および課題の優先順位がつけやすくなると考える。次に、スタッフは課題を提示するのではなく課題を引き出す手法を伝える必要がある。そのためには、スタッフ自身の研鑽が必要である。

(4) 参加者からの声

【生 徒】

- ・ 班の皆と協力して取り組むことができた。
- ・ 協力隊はとても責任のある仕事だと思った。
- ・ 本当に何もない状態から少しずつ知識を入れていって班のメンバーと協力して計画を立てることができました。村の人は少しきつくて、泣きそうになりました（笑）が、実際の事を考えると頑張れました。
- ・ 考えれば考えるほど問題点が浮かび上がってきて苦戦だらけでした。
- ・ 自分が思ったことを、躊躇せずに口に出す事も必要だなと感じた。

【先 生】

- ・ 参加している全ての生徒に役割を与えて参画させるやり方は良い。
- ・ 具体的な場面設定、質問受け付けなど、生徒が活発に動ける工夫がされている。

【プログラム名】

青年海外協力隊活動計画発表

担当：木村 暁代（長崎県国際協力推進員）、北園 さつ紀（宮崎県国際協力推進員）

(1) ね ら い

「青年海外協力隊活動計画作り」で作成した『活動計画』を全体発表する。他グループと意見交換することで、国際協力に必要な視点について理解を深める。また発表する経験から、人に自分の意見や想いを相手に分かりやすく伝えることの大切さに気付く。

(2) 概 要

活動計画発表を始める前に、①発表時間は1グループ4分以内、②全員が話す、③模造紙に書いてあることだけを読むのではなく、その活動に決定するまでの経緯も含めて発表する、④発表は村人に対して行う、というルールの確認と、5つの評価項目（妥当性・計画性・効果・持続性・独自性）シートに従って5段階評価し、投票することを説明した。

その後、引率教師2グループと生徒8グループの計10グループが活動計画の発表を行った。参加者が作成した計画内容は、教育、水質改善、保健衛生、環境教育、栄養改善など様々であった。質疑応答では、スタッフ・引率教員は村人として質問し、参加者は1回目は村人、2回目は青年海外協力隊員としての視点で質問やコメントをした。

投票は評価シートに基づいて参加者・JICA関係者によって行い、最多獲得票数のグループに優秀賞、JICA関係者からの票を一番多く集めたグループにJICA賞が贈られた。

JICA九州市民参加協力課課長の田中が各グループの計画について講評を行った。実際の国際協力の現場での事例も紹介しながら、各グループの長所や改善点に言及した。

担当者のコメントとして、木村（長崎県推進員）が今回の活動計画作りで得た「気づき」を普段の生活にも生かし、開発途上国とのつながりを意識してほしいことを伝えた。

最後に、3日間を共に過ごしたグループの仲間に気持ちを伝えあう時間を取り、自分自身とお互いをねぎらう拍手で終了とした。

(3) 課題とその対応策

- ・ 生徒からの質問が少ないため、意見交換しやすい仕組みを作る必要がある。
- ⇒ **対応策1**：先生チームの発表を生徒チームに先立って行い、スタッフから質問することで、発表の流れとイメージを生徒に捉えさせ、会場の雰囲気作りとする。
- 結 果**：第二期で実施してみたが、やはり全体の前での発表となると生徒たちは消極的なようである。
- ⇒ **対応策2**：評価シートの改訂

評価シートを各グループへの質問・感想シートという形にし、自分自身の疑問点や感想を明確にする。その評価シートを発表者に渡すことで、意見を参考にできる。

⇒ **対応策 3**：全体の前での発表という形式の変更

交代で発表チームと村人チームに分かれ、会場に置かれた活動計画を貼ったボードをまわってプロジェクトの説明を聞き質疑応答する形式にする。ただ、全体発表は緊張するがよい経験になったという感想もあるので要検討である。

⇒ **対応策 4**：雰囲気作りのためには開始前に短いアイスブレイクを入れるのも有効と考える。

(4) 参加者からの声

【生徒】

- ・ 1つの問題に対して多くの解決策があって、しかもそれが独特なアイデアでとてもおもしろかった。自分が途中で諦めた問題について最後までつきつめてくれていたグループもあってスッキリした。
- ・ 発表のときには緊張して少し言いたいことが言えなかったのが心残りです。でも、班員がしっかりフォローしてくれたのでよかったです。他の班の発表を聞いていろいろ学べました。



(教員チームの発表)



(生徒チームの発表)

【プログラム名】

ふりかえり・閉会式

担当：渡辺 了孔（大分県国際協力推進員）

(1) ね ら い

- ・ 参加した3日間のプログラムを思い起こし、印象に残った点、新しい気付き、疑問点などを振り返る。
- ・ プログラムの参加前と後との「国際協力」に対する自分の認識の変化に気づく。

(2) 概 要

■ ふりかえり

3日間のプログラムで撮影された写真の上映、振り返り、国際協力ウェビング、自分への手紙の記入、3日間のアンケートの記入を行い、全体を振り返った。

① 写真の上映

青年海外協力隊の隊員の活動先の子ども達と歌手カズンが歌う「WAVE」という曲を流し、2日間の活動写真をパワーポイントで作成し、上映した。

② 振り返り

横 1456mm × 縦 515mm の横長サイズの用紙に、3日間の時系列で、学校ごとに振り返りを行った。用紙を大きく3分割し、「プログラムで印象的だったこと」、「良く考えたこと、気付いたこと」、「疑問に思ったこと、参加した感想」をそれぞれ、ピンク、青、黄色の付箋に生徒、教員が書き、所定の場所に貼っていった。その後、他校のテーブルを見て回り、共感するものに「like!」シールを貼り、他者の意見や感想を共有した。

③ 国際協力ウェビング

事前学習で実施した国際協力のウェビング（「国際協力」をキーワードとして作成する派生図）を使用し、3日間のプログラムの後に気付いた言葉や新たに気付いた派生語を書き加え、プログラム参加前と参加後でどのような変化があったかを、学校毎に出し合った。

④ 自分への手紙

3日間のプログラムを終えた現在の気持ちや、学んだこと、感じたことを、“自分への手紙”として、ポストカードに書き記した。これらは後日、各県担当の国際協力推進員より届けることとした。

⑤ アンケート

3日間のプログラムについてのアンケートを記入。

■ 閉 会 式

プログラムの終了にあたり、JICA 九州国際センター次長の笛吹より挨拶を行った。「国際協力とは、行動変容を促す触媒」であるとし、「行動変容」とは、無関心から関心、準備、行動、そして継続していくことであり、気づきを与えた行動が続くようにすることが大切なことであると生徒に伝え、閉会の言葉とした。その後アンケート回収、諸連絡を済ませ、参加者全

員による記念撮影を行い、閉会とした。

(3) 課題とその対応策

第1期は、プログラムの予定終了時間を超過してしまった。原因としては、第1期は振り返りの「like!」シールを生徒の人数しか準備していなかったのだが、教員やスタッフも感想や意見を共有したいとの声が挙がったため、シールを配布したこと。また、アンケートの記入を閉会式の後にしたため、記入する時間が分断されてしまったことが挙げられる。

この点を踏まえ、第2期は、シールの数や配布のタイミングを改善した。また、指示を明確に行い、感想やアンケートを記入する時間を一連の流れに盛り込む等、作業が分断しないようにした。



(ふりかえり)



(ウェビング)

高校生国際協力実体験プログラム 参加校一覧

<第1回目：8月6日（水）～8月8日（金）計45名>

	県	学校名	生徒	教員
1	福岡	福岡工業大学附属城東高校	4	1
2	福岡	小倉工業高校	3	1
3	佐賀	神埼清明高校	3	1
4	佐賀	白石高校	4	1
5	長崎	川棚高校	3	1
6	熊本	東稜高校	3	1
7	熊本	熊本北高校	3	1
8	宮崎	宮崎大宮高校	4	1
9	鹿児島	志布志高校	4	1
10	鹿児島	川辺高校	4	1
小 計			35	10

*応募者のうち、事前に欠席の連絡をしてきた生徒が2名いた。上記は実際の参加人数。

<第2回目：8月20日（水）～8月22日（金）計40名>

	県	学校名	生徒	教員
1	福岡	北九州高専	4	1
2	福岡	稲築志耕館高校	4	1
3	長崎	佐世保商業高校	4	1
4	大分	大分東明高校	2	1
5	宮崎	宮崎学園高校	4	1
6	鹿児島	鳳凰高校	3	1
7	鹿児島	加治木工業高校	4	1
8	鹿児島	明桜館高校	3	1
9	鹿児島	出水高校	3	1
小 計			31	9

*応募者のうち、当日欠席の連絡をしてきた生徒が1名いた。また、稲築志耕館高校の教員は2日目の午前のみ他の教員と交代しているが、教員数は1名としている。

プログラム実施スタッフ一覧

	所属	名前	任国	職種
1	福岡市国際協力推進員	松 永 広 大	大洋州・ミクロネシア連邦	小 学 校 教 育
2	北九州市国際協力推進員	西 宮 奈緒美	西 ア フ リ カ ・ ガ ー ナ	コミュニティ開発
3	大分県国際協力推進員	渡 辺 了 孔	東アジア・モンゴル	視 聴 覚 教 育
4	佐賀県国際協力推進員	山 田 泰 子	大 洋 州 ・ バヌアツ	看 護 師
5	長崎県国際協力推進員	木 村 暁 代	東南アジア・フィリピン	青 少 年 活 動
6	宮崎県国際協力推進員	北 園 さつ紀	東アフリカ・タンザニア	エ イ ズ 対 策
7	熊本県国際協力推進員	大 野 章 子	中央アメリカ・コスタリカ	美 術
8	鹿児島県国際協力推進員	大内田 祥 子	中央アメリカ・ホンジュラス	栄 養 士
9	(特活)九州海外協力協会	米 村 淳 平	大洋州・ミクロネシア連邦	小 学 校 教 育
10	(特活)九州海外協力協会	古 泉 志 保	東アフリカ・エチオピア	コミュニティ開発

3. 添 付 資 料

高校生国際協力実体験プログラム募集要項

『この夏、キミは 青年海外協力隊になる。』

九州各地から集う仲間と一緒に考えよう。世界のコト、未来のコト。

Experience

BECOME
A VOLUNTEER
2014 IN JICA KYUSHU



参加費
無料

JICA 九州 高校生国際協力実体験プログラム 2014

第1期 8月 6日[水]～8月 8日[金]

第2期 8月20日[水]～8月22日[金]

主催：独立行政法人 国際協力機構 九州国際センター

後援：福岡県教育委員会 佐賀県教育委員会 長崎県教育委員会 熊本県教育委員会
大分県教育委員会 宮崎県教育委員会 鹿児島県教育委員会
福岡市教育委員会 北九州市教育委員会 熊本市教育委員会



独立行政法人 国際協力機構



JICA九州 高校生国際協力 実体験プログラム

いろいろなひとたちと過ごす3日間。
「JICA九州 高校生国際協力実体験プログラム」は九州各県から集まった仲間が2泊3

PROGRAM プログラム

参加前に知っておこう！

- JICA(ジャイカ)
JICA(国際協力機構)は、日本政府のODA(政府開発援助)として開発途上国への援助を行う組織です。
- 青年海外協力隊
JICAが実施する海外ボランティア派遣制度です。開発途上国で現地の人々と生活をともにし、貧困や環境など、その国の抱える課題に取り組みます。
- JICA九州
JICAの九州の国際協力の拠点です。日本の技術を学びに海外から来た人たちのための研修施設もあります。

「国際協力」って なんだろう？

「実体験プログラム」への参加前に、各地の国際協力推進員と一緒に国際協力について考えてみよう。

事前学習 各校にて実施

プログラムスタート！

多様な文化を 感じよう！

九州各地から集まった仲間たちとアフリカのスポーツで親睦を深め、日本に研修に来ている外国の人との交流や世界の料理を楽しもう。

1日目

Time Table

- 13:30 > 開場
- 14:00 > 開会式・オリエンテーション
- 14:30 > 自己紹介
- 15:40 > アフリカのスポーツ体験
- 17:50 > 国際交流パーティ
- 20:00 > 終了予定



高校生の今しかできない、貴重な体験がここにある。

日を共にし、世界と自分とのつながりを体感する、高校生のための国際協力入門講座です。

青年海外協力隊に なってみよう！

青年海外協力隊になりきって、自分に何ができるかを考えてみよう。現地の人たちに本当に必要とされる支援って何だろう？

2日目

Time Table

- 08:50 > 朝のつどい
- 09:20 > 青年海外協力隊体験談
- 11:00 > 国際理解ワークショップ
- 12:30 > 昼食
- 13:30 > 青年海外協力隊活動計画作り
- 18:30 > 終了予定



3日間の体験を 振り返ろう！

仲間と作りあげた青年海外協力隊活動計画を発表し、3日間を通した自分の変化や成長を振り返ろう。

3日目

Time Table

- 08:50 > グループによる成果発表
- 11:10 > 振り返り
- 12:30 > 閉会



自分の変化を 伝えよう！

「実体験プログラム」で感じたこと、考えたことを表現し、周りの人に伝えよう。

事後学習 各校にて実施

★文化祭で発表しよう！
★「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」に応募しよう！

自分への手紙

昨年の参加者が自分宛に書いた手紙です。

この3日間で、答えがでない問題について考えてみたが、とても難しいものでした。これと表現していたあの言葉の背景に自分の想像をはるかに超えた世界がありました。この経験を大切にして、これから先、世界と、自分を同時に見つめていこうと思います。

「国際協力」といって、できる、そのこととても深く今回のプログラムで感じることができました。青年海外協力隊のプログラム作りで、グループのみんなとあんなに必死に考えたのは、一生の宝物です。研修員さんとの交流も、英語が伝わらず、悔しい思いもしたけれど、何となく気持ちも楽になったことがありました。どんな言葉も、気持ちに伝わるように、これからも頑張りたいと思います。

思えば、この人への寄付をしよう、様々な技術と伝えた。日々言うのは、こんなに簡単だが、実際に現地へ行く支援は、とても考えると、言葉の壁や、文化の違いなどがあり、本当に難しい。相手の事を考えて行動しなければならぬ。一言で支援なんて言うのは、とても難しい事だとは思っていた。JICAを通じて、こんな経験ができてよかったと思う。



昨年度の参加校実績 PREVIOUS FISCAL YEAR

- 福岡県 私立神光学園高等学校、県立小倉西高等学校
- 佐賀県 県立武雄高等学校、私立早稲田佐賀高等学校
- 長崎県 県立佐世保商業高等学校
- 熊本県 県立熊本北高等学校、県立多良木高等学校
- 大分県 国立大分工業高等専門学校
- 宮崎県 県立日向高等学校、県立高鍋高等学校
- 鹿児島県 県立加治木工業高等学校、県立錦江湾高等学校、私立鹿児島純心女子高等学校、私立鳳凰高等学校、県立屋久島高等学校

STAFF スタッフ紹介

青年海外協力隊経験者である各地の国際協力推進員たちが、プログラム全体をサポートします。



JICA デスク 福岡

福岡よかトピア国際交流財団内 JICAデスク福岡
TEL092-733-5638
jicadpd-desk-fukuokashi@jica.go.jp

松永 広大

JICA デスク 佐賀

佐賀県国際交流協会内 JICA デスク佐賀
TEL0952-25-7921
jicadpd-desk-sagaken@jica.go.jp

山田 泰子

JICA デスク 熊本

熊本市国際交流協会内 JICA デスク熊本
TEL096-359-2130
jicadpd-desk-kumamotoshi@jica.go.jp

大野 章子

JICA デスク 鹿児島

鹿児島県国際交流協会内 JICA デスク鹿児島
TEL099-221-6624
jicadpd-desk-kagoshimaken@jica.go.jp

大内田 祥子

JICA デスク 北九州

北九州国際交流協会内 JICA デスク北九州
TEL093-643-5931
jicadpd-desk-kitakyushushi@jica.go.jp

西宮 奈緒美

JICA デスク 長崎

長崎県国際交流協会内 JICA デスク長崎
TEL095-823-3931
jicadpd-desk-nagasaki@jica.go.jp

木村 曉代

JICA デスク 大分

おおいた国際交流プラザ内 JICA デスク大分
TEL097-533-4021
jicadpd-desk-otaken@jica.go.jp

渡辺 了孔

JICA デスク 宮崎

宮崎県国際交流協会内 JICA デスク宮崎
TEL0985-32-8457
jicadpd-desk-miyazakiken@jica.go.jp

北園 さつ紀

(特活)九州海外協力協会

JICA九州国際センター内 (特活)九州海外協力協会
TEL093-671-8349
Yonemura-Jumpei@jica.go.jp

米村 淳平

わたしたちがJICAの
地域の窓口です！



写真提供：今村 健志朗

JICA 九州 高校生国際協力 実体験プログラム

— グローバル人材を育てる参加型の「学び」 —

- 【国際理解】** 世界の状況や国際協力の現状に気づき理解を深める。
- 【交流】** 他校からの参加者や青年海外協力隊経験者、外国人との交流を通し、様々な価値観に触れる。
- 【進路・生き方】** 自分を見つめ直し、世界の中でどう生きるか考えることで、将来の進路選択に役立てる。

日程

第1期 平成26年 8月6日[水]～8月8日[金] **2泊3日**

第2期 平成26年 8月20日[水]～8月22日[金] **2泊3日**

プログラムの流れ：

- 事前学習：** 7月に国際協力推進員が各校を訪問し事前学習を実施します。日程など詳細については、各地の国際協力推進員にご相談ください。
- 本プログラム：** 第1期、第2期のいずれかの日程にご参加ください。
- 事後学習：** 例年の参加校はプログラム終了後、学校行事や各地の国際交流・国際協力イベントなどで、本プログラムの成果を発表しています。また、参加した経験を活かし「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」への応募も推奨しています。詳細は各地の国際協力推進員にご相談ください。

会場

独立行政法人 国際協力機構 九州国際センター（JICA九州）
福岡県北九州市八幡東区平野 2-2-1（JR鹿児島本線八幡駅下車徒歩12分）
TEL 093-671-6311（代表） www.jica.go.jp/kyushu



参加条件：

- 国際理解教育・持続可能な開発のための教育(ESD)・キャリア教育に積極的に取り組んでいる学校、又は今後取り組む意欲がある学校。
- 学校長より参加の許可が得られること。
- 生徒の保護者より参加への同意が得られること。
- 生徒が過去に本プログラムに参加していないこと。
- 教員・生徒とも参加者として、事前・事後学習を含み、全プログラムに参加可能なこと。

募集数：

- 九州7県から16～20校
- ※ 1校につき、生徒3～4名（+教員1名）での参加を基本とします。参加希望校が定数を超えた場合は、応募書類、県のバランス等を考慮して選考します。
- 最少開催人数：20名

留意事項：

- 昼食および夕食代は各自でご負担ください。なお、1日目の「国際交流パーティ」会費として、おひとり1,000円を徴収します。
- 学校所在地からJICA九州までの往復交通費、宿泊費はJICA九州が負担します。
- お車での来場はできません。公共交通機関をご利用ください。
- プログラムへの参加に当たり、JICA九州負担にて参加者全員、国内旅行傷害保険にご加入いただきます。万一事故が生じた場合、保険の給付範囲内で補償いたします。
- 宿泊先はJICA九州宿泊棟となります。
- 動きやすい衣服での参加をお願いします。
- 個人都合(部活等)によるキャンセルはご遠慮ください。

持ちもの：

- ジャージ・運動靴
- 筆記用具
- 健康保険証の写しおよび緊急時の連絡先

応募について

応募方法： 参加申込書を JICA 九州ホームページ(URL: www.jica.go.jp/kyushu) よりダウンロードし、必要事項を記入の上、以下の窓口まで郵送ください。

送付先： 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 3-10-34 Mビル 3号館 2階 AB号室
(特活)九州海外協力協会

応募締切： 平成26年 6月10日[火](必着)

●問合せ先 (特活)九州海外協力協会 TEL092-415-6536

2014年度 第1回目 JICA 国際協力実体験プログラムアンケート

1日目（生徒用）

[自己紹介・アイスブレイキング]

☐ 満足度

(人)

満 足	19
やや満足	14
やや不満	1
不 満	0
無回答	1

☐ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

【満足・やや満足】

- ・ 自己紹介などは楽しく他県の人と仲良くなれるきっかけになった。「日本は、日本だけでは生活できない」という言葉は、この3日間でいろんなことを学ぼうと思うきっかけになった。でも、高校説明をもう少しやりたかった。新聞せっかく作ったから……。
- ・ 北高から女子が私1人だけっていうのもあって、まず一緒に来た人ともなじめてなかったのがかなり不安だった。だからこのときまだまだ緊張していた。
- ・ 少し緊張しました。高校のことについて知ってもらえて良かった。このときに少し話せることが出来て良かった。
- ・ 自己紹介のときはあまり納得が行きませんでした。アイスブレイクのときは少し緊張がほぐれて良かったです。
- ・ たくさんの人の顔を覚えられて友達ができた。良い経験になった。
- ・ 私は人見知りですごく不安で体験したんですが、楽しみながら活動することができました。
- ・ 初対面で知らない人ばかりだったけどアイスブレイキングなどを通じてみんなのことが少しわかって良かったです。一分間で自分の学校について説明するのは難しかったです。
- ・ 始めて会った人となかなか話しにくいですが、いろいろな共通点を見つける活動やバーステーションをしていると少しずつ慣れてきて、話しやすかったです。
- ・ 楽しく自己紹介できて良かったです。
- ・ 緊張していましたが、みんな優しくて楽しい3日間になりそうと思いました。
- ・ 最初なので緊張していたけど、サポートの先生とか、みんな優しくて良かったです。
- ・ 1人1人の自己紹介をするのにはとても十分であったが、学校紹介の時間が足りなく、紹介したいことも紹介できず少し残念だった。でもいろいろなレクレーションをしていくうちに緊張がとけていったから良かった。
- ・ バースデライン (?) とかしたことで本当に気持ちがほぐれました。アイスブレイ

クできたと思います。

- ・ もう少し大きな声で自己紹介すればよかった。
- ・ 学校紹介で時間がなく、対応するのが大変でした。部活やきょうだいなどでグループ分けされたとき、同じような人同士だと自然に話が進んでとても楽しかった。
- ・ 最初は知らない人ばかりで緊張しましたが、交流を繰り返すうちに仲良くなることができました。
- ・ これがなかったら全く他の学校の人と話すことが出来ませんでした。グループの作り方も面白かったです。新聞を使って学校紹介をするときは、言うことも考えていたので、もっと伝えたかったです。
- ・ まだみんなの雰囲気が静かで話しかけづらい部分があった。
- ・ 今日始めて会う人たちと話したり、活動したり出来るか不安だったけど、誕生日順に並んだり、部活動別に集まったり、ビンゴをしたりと活動していくうちにいろんな人と話せて嬉しかった。
- ・ 緊張していてあまりはっきりと話すことが出来ませんでした。でも、みんな優しく、静かに聞いてくれて、拍手もしてくれたので安心しました。この自己紹介で少し緊張がほぐれました。アイスブレイクも楽しかったです。
- ・ 自己紹介はまだ緊張しててあまり積極的に話せなかった。でも楽しかった。
- ・ 一番最初の学校紹介は緊張しました。やっぱり初めて会う人のまえだと緊張します。でも、ゲーム感覚で他校の人たちと交流して少し話す機会も増え、だんだんみんなと打ち解けたのが良かったです。
- ・ 自己紹介はとても恥ずかしかったが、とても楽しかった。アイスブレイクはほとんどの人が間違っていたが、みんなに少し溶け込むことができた。
- ・ 話をしないで誕生日順に並ぶのは楽しかったけど、その後の名前を言うところで全く聞こえない人がいたので少し困った。
- ・ 自分のペースで自己紹介や学校紹介ができたのでとても楽しく、満足できました。なので、とても良い思い出になりました。
- ・ 自己紹介の時間が少し短かったかなと思いました。アイスブレイキングでは、緊張をほぐすことが出来たのでとっても良かったです。何も言わずに誕生日順に並ぶのも、初めて会う人とコミュニケーションすることも上手く出来たんじゃないかと思います。その他の企画も面白かったです。
- ・ 自己紹介では思っていたよりも時間が短くてまとめるのが大変でした。また、知らない人達ばかりだったので少し緊張しました。
- ・ 学校紹介では、学校で作った新聞を見せながら 60 秒で学校の紹介をするのは大変でした。自分たちの共通な点ごとに集まるゲームでは、同じグループになった人達と親近感がわいて、少し仲良くなれたような気がしました。
- ・ 学校の紹介があって、どこの県からどこの高校のどんな人が来ているかがわかりやすくて良かったです。チームごとに自己紹介があってもいいのかなと思いました。
- ・ みんなの共通点とかいろいろ知ることができて良かったです。

【やや不満】

- ・ あまり上手に自己紹介が出来なかった。周りの人たちの紹介の仕方がとても上手だったのであせった。

[クバーラ]

□ 満足度

(人)

満 足	32
やや満足	3
やや不満	0
不 満	0

□ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

- ・ ゲームも楽しかったし、同じチームの人とハイタッチとかしてたくさん話すことが出来た。クバーラが出来る経緯に青年海外協力隊が関わっていて、暮らしをよくする活動がよくわかった。
- ・ クバーラ初めてやった!! 難しそうだなと思ったけどかなり楽しかった!! クバーラのおかげで班の人としゃべれるようになったし良い体験が出来た。スポーツってすごい。
- ・ ルールが思ったより簡単でとても楽しかったです。友達と協力することが出来てよかったです。
- ・ 初めてクバーラをしてみたけど、なかなか難しかった。よく考えて動かないといけないのでとても疲れた。
- ・ ゲームで楽しく行うことができ、優勝ができて嬉しかったことと、外国の遊びを学んでマダガスカルのことを少しでもわかることが出来て良かったです。
- ・ クバーラというスポーツはあまり知らなかったけど。体験をしてみてとても面白くて、みんなと仲良くなって団結力が上がった。
- ・ マダガスカルで生まれたスポーツということで全く想像が付きませんでした、簡単で楽しくて良いスポーツだなと思いました。
- ・ マダガスカルについて少し知ることが出来てよかったです。何も道具を使わずにスポーツができるのはすばらしいなと思いました。結果はあまりよくなかったけど、一生懸命作戦をたてたりして楽しかったです。
- ・ 見たことも聞いたこともなかったのですが、とても楽しかったです。ルールがわかりやすく誰でも簡単にできるスポーツなのでいいなと思いました。
- ・ みんなと協力して出来ました。
- ・ どんな人でも出来るスポーツなので、何も使わないけれど、全身を使って楽しめたので良かったです。
- ・ 足を使いながらも、全然知らなかった人ともコミュニケーションをとれて仲良くなれたので良かったです。
- ・ クバーラはルールもすごく簡単で楽しくできた。クバーラ体験でみんなで体を動かし

て仲良くなれたと思います。

- ・ 初めはルールをしっかりと理解できなかったが、やっていくうちにわかってきて楽しくなった。しかしとても頭を使うゲームだから相手との駆け引きが難しかった。もう少しゲーム時間が欲しかった。教職員に負けたのが悔しかった。
- ・ 運動苦手な私でも出来てよかったです。チームメイトとも仲良くなりました。
- ・ とても楽しくて少し打ち解けたと思う。
- ・ クバーラはただ走るだけではなく、相手の目をいかにくぐりぬけるかが重要なスポーツで奥が深いなと思いました。仲良くなれた人と運動することで更に仲良くなれたと思います。
- ・ 初めてのゲームでした。私たちはほぼ動けなかったのですが、先輩方が上手で優勝したのが嬉しいです。他の人とも話せました。
- ・ チームのみんなと協力することができた。
- ・ ここで一気に緊張がほぐれました。はじめどんなゲームなのかなと思っていたのですが、とっても楽しくてチームの人とも作戦などを考えて、仲を深めることが出来、友達も増えて本当に良かったです。
- ・ マダガスカルスポーツ初体験でとにかく楽しかった。そしてなんといっても自分のチーム緑が一番チームワークが良かった。本当に楽しくみんなが笑顔になれるスポーツだと感じた。
- ・ 最初はコツが全然わからずチーム内の雰囲気も少しバラバラだったけど、どんどんやっていく中でゲーム内での会話も出来たりしたので良かったです。でもまだ全員の名前がわからなくて応援するときに名前が呼べなかったのが残念でした。
- ・ クバーラはとても難しいスポーツなんだろうなと思ったけど、簡単で、チームワークが必要なんだということがわかり、みんなと協力して出来た。
- ・ チームの人と仲良くできて嬉しかった。競技自体はシンプルだけど、周りの人に気を配らなければならなくて、難しかったが、楽しかった。チームワークが大事だということがわかった。
- ・ ルールはとてもシンプルなのに、いざやってみると、とても難しく、よく頭を使うルールだと思いました。チームのみんなともよくなじむことができて、とても楽しくプレイすることができた。
- ・ 最初はマダガスカルスポーツってどんなのだろう、、、難しそうだな、、私に出来るかな、、と不安でしたがいざやってみるととても楽しくやることができました。それに同じグループの人たちとの絆も深まり、仲良くなることが出来て楽しかったです。この遊びをもっといろいろな人に広めていくことが出来たらいいなと思いました。
- ・ 始めはあまり話せない他校の人とも、仲良くなることが出来てよかったです。みんなですportをする事で、心の距離が縮まったと思います。また、どんな人でも出来るスポーツなので学校でもやりたいと思いました。
- ・ 思っていたよりもルールが簡単でしかもとても面白くて楽しかったです。このスポーツをすることで班のみんなと打ち解けることができて、緊張がほぐれたので良かったです。

です。攻めと守りで頭を使わないといけないところもあってチームワークが大切だと感じました。

- ・ 初めて体験したスポーツでとても楽しかったです。道具を使わなくていいので誰にでも手軽にできていいなと思いました。また、クバーラをしていく中でチームの人達と仲良くなっていけたので良かったです。
- ・ 初めてこの遊びをしました！みんなすごく盛り上がって楽しかったです。

[国際交流パーティ]

☐ 満足度

(人)

満 足	31
やや満足	4
やや不満	0
不 満	0

☐ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

- ・ 英語を伝えるのも難しかったし、アフリカのアクセントで、習う英語と全然違う音で会話が難しかった。でも、楽しめてよかった。また、様々な国の料理を食べることが出来て、いろんな味が楽しめてよかった。
- ・ もっと外国人の方と会話が出来ののになって思ってたけど、全然通じなかった。でもジェスチャーで通じた時の嬉しさがすごかった。英語力が自分には足りない。
- ・ 積極的に話すことが出来ました。外国の食について学んで様々な料理があるのだなと感じました。楽しかったです。
- ・ 英語はまったく話せないけど、何とか工夫して自分の思いを伝えることができて良かった。英語の勉強がしたくなった。
- ・ 相手の英語を必死で聞き取ろうとしましたが全然わかりませんでした。しかし、英語だけでは話せなくても物や写真を作って色々伝えることが出来、文章だけで伝えることだけじゃないんだなと思いました。
- ・ いろいろな料理、文化などを知れて良かったし、これまで英語が嫌いだったけど好きになった。
- ・ 私自身国際コースなので ALT の先生方との活動が多く、今回の活動には慣れていましたが、国が違うだけで伝わりかたとか全然違うなあと実感しました。
- ・ 私は今まで何度かこういった国際交流をしたことがありますが、一緒に食事をするのは始めてだったので「いただきます」やお箸の持ち方などの日本文化を教えることが出来とても、楽しかったです。
- ・ あまり交流する機会のない国の人と話せてよかったし、その国のことについても知れたので、勉強になりました。
- ・ もっと英語を理解できるようになりたいと思いました。
- ・ 英語を使ってコミュニケーションをとりましたが、まだまだ勉強が足りないと感じま

した。でも他国の文化や料理とかを知れて良かったです。

- ・ 英語で話していて、やっぱりまだまだ勉強が足りてないなと感じました。もっと勉強したいなと改めて感じました。
- ・ 様々な国の料理も食べれてよかった。エジプトの方々と交流して言葉とか文字の書き方を教えていただきました。
- ・ 今まで発展途上国の人と話す時、なかなか自分の英語が通じなくて苦労した。しかし、今回は自分の英語も通じたし、しっかり会話が出来たから楽しかった。普段は欧米の人との交流が盛んだが、アフリカの人との交流はあまりないから新しいことをたくさん学べてよかった。
- ・ ウガンダのアップルさんとも英語で話すことが出来たし、外国の料理もとても、おいしかった。
- ・ 自分の英語力のなさに驚きました。単語が理解できないのもあるけど、文章にしようとしすぎて話すということが出来ませんでした。
- ・ 私はリベリア出身の方と交流しましたが、自分の英語がいかに通じないか痛感しました。しかし、相手の方も私たちも熱心にお互いを理解しようとしていました。相手が何を伝えたいのかわかったときはとても嬉しかったです。
- ・ 初めてあんなに外国のことについて間近で聞くことが出来ました。ただ、自分の英語力がなさ過ぎて、翻訳されないといほとんどわかりませんでした。すごく悔しいです。食事はおいしかったです。もっと時間が欲しかったです。
- ・ 聞き取れなかったり、いろいろな困った部分があったけど、ジェスチャーや絵を描いたりして互いに伝えることが出来た。
- ・ 様々な国から研修員が来ていました。私は、英語がとても好きで得意なほうだと思っていましたが、いざ外国人と同じテーブルを囲むと、とても緊張して全く話せませんでした。もっと話せるようになりたいと思います。
- ・ 私たちのグループはタンザニアの人だったのですが、とっても優しく面白い方でした。なかなか自分の英語が通じなくて難しいところもありましたが、どうにか身振りで伝えるように頑張りました。とっても楽しかったです。
- ・ いつもは聞くことが出来ない言葉を触れ合うことが出来てとにかく嬉しかった。料理も初めてのものばかりだったけど、すごく新しい味で興味を持った。
- ・ 外国の方と私は学校で ALT ぐらいとしか接したことがなかったので、最初の外国の方々がきたときは不安でした。でも、料理と一緒に食べて箸の使い方を片言英語で教えたりジェスチャーで教えたり、しっかりとした英語は話せなかつたけど、こんなに異国の人と話すことは楽しいんだと改めて感じた。
- ・ 言葉が通じなくてとても難しかった。伝えたいことが伝わらなくてもどかしい思いをした。言葉は通じなくても、相手の思いやりや優しい人柄が伝わってきた。使う言葉は違っても人はつながれると感じた。
- ・ 僕たちのチームでは、エジプトの研修員の2人と行いましたが、最初は、このような経験は初めてで、戸惑ってしまいましたが、身振り手振りをしながら積極的にコミュ

ニケーションをとっていくうちに少しですが、打ち解けることが出来たと思います。

- ・ 外国の方と交流する機会は多くないので、とても良い機会になりました。英語でのコミュニケーションをとるのは簡単ではなかったけれど、実際に会話をすることができました。
- ・ 私たちの班は、タンザニアの方がきてくださいました。とても明るい方で楽しく話をしたり、食事が出来ました。英語があまりよく伝わらなくて大変でした。でも、伝わったときはとても嬉しかったです。
- ・ 今日のプログラムの中で、このパーティーが一番楽しかったです。私たちの班にはウガンダの国の研修生員が来ましたが、ウガンダについて、私たちが少しでも多く理解できるように一生懸命説明してくださいました。
- ・ 最初は英語があまり話せなくてとても不安でした。でもチームのみんなが聞いてくれたり、ひとつひとつの単語の意味を考えることで相手の言いたいことが伝わったのでとても嬉しかったです。このプログラムを通じてもっと英語を勉強しようと思いました。
- ・ 英語はふだん学校で勉強して好きだけど、いざ話してみるとなかなか伝わらなかったのが難しかったです。でもどうにかしてコミュニケーションがとれたときはうれしかったです。

□ 今日の感想や新しく知ったこと・もっと知りたかったことなど、1 日目を振り返って自由に書いて下さい。

- ・ 一日目は、どんな人がチームメイトになるかなど、不安もたくさんあったけれど、クバーラなどの様々なイベントを通じて不安はなくなり、仲良くなれて良かった。明日は、ワークショップなどの、自分の意見をきちんと持つてのぞむことが多いのががんばりたいと思う。
- ・ 外国人と触れ合うことはやっぱり言葉が違うけど楽しいなって思った。あんまり理解ができなくて、時間がかかったけど、優しく、そして簡単な英語に換えてくれたり、ジェスチャーを加えたりしてくれたり、何度も言ってくれたり、本当にありがたかった。そしてご飯がおいしかった。ミルクティーのは・・・(笑) もっとお話したかったな。でも楽しめてよかった!!
- ・ クバーラがとても楽しかった。途中で思わぬところでタッチされてしまって驚いた。1 回点を決めることが出来てよかった。パーティーの時に英語が通じなかった時もあったが、通じた時もあって嬉しかった。明日も頑張りたい。
- ・ 初対面の人と話すのはとても緊張したけど、色々な活動を通じて打ち解けることが出来てよかった。明日の活動が楽しみになった。
- ・ 最初は周りの人と仲良くなれるか不安だったけど、時間がたつにつれて仲が深まっていったので良かったです。
- ・ いろいろな人と友達になれて良かった。この活動に参加してよかった。
- ・ 自分是人見知りなのでとても不安でしたが、時間が経つにつれて話せる友達も増えてきた楽しく一日目の活動を終えることが出来ました。国際交流パーティーでは、言語

は違っても、その人の伝えようと思う気持ちによっても伝わり方が違うし、ジェスチャーや笑うところなどが一緒に私もエジプトに行ってみたいなと思いました。

- ・ 国際交流パーティーでいろいろな国の料理を食べてよい経験になりました。積極的に英語を話すことができてよかったです。身近なことを説明するのが意外に難しく、とてももどかしかったです。でも単語を並べるだけで伝わることもあり、嬉しかったです。
- ・ 今日初日で、少し緊張していましたが、他県の人とも仲良く出来てよかったです。明日からは、いよいよ青年海外協力隊について話を聞いたり、自分たちで考えたりすると思うので、しっかり話を聞いて知識を身につけたいです。それから、今日は英語だけでなくいろいろな言語を聞きました。私は学校で中国語を習っていますが、いろんな言語を身につけたいなと思いました。
- ・ 1日目でも、たくさんのことを学ぶことが出来ました。後2日間でもっともっとたくさんのことを学んで、学校みんなに教えたり出来るようにしっかり覚えていきたいです。
- ・ 今日は、一日目でもとても緊張していましたが、グループ活動とかを通じて、少しでもみんなと協力が出来たらいいなと思いました。
- ・ 一日目でみんなと仲良くなれるか不安だったけど、一日目でもいろんなプログラムがあって仲良くなれた。国際交流パーティーは特にエジプトの方と交流したけど他にもたくさんの国があったのもっと知りたいと思った。
- ・ 自分は数少ない男子なので、このプログラムが始まるまで不安で、ドキドキしていました。ずっと女子に流されるかと思っていました。しかし、自己紹介が終わり、クバーラをするときに男子らしくチームを引っ張れたので少しほっと落ち着きました。そして、女子とも仲良くなれたので一日目で不安だったことが解消できてよかったです、更に国際交流のときも自分が知らないことをたくさん学べて嬉しく楽しかったです。明日からも男子らしく頑張っていきたいと思います。
- ・ 同じグループの人ともう少し打ち解けることが出来たらよかった。後2日もあるのでゆっくりと話していき、仲良くなれるように心がけたい。
- ・ 人とコミュニケーションをとるということはとても大変で、ましてや知らない人となると、一層難しかったです。英語は語彙力だけでなく、「話す」という努力をする。
- ・ 私たちが普段コミュニケーションをとるに当たっていかに言葉に頼っているかがわかりました。しかし、言葉がなくてもお互いに意思を伝えられるんだなと思いました。
- ・ 知らない友達、知らない環境、知らない言葉、遊び、国に触れ、まるで外国にきたかのようでした。英語は、積極的にわかろうとしないと一向にわからないままかもしれないと強く感じました。
- ・ 国際交流パーティーでウガンダの人からキーホルダーをもらって嬉しかった。一日目で少し緊張したけど、班のみんなとも話せるようになって安心した。
- ・ 今日はJICA研修の初日でした。始めて会う人ともオリエンテーションやクバーラ、国際交流パーティーを通じてたくさん話すことが出来ました。国際交流パーティーで

は、外国の方々の流暢な英語を聞き取るのはとても難しく、相槌を打つことが多かったです。明日の研修ではもっと積極的に話が出来たらいいなと思います。

- ・ 初めは本当に緊張してて、身動きも取れない状態だったのですが、ゲームやスポーツなどを通じて気持ちがほぐれてきました。関わってみるとみんなすごくフレンドリーで優しい人たちばかりでした。初めてタンザニアの人とも楽しい時間を過ごせました。また、国際交流パーティーではもっと自分の英語力向上に努めようと思いました。
- ・ 研修一日目が終了した。とにかく疲れたって言う感想が一番だけど、この半日だけたくさんのチャレンジが出来たことが嬉しかった。また、マダガスカルのスポートはとにかく全力でやったし本当に楽しすぎた。緑チームのチームワークのよさは一番。国際交流パーティーでは英語に苦戦したけれど、積極的に話すことができた。もっと英語が話せるようになりたいと思った。
- ・ 自分は国際交流などまだ、一度も参加したことがなく、自己紹介やゲームをしたとき、ほとんどの人がそのような経験をしたことがある人ばかりで最初は、不安な気持ちだった。自分はそういう知識はないけど、このプログラムについていけるかな?? でも、今日一日だけでも参加して、楽しく過ごせ、また初めての体験もさせてもらって、不安な気持ちは少しずつ減っていきました。残り2日間も、自分に刺激になることもたくさん発見してもっともっと「国際」というのにいろんな面で向き合っていきたいです。
- ・ パーティーでいろいろな国の食べ物を食べた。とてもおいしかったです。ひとり部屋がとても広くてびっくりした。たくさんの友達と話すことが出来た。
- ・ 今回初めてこのような体験プログラムを経験しましたが、とても楽しくて良い経験になりました。このような体験は 日常ではあまり体験できないので、とても良い時間を過ごせました。あと、女子が多くてよかったです。
- ・ 国際交流パーティーでは、違う国の文化や生活の様子、食べ物の違いなど、普段あまり深く学べないようなことを知れてよかったです。また JICA のスタッフの皆さんの自己紹介を聞いて青年海外協力隊といっても様々な活動があることにびっくりしました。私も少しでいいから活動に参加してみたいなと感じました。
- ・ 一日目を振り返って、はじめは「みんなと仲良くできるかな」と不安だったけど、みんなとスポーツをしたり、話をする中で、とても気持ちが落ち着いてきて楽しかったです。国際交流パーティーでは、外国の方と英語で話して、自分の英語力がまだまだだと思いました。これから、もっと勉強していこうと思います。
- ・ 高校生国際協力実体験プログラムに初めて参加してみて、世界各国の国々や日本とのつながりについて深く知ることができました。まだ一日目だけ参加してよかったなと思いました。国際交流パーティーでは英語を一生懸命聞いて理解してウガンダの国について知ることが出来ました。写真を見せてもらいながら英語で説明してもらったのでリスニング力が少しでも上がっていたら嬉しいです。私の隣に座っていて、私が少しでもわからない顔をしていたら、私の目を見て一生懸命説明してくださったことが印象に残っています。英語力を高めたいところから思いました。

- ・ 初めはチームのみんなと仲良くなれるかすごい不安でした。でもクバーラの盛り上がりで一気に緊張がほぐれてたくさん話せるようになりました。また、国際交流パーティーでは外国人の方とコミュニケーションをしたりいろいろな国の料理を食べたりと普段ではできないような経験ができたのでとてもいい一日になりました。
- ・ 最初は少し不安だったけれど楽しかったです。

2 日目（生徒用）

〔朝のつどい・ボディ花火〕

□ 満足度

(人)

満 足	21
やや満足	11
やや不満	2
不 満	0

□ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

【満足・やや満足】

- ・ ちょっとはずかしかったけど、やってみると案外楽しかった。
- ・ 朝から運動して目が覚めた。少し抵抗がありましたが、みんながやっていたので平気でやることができた。
- ・ 初めてで少し恥ずかしい気持ちもあったけど、あっという間に忘れてしまうくらい楽しかった。
- ・ 朝からボディ花火をしてとても目が覚めた。
- ・ 地味に楽しかった。
- ・ 少しテンションが上げることができた。ルールを理解するのに少し時間がかかったので、もう少しゆっくり説明して欲しかった。
- ・ 朝からボディ花火は楽しかったです。
- ・ 朝から日を浴びて体を動かしてよかったです。みんなですると楽しかったです。
- ・ 初めてやったのですが、楽しめたので良かったです。
- ・ まず中庭に行けたことにテンションが上がりました。この施設に来て中庭を見たときから入りたいなと思っていたので嬉しかったです。花火は実際にしてみるとあれ・・・という感じだったのですが楽しかったです。
- ・ 最初は花火って驚いたけど、あれだけの人数でボディーパークッションをやってみると花火くらいの迫力があって面白かった。
- ・ 体を使った遊びで大きな花火を打ち上げることが出来た。
- ・ 2 日目は、グループで活動するのが多かったから、みんなとやっていけるかなって不安だったけれども、ボディ花火で良いスタートが切れた。晴れてて良かった。
- ・ 一日目の夜はあまり眠れずに朝を迎えたので、とても眠たかったのですが、ボディー花

火で少し目が覚めました。

- ・あまりはっちゃけることができなかった。
- ・眠かったけど、パーカッション花火で目が覚めた。初めての花火楽しかったです。
- ・全員で花火を打ち上げることが出来て、とても楽しかったです。
- ・朝は少し元気なかったけど、これで目が覚めた。
- ・朝眠い中、ボディ花火で班の子とも仲良くなれたし、とても楽しめました。
- ・朝は少し眠かったですが、ボディ花火で目が覚めました。グループの子におはようと言って、顔と名前も覚えていたのがうれしかったです。
- ・リズム合わせができて良かった。
- ・恥ずかしかったけどおもしろかった。
- ・朝から体を動かすことができて、目も覚めたし、楽しかった。
- ・朝は、少し眠たかったけど、アイスブレイキングでみんなでわいわいできてすごく楽しかったです。
- ・朝、一発目の花火は、眠気もふきとび、盛り上がれました！
- ・花火を打ち上げると聞いたときはびっくりしたけれど、みんなで体を使って花火を打ち上げられた時は、とても楽しかったです。良い運動にもなりました。
- ・ボディ花火を初めてして、楽しかったし、目が覚めた。
- ・今日の朝は晴れていたなので、中庭でボディ花火をしました。暑かったです。でも、みんなでリズムをとって、手をたたいて花火を作るのは初めてで楽しかったです。
- ・朝起きたばかりで、少し眠かったけど、運動することで、すっきりと目が覚めて良かったです。
- ・楽しかったけど恥ずかしかったです。
- ・朝に行った、ボディ花火はこれまで、僕が経験したことのない、新鮮な感じの楽しい、ボディパーカッションでした。
- ・花火作るのが最初難しかった。

【やや不満】

- ・楽しいレクリエーションではあったが、テンションがあがりきれないうえに暑かったから、きつかった。汗臭くなって少し大変だった。
- ・朝にあの高いテンションについていけなかった。最初あまりルール（音程）が分からなかった。

[国際理解ワークショップ（貿易ゲーム）]

☐ 満足度

(人)

満 足	29
やや満足	4
やや不満	1
不 満	0

□ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

【満足・やや満足】

- ・ とっても楽しかった。やっぱり周りの国とも仲良くすれば、いいものになったと思った。
- ・ 貿易ゲームは初めてしたので、ルールを覚えられるか不安であったけども、少しずつやっていくとわかってきて、最後には、どうすれば儲かるかだけ考えることができた。
- ・ 貿易ゲームがとっても楽しかった。また、したい。
- ・ 急に価格が変わったりして、せっかく円形を作ったのに低価格になり、特にお金を稼ぐこともなく。でも、世界にはすごく貧しい国も栄えている国もあると改めて感じた。
- ・ スタートの段階で不利があったから、とてもきつかった。資産や資源も少なかったから、出来るだけ損をしないようにした。貿易は口が上手くなければいけないなあとも思った。
- ・ 貿易をすることで、国の格差がどのように出来ていくのかがすごく深く理解することが出来ました。そして楽しかったです！
- ・ ゲーム的なものから、いろんな国の関係みたいなものを知ることが出来て、すごくわかりやすかったです。
- ・ 私達の班は、鉛筆1本、はさみ1つ、定規1つ、紙1枚500ジャイという全体的にみて真ん中くらいの豊かさでした。その環境からどういう風に稼いでいくか考えるのが大変でした。
- ・ 私達の班は、道具がたくさんあって、お金もすごく稼ぐことができました。貿易ゲームは、本当に現実の世界と一致しているところがあり、すごいなと思いました。
- ・ 最初何をしたらいいかわからず戸惑いました。時間が経つにつれてだんだんルールがわかってきたけれど、周りの班を見ると作業がすごく進んで焦りました。
- ・ 自分達の班は紙1枚、鉛筆1本、100ジャイしかなくて本当に苦労した。どの国も持っているものしかなくて、なかなか交渉が上手くいかなかった。そこで貧しい国同士同じ辛さが分かち合える仲間と三カ国同盟を作ってなんとか少しだけ進むことが出来た。このゲームを通して、テレビや新聞でこのようなことをよく耳にするけれども、他人事のようにあまり深く考えたことがなかった。貧しい国が豊かになっていくことは、かなり苦労する。いくら貧しい国同士で 結び合ってもいきなり成長していくことはかなり難しい。豊かな国が支えあっていく!! また同じ地球の仲間として支えあう。この大切さが本当に改めて身にしみた。
- ・ 貿易ゲームでは、最初道具がなくてもどうしたらいいのかわからなかったが、その後たくさん道具などを貸してもらった。変動などがありとても大変だった。
- ・ 私達はおそらく一番物資が少ないチームだった。一枚の紙と鉛筆しかない中で始めたけれど最初には300ジャイと定規などもゲット!! 同盟や募金などもしてもらった。小さいことだけど、自分が貧しい国のところに立って初めて気づくことが多かった。
- ・ 私達の班は封筒の中身がすごく貧しくて大変でした。しかし、みんなで協力できたことはとても良かったかなと思います。
- ・ 三ヶ国同盟を結んで協力できたことが良かったし、嬉しかった。また、本当に貿易で

起こる情報格差について知れてよかった。

- ・ 初めは、何なんだろう？って思ったけれど、簡単な方法で貿易を体験できて面白かった。高いものばかり作っていたら安くなっていたので、これが貿易の難しいことなのだろうと実感した。
- ・ 貿易ゲームでとても楽しかったです。私達の班は初めから、道具がたくさんあったので、たくさんジャイを稼ぐことが出来ました。でもその分、周りの班に申し訳ないなと思いました。
- ・ すごく楽しかった。班の人と結構話せるようになった。
- ・ まさかの0ジャイですごく悲しかったけど、班の子とあたふたしている状況をすごく楽しむことができました。
- ・ 貿易ゲームをしました。最貧国だったせいか、すごく大変でした。トラブルもあったので実際の国だったらもう少し怖いかもしれないと思いました。ほとんどの人はやさしく、グループの子もみんな頭がよく、少しは稼げて楽しかったです。
- ・ 様々な話を聞けて、これからの自分に活かしたいと思った。貿易 game がとてつもなく難しかったけど楽しめて良かった。
- ・ 1番道具がそろっていた班だった！ 一番儲かったし、お金もどんどん入って、かなり忙しかった。でも私は、あまり稼げなくてもゆったり自分達の時間を過ごす国に行ってみたい！
- ・ 貿易の大切さや、需要と供給のバランスなど頭を使いながら楽しく活動できた。
- ・ ゲームだったけれど世界の貿易も簡単にするとこういうことだろうなと思います。理解することができました。
- ・ まあまあ楽しく班の人と協力して出来ました！ 道具が揃っていた班はとても楽しそうでした。
- ・ チームのみんなで知恵を出し合い、楽しく活動できたので良かったです。“貿易”と言ったら一見関係ないような気もしましたが、貿易ゲームを通して貿易がいかに難しいのか、他の国と協力するには自分達は何をしなければならないのかを学ぶことができました。
- ・ 国際協力について、私はまだまだアバウトなイメージしか持っていませんでした。しかし、このワークショップで、海外の発展途上国の現状を知ることができたし、こんな小さなことでもやれば、現地の人の力になるということを知ることができました。良かったです。
- ・ 貧困国の気持ちが分かった。どんなに頑張っても、お金が稼げなくて悔しかったけれど、お金以上の大切さも分かったので、貧困国を体験できて良かった。
- ・ 貿易ゲームでは、私たちの班は道具が豊富だったのでたくさん儲けてとても楽しかったです。資源が紙一枚しかなかったけど、道具と交換してもらったりしてたくさん商品を作って儲けました。私たちの班は原料をもらって物を作る日本に似ているなと感じました。
- ・ 私は、初めて「貿易ゲーム」をしました。初めに入っている物に差があったので、コ

ンパスや定規を頑張って手に入れて、なんとかジャイをかせげました。しかし、途中で円形の価格が下がったのは、とてもショックでした。班のみんなと協力してできたのでとても楽しかったです。

- ・ 国際理解ワークショップでは、貿易ゲームを行いました。僕たちのチームでは、うまくジャイを稼ぐことは出来ませんでした。楽しくやれて、色々な事を考えさせられたので良かったです。

【やや不満】

- ・ 貿易ゲームをやってみて、貿易することがとても大変なんだということを学びました。そして、このゲームを通じて、発展途上国が困っている理由が理解できました。

[青年海外協力隊体験談]

□ 満足度

(人)

満 足	30
やや満足	4
やや不満	0
不 満	0

□ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

- ・ とても貴重な話も聞けたし、今どのような状況かもわかった。
- ・ 体験談をきいて、青年海外協力隊は2年間で出来ることを活動して、なおかつ依存させないためにいろいろ努力して活動していかないといけないことを学びました。
- ・ 自分達にとってもすごく勉強になった。外国人の人たちの暮らしや文化を学ぶことが出来てよかった。自分も何か協力したいと思った。
- ・ 実際に行った人から直に話を聞くことが出来たので、とても為になった。
- ・ 色々な活動を通じて大変なこと、嬉しかったことがあることを聞いてよかった。言葉の壁や習慣の違いは、あると思うけどそれ以上に「現地の方々とこの土地をよくしたい」という思いがあれば乗り越えられるし、お互いを尊重できると思います。
- ・ 自分は先進国にしか行ったことがないから、発展途上国のことは知らなかった。しかし、今回の講義でそれらの国の人々のことが良くわかった。人間はものに頼らなくても幸せに暮らしていけるんだと思った。
- ・ 実際に協力隊員として他国に行かれたかたの生の声を聞いてとても良かったです。
- ・ すごく興味深い話で真剣に聞くことが出来ました。自分が無力だと途上国に行って思っていたということを聞いて、私には何が出来るだろうと思いました。
- ・ 貴重な話を聞くことが出来、勉強になりました。2人の話でも共通しているところがあったり、やっぱり一人一人行ってみないとわからないことがたくさんあることを知りました。
- ・ 私達の知らないところで青年海外協力隊の方が活動していることを身近に感じることでできる機会になりました。私は、小学校のときに隊員になりたいと思っていました。

が、今日の話ですごく自分の考えていた職業と違っていて、私には出来ないと思いました。その国に必要なものや、何をしたらいいのかなど、すごく頭を使う仕事だと思いました。

- ・ 自分が印象に残った話は、「これって本当に支援？」という部分です。「物を与える＝支援」これは、自分が今まで青年海外協力隊といえば、支援といえば必ず思いついていました。でもよくよく考えたら、あげるだけでは、使用しなかったら、それはただのごみになってしまうかもしれない。ものを与えすぎたら、その国が依存したりするかもしれない。協力というのはその国が本当に必要としていることを考えるということが本当に大切なんだと思いました。
- ・ 2人の方の体験談が聞けてよかった。発展途上国についてもいろいろ学ぶことができた。隊員の行く目的みたいなのが聞けて良かったと思う。
- ・ 実際にOBの方々の話を聞いてみると、パソコンや本で見るより、よりリアルな現地の状況を知れた。日本とは全く異なる地でつらい事も楽しいことも乗り越えたOBの皆さんのすごさ、たくましさを改めて実感した。
- ・ どちらの人もきっかけは身近なことで、行動に移すことが第一歩だと思った。そして、互いに文化や習慣を認めあうことが大切だと学んだ。
- ・ 実際に青年海外協力隊で働いている方から話をきいて、言葉の通じない地域で働くことは大変なんだなと思いました。また、日本人と時間の感覚が違うのに驚きました。
- ・ めったに話を聞く機会がないのでとてもためになった。
- ・ すごく為になったし、自分たちにできる小さな事から始めようと思ったきっかけでした。何を学んだといわれてもよく分からないけれどすごく自分が磨かれたと思います。
- ・ 初めての経験でした。2人とも、しっかり自分の「国際協力」についての考えがあって、目的があって、現地に行かれていました。そこでのエピソードなども、見たまま話してくださって分かりやすかったです。終了後、質問できました。
- ・ 現地の事について知れて良かった。
- ・ 自分が考えていることの悪い点がしっかり分かってよかった!!
- ・ 実際どのような体験ができるのかなど、たくさんの事について知れてよかった。
- ・ 学校などで聞くことはありましたが、こんなにがっつき、しっかりとメモをとって聞くことはなかったのではほんとにすごく勉強になりました。
- ・ 写真などあったのでとてもわかりやすかった。今日の活動の中で1番良かったです。
- ・ 自分の頭の中では「こうしたらいいかな」と思っていることでも実際にその国に行ったらできないことも多いということが分かりました。また、国際協力だと思って行ったことも相手からすると迷惑なこともあると知り、支援先の人の意見をきくことがいかに大事かを学びました。
- ・ 実際に現地で活動してきた方のお話は、とても身近に感じられ、青年海外協力隊が具体的にどんな活動をするのかを理解することができました。私もやってみようと考えて実行に移していけば、青年海外協力隊として活動することができるんじゃないかなと思いました。

- ・ 協力隊が現地で、どのようなことをしているんだろうなどの今までのギモンがよく分かった。
- ・ 実際に海外へ協力隊として派遣された人の話を聞くことが出来てよい経験になりました。海外で事業を発展させたりすることがいかに難しいかを知ることができ、「国際協力」についてより深く考えることができました。
- ・ お2人の話を聞いて、外国で活動するのは、私が思っていたほど簡単ではないと分かって、国際協力についての考え方が、少し変わりました。
- ・ 体験談では、2人の講師の方からお話を聞きました。やっぱり、実際に派遣された人達から話を聞くと、あまり必要のない物が日本から寄付という形で送られていたり、現地の人々との考え方の違いで、うまく物事が進まなかったりなど普段聞けないことを聞けて、とても考えさせるプログラムでした。
- ・ たくさんのことを学べたのでよかったです。

[青年海外協力隊活動計画作り]

☐ 満足度

(人)

満 足	25
やや満足	9
やや不満	0
不 満	0

☐ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

- ・ 最後まで頑張っていたので、とてもいいものが出来たと思う。
- ・ 自分達で今の村の状況を理解した上で、私達だけのオリジナル料理を考えたりすることが出来たので良かった。
- ・ 班のみんなと協力して取り組むことができた。一人一人が意見を出しあって作ることができた。
- ・ もう少し、協力しながら作ることが出来ればよかったと思った。
- ・ みんなでよく考えると、課題の深いところまで考えることが出来ました。思いついたアイデアをどのように実現するか、村の人たちはどう思うか、いろんな視点から考えないといけなくてすごく難しかった。
- ・ 活動内を考えることが難しかった。村人のことも考えながら、臨機応変に考えるのが大変だった。一人でするにはとても大きな仕事だった。
- ・ すごくすごくチームのみんなで悩んだ末に作り上げた計画にとっても満足です。スタッフの方々にもたくさん協力してもらえて、たくさん深いお話を聞けて、考えが広がってよかったです。
- ・ みんなとあんな風に真剣に考えたのはすごく楽しく、でも難しかったです。
- ・ 村の現状についてよく質問し、グループで話し合えたと思います。村の人たちが陽気で明るくいいなと思いました。

- ・ 良い点、問題点、改善策など、班のみんなが良い意見を出してくれたので、スムーズに進んで、時間前に完成することが出来ました。
- ・ 今までで一番頭を使ったといっているくらい悩んで悩んで悩みました。どんなことをしたら村の人にとっていいことになるだろうとか、これはどんな解決策があるかなど、こんなにひとつのことで悩んだ結果、良いアイデアが生まれたりして、この考えがその村で達成したときを想像したらなんかキラキラしたのが見えた気がします。
- ・ いざ問題をみつけて取り組もうとすると、お金を使わないかつ、その国が持続できることの POINT がなかなか難しかったです。日本は何でもありすぎて、普段考えないからこそ、たくさん悩みました。
- ・ 計画作りでは、どうやって新聞をつくるかでもものすごく悩んでいました。その分に時間を費やしてしまった。でも悩んだ分、ものすごくいいものが出来た。
- ・ 活動計画作りは、チームそれぞれみんなが協力して出来たと思う。私は一番年上だったけど、年齢とか何も関係なかった。むしろ一年生のゴンちゃんが仕切っていた。尊敬！明日はチームワークで優勝したい。
- ・ 私達が協力隊として実際に活動をするという前提で、スクリーンでの村の紹介があったり、班のみんなと話しあったり村人に聞いたりしました。協力隊はとても責任のある仕事だと思いました。
- ・ なかなか行動に移せずにいたけど、4人の搾り出したアイデアと村人にアドバイスや質問をしたりすることで、「これにしよう！」とって完成できた。
- ・ 最初の方で付箋などに書いているのは、書きやすかったのですが、実際に決めるとなると自分達が考え足りないことがあって、上手くいきませんでした。でも、ラストには、協力して満足できるものが出来てよかったです。
- ・ 自分達の当たり前と、村の当たり前は違うんだなと改めて思いました。頭ではわかっていても実際に言われてみないとわからないことも多く、とても勉強になりました。
- ・ 班のみんなと協力し合って作れた。
- ・ すごく大変でした。何を書くにしても“これは？”“あれは？”と次々質問が出てきてどう書くかどう発表するか、すごく迷いました。
- ・ 村人たちの声もリアルで、聞けば聞くほど何をすれば1番良いのか分からなくなっていきました。体験談から学んだこと、資料・声などをフル活用して1つの模造紙になんとかまとめられて、よかったです。本当に難しかったです。
- ・ 村人の役をして楽しかった。上手く計画表がつくれて良かった。
- ・ 全然、最初まとまらなくて気分が下がった。日本と考える感覚が違うのでその国の人の気持ちになって考えるのが難しかった。
- ・ 1つの物の作るのにとてもたくさんの時間と村人への聞きこみで大変だったけど協力してできた。
- ・ ほんとに何もない状態から少しずつ知識をいれていって班のメンバーと協力して計画を立てることができました。村の人は少しきつくて、泣きそうになりましたが、実際のことを考えると、がんばれました!!

- ・ 早くスムーズに進めることが出来た。けど具体性がとても追求されたので、自分たちはまだまだだなあと思った。
- ・ バリボ村には問題が多くて、1つを解決しようとする、また違う問題が出てきて、その繰り返しになり、正直とても難しかったです。でも、自分が村人になった気持ちになって考えるとどうしたらいいのかが分かるようになりました。
- ・ 実際に、私達がやっていけることについて考えられる良い機会になりました。グループのみんなで案を出し合って、どうすればもっとよくなるか、新しいアイデアはないかと意見を出し、考えることができました。明日の発表を頑張りたいと思います！
- ・ とても大変だった。やることが多すぎて、何を1番にするべきなのかわからなくなった。先輩からの助言はとても役に立った。
- ・ 私たちの班は方向性はすぐに決まったけど具体的にどのように行うのかなどを考えるのが大変でした。実際に村の看護師や学校の先生に伺ってもあまり受け入れてもらえなかったりして、大変さが良く分かりました。
- ・ はじめは、活動するのは、簡単だと思っていたけど、いざやってみると、思っていたよりも多くの問題があって、なかなか1つにまとまりませんでした。後半には、他の班が少しずつまとまっているのに私達の班はまとまっていなくて、かなりあせりました。
- ・ 計画作りはとても難しくて、村人達をどうやって納得させるかに1番頭を悩まされました。でも、明日の発表にむけて、しっかりと仕上げていきたいと思いました。
- ・ 色々言われてごちゃごちゃになりました。

□ 今日の感想や新しく知ったこと・もっと知りたかったことなど、2日目を振り返って自由に書いて下さい。

- ・ 班で協力して取り組むプログラムが多かったので、楽しかった。
- ・ 今日は、2日目で、少し打ち解けたような気がする。昨日よりかは、少し多く、同じメンバーや違うメンバーとも話すことができてよかった。
- ・ もし将来、海外にボランティア活動へ行ったら、今日みんなで考えたことを少しでも活かして、現地の人との交流を大事にしながら、働きたいと思いました。
- ・ 朝から汗臭くなったことは苦痛だった。でも、昨日と違ってずっと集中して考えての繰り返しで、終わって考えてみたら、達成感がすごかった。国際協力の難しさも実感した。
- ・ 他の人の為に何ができるか、何のためにするか、誰にするか、色々な視点から問題を見る大変さ、難しさを知った。
- ・ 昨日まだ出会ったばかりのメンバーとこんなに協力し合って一つの事を考えたりしたことは一生の思い出です。
- ・ 今日一日でグループの人と特に仲良くなる事が出来てよかったです。何事も協力することが大切だと改めて思いました。しっかりと活動に取り組めてよかったです。
- ・ 青年海外協力隊活動計画作りをしていく中で、メンバーと意見を交わすことでとても良い勉強になりました。また、現地の人のお話を聞きながらボランティア活動の大変さ

も改めて感じました。

- ・ ワークショップで私が感じたことは、どの班も何かしらのハンディを持っていただけ稼げる班と稼げない班がでてきて、しかもそれがすごい差がでていて、発展途上国と先進国を上手くあらわしていたのではないかと思いました。同盟を結んでも発展途上中だったり、独立しててもどんどん稼げる場所だったり、いつもはなかなか想像できない現状をワークショップでは先進国と途上国の差を実感できたような気がします。
- ・ 今日人間的にすごく成長できたと思う。私は青年海外協力隊に参加したいと軽々しく言っていて、相手の途上国側に立って考えることって全くなかったと思う。活動計画作りでまた自分の視野が広がったし、チームで力を合わせて取り組めて本当に良かった。
- ・ 今日一番印象に残っているのは、貿易ゲームです。私達の班は三カ国同盟を結んでモノの貸し借りをしました。道具が貧しかった私達の班にとってとても助かる同盟でした。
- ・ 2日目はハードスケジュールで特にきついなと思ったけど、その分、国際協力隊として国々の現状を少しでも知ることができたこと、チームのみんな、チーム以外の人と仲良くなれたことが本当に嬉しかった。
- ・ 国際協力とは、自分達が思っている以上に難しいことでした。行く前も行った後も努力が必要だと今日イベントを通じてわかりました。
- ・ ゲームや班活動が多くて楽しかった。みんなの仲も深めることができた。
- ・ 私が何か1つ成長できた1日だったと思います。
- ・ とにかくグループの子と昨日より多く話したのが嬉しかったです。方言が違って会話がとまることがあったのが、国のようでした。
- ・ 1日目よりもさらに多くの人と話せて良かった。貿易 game を通して世界の現状を知れた。世界は「平等」ではない事を知りました。
- ・ 計画作りがとにかく難しかった。お金を日本とかの先進国に頼りすぎではいけないし、外国の人は自分達の生活で満足しているようだったしそのままで十分なのではないかとも思った！
- ・ あっという間の2日間でもっと長い時間と期間でしたかったです。
- ・ 私は今、進路に迷っています。英語や外国の方と接したり、みんなと何かを成し遂げることが好きで、魅力を感じていて、JICAのような活動に興味をもっています。2日間の活動でいろいろな体験をし、すごく価値のあるものになりました!!! もう少し、考えてみようと思います。
- ・ 貿易ゲームでは、とても貧しかったけど、貧しくても貧しいなりにチームで協力し合って楽しく過ごせたので良かったです。青年海外協力隊活動計画作りでは、普段はあまり意見を言えないけど、たくさん意見を言うことができて、とても成長できたなあと思いました。
- ・ 青年海外協力隊について知れば知るほど、自分も青年海外協力隊として活動したいという気持ちが強まりました。
- ・ 今日のプログラムの中で1番楽しかったのは貿易ゲームです。初めてやったのでやり

方とか全く分かりませんでした。ゲームをするうちにわかってきて、実際の貿易ってこんな感じなのかなーと体験できたのでとても良かったです。価格の変動もありどうすれば儲かるのか、紙をできるだけ無駄なく使うにはなど色々なことを考えることができました。

- ・ JICA で活動することで試験や研修があつて大変だと知りました。また、自分に何ができるかを考えるのもすごく大変だということを身をもって体験できました。班のみんなとも仲良くなれたので良かったです。
- ・ 2日目になるとチームのみんなとも、JICA のメンバーともなじむことが出来て、楽しかった。

3 日目（生徒用）

[青年海外協力隊活動計画発表]

☐ 満足度

(人)

満 足	29
やや満足	5
やや不満	1
不 満	0

☐ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

【満足・やや満足】

- ・ 自分の欠点、利点を知ることが出来た。いろいろな考え方や、価値観を知ることができたのでよかった。自分にとって、ないものを得ることができた。
- ・ 緊張した。一番最後まで作り上げるのににかかったし、どうなるかと思ったけど完成して良かった！
- ・ 緊張しました。発表できて良かった。
- ・ 同じ村への活動がいろいろあつて、気づかされた。まだまだすることがあると思うので、これからも考えたい。
- ・ みんなで話し合つて考えて、自分で説明するところを考えて…そしていざ発表！ということでしたが、私たちの班はみんな仲良く協力して上手く説明することができました。結果はなんと最優秀賞！とっても嬉しかったです。
- ・ どのチームもバリボ村の課題を見つけて解決するためのプロジェクトをよく考えていてすごいと思いました。私たちと同じプロジェクトの班もありましたが、プレゼンの仕方で差がつき、最優秀賞とれなかったのが残念でした。
- ・ みんなそれぞれに違ったアイデアがあつて、人それぞれだなーと思いました。また、人に伝えるにはプレゼンの仕方も考えて、しっかりと話さないといけないと思いました。
- ・ みんなの前で発表をするのはとても緊張しました。他のグループの計画もとても具体的ですごいと思った。

- ・ 作り始めるときは仕上がるかわからなかったけどできた。
- ・ 緊張して上手く発表できなかったけど、あの班で発表ができてよかったです。
- ・ 色々な人がいて、色々な計画があるなと思った。喋り忘れたこともあって、悔しかった。
- ・ いっぱい突っ込まれたけど、何とか発表できたからよかったです。
- ・ とても緊張したけど、班のメンバーと協力してやり遂げることができてすごく嬉しかった。質問にも答えることができて良かった。
- ・ とても緊張したけど、とても良い体験になった。
- ・ 自分達の計画に何が足りないのか知りました。また考えます。
- ・ 班で考えたことをしっかりまとめて発表できて良かったが、具体的な案を考えておけばよかったと思った。
- ・ あまり、村人に上手く伝えきれなかったけれど、がんばりました!!
- ・ 紙に書いてあることだけではなく、アドリブをきかせて言えたので良かったです。言う内容は同じであっても、言い方・伝え方でだいぶ印象が変わるんだなと思いました。
- ・ 自分たちが1番いいと思った解決策も、他チームの意見を聞くことでもっと工夫して良いものになるということが分かった。
- ・ いろんな班のいろんな人の話が聞けて、これからの自分のためになりました。
- ・ すごく緊張した。でもそれよりも自分たちだけで考えたことを自分たちで伝えることができるのがうれしかった。
- ・ 自分たちとほとんど同じ内容の計画をしたグループが最優秀だったので、もっと工夫をするべきだったと思った。
- ・ 活動計画は考えるときから、すごく難しくて、どうなるんだろうと思っていましたが、班のみんなで協力して満足できるものができて良かったです。
- ・ 自分たちで考えたものを発表するときは、緊張して失敗したところもありましたが、みんながカバーしてくれて最後は最優秀賞をもらうことができてうれしかったです。
- ・ みんなの前でプレゼンテーションする機会はあまりなかったので始まる前はすごく緊張した。質問が来るのか？答えられるかな？と不安だったけど自分たちで考え、話合ったことだったので、意外と答えることができた。やっぱり「自分たちで考える」ってことは大切なんだと改めて感じた。
- ・ どんな風に発表したらみんなに分かりやすく説明することができるのかなど、発表するときも頭を使いました。どの班もいいideaをもってきていて面白い考えを共有して考え方が広がりました。
- ・ 発表はとても緊張した。みんなで昨日頑張って作った新聞を発表してすごく達成感があった。私のなかでは、「ごんちゃん's」が優勝チーム！他のチームの発表もみんなそれぞれ着眼点が違っておもしろかった。
- ・ 自分たちが頑張って考えたことをみんなの前で発表することは、とても大変だと感じた。学校では、みんなの前であまり発表する機会がなかったので、とてもいい経験になった。
- ・ 自分たちの活動と他のグループの活動が全く違ったので、日本人でも人によって考え

方が違うので、世界の人々とも全く考え方が違うのだろうなあと考えた。

- ・ 賞はもらえなかったけど、一番よかったと思います。急な質問で焦ったので、きちんとした答えになったか心配です…同じテーマなのに、本当にいろんな感じ方・考え方ができるんだなと思いました。
- ・ 昨日みんなで一生懸命作った計画を緊張しながらもみんなに伝えることができた。いろいろダメ出しされたけど、それも1つの経験！班の特徴が出てるなと思った。
- ・ 自分たちなりに精一杯できてとてもよかったけど、賞もほしかったなあ…。でも、賞のためじゃないから頑張った自分に拍手！

【やや不満】

- ・ 自分達の思っていたこととちょっと違うとらえ方をされたみたいで、プレゼンは難しいなと思った。

□ 3日間を通して、このプログラム全体の満足度は_____パーセント（%）
(人)

100%以上	20
90-99%	9
80-89%	4
79%以下	1
記載なし	1

満足度の理由

【100%以上】

- ・ 普段では知れない・経験できないことをこの2泊3日で活動することができた。九州各地の仲間とJICA協力員の方々と過ごしたこのプログラムは絶対に忘れない。(200%)
- ・ 本当にたくさんのことを学ぶことができてすごく充実していた。このプログラムに参加できたことを誇りに思います。(100%)
- ・ とても充実し、貴重な体験をしたから (2000%)
- ・ 考える機会が多くあったし、楽しいこともあったから。(100%)
- ・ とても良い友達もできたし、いろいろな発表を見ることができた。(100%)
- ・ 学校の授業や普段の生活では考えられないことを深く考えることが出来た！(100%)
- ・ 1日目～3日目まで、すべてのプログラムに大満足です！最初はほんとに不安で、うまくやっていけるかわからなかったけれど、ほんとうによい人達ばかりで、クバーラも優勝、プレゼンも最優勝でほんとに楽しかったです！スタッフみなさんととても面白くて大好きになりました。(200%)
- ・ この3日間、本当に本当に良い経験がたくさん出来ました！日常生活ではできないことばかりだったので、このプログラムに参加してよかったと心から思いました。このプロジェクトに参加して、世界のつながりなどたくさんのことを深く考えることができました。(100%)

- ・ 3日間とても充実していて、楽しい時間が過ごせたからです。初めは、同じ学校の人以外の人と上手く話せるか、とか心配だったけど、グループの人がとても優しく、仲良くなったので良かったです。(100%)
- ・ 自分を成長させてくれたし、何より他見の人達と友達になることができたから！(100%)
- ・ 国際協力の考え方が変わりました。どのようなことをしているのか分かりよかったです。(100%)
- ・ どんなくちでもチーのみんなと笑い合えてとてもとても楽しい3日間となったから！実際に海外青年協力隊となってみることで見えてくるものがたくさんあっていい経験になった。(100%)
- ・ 「初めて」「改めて考えさせられた」この言葉は3日間で何度も何度も自分の中に出てきました。自分が知らないことばかりで、たくさん刺激を受けることができました。(100%)
- ・ 楽しむだけではなく、国際のことも考えるというのも、全く飽きないプログラムが組まれていて、ハードスケジュールでも疲れを忘れるほどでした。(320%)
- ・ まず、将来参加したい青年海外協力隊についてたくさんのが知れたのが一番の収穫でした。本やインターネットでのっていないことやOBの方々の話もきけてすごくになりました。本当に本当に楽しかったです。(100%)
- ・ 発展途上国について、いろいろ知ることができた。世界では、いろいろな人が苦しんでいるということも体験談から良く分かった。グループのみんなと協力し合えたことが1番楽しかった。(100%)
- ・ もー！楽しすぎました。(100%)
- ・ すごくあわただしく短い時間で名残惜しいです。英語の力がなく、悔しい思いもしました。しかしどれも良い経験でほとんど初めてのことばかりでした。楽しかったです！(100%)
- ・ すごく充実していた！新しい友達とグループを組んでたくさん考えて、たくさん成長できたと思うから(100%)
- ・ とってもとっても楽しかったです。来年も来たいぐらいです。(100%)

【90-99%】

- ・ もう少し外国の方々とふれあいたかったなあ(90%)
- ・ 3日間、ちょっと忙しいスケジュールでバタバタしたりしたけど、とても充実した3日間でした。他の国についてこんなに考えたことがなかったので貴重な体験になりました。(90%)
- ・ あとの5%は知識の少なさです。だけど、とにかく楽しかった。(95%)
- ・ とても充実した3日間でした。新しい友達も出来て嬉しかった。残りの10%は、あまり積極的になれなかったところです。(90%)
- ・ とても楽しかった。だからもっと長い時間していたかった！大切な友達も出来たし、国際協力についての理解も深めることが出来たから。(90%)

- ・ 外国の方と交流できたし、新しい視点で見ることが出来るようになったし何より楽しかった。(90%)
- ・ 全体的に満足している。知らないことをたくさん学べ、かつフルに考えて行動をとることができて楽しかった。友達と過ごす時間がまだ欲しかった。(95%)
- ・ とても短い期間だったので、もっと長い期間でしたかったです。(90%)
- ・ 内容が充実していた。みんなで仲良く楽しく活動できた。国際協力にますます興味が出て、行動に移そうと思った。(90%)

【80-89%】

- ・ もっと外国の人たちと英語で話し合いがしたかった (86.7%)
- ・ 少し緊張して初めは自分の思いを伝えることに戸惑った。(80%)
- ・ 自分からなかなかプログラムに積極的にいけなかったのも、せっかく準備してあるプロジェクトなのでもっと積極的になれば満足度もあがったと思います。(80%)
- ・ アイスブレイクで緊張がほぐれて、国際協力について集中して学びました。パーティーの時は、相手の英語がわからなかったこともあって、もっと勉強しないといけないと思いました。全体的には、ミスをする場面もありましたがよく行動できたと思うので良かったです。(80%)

【79% 以下】

- ・ 記述なし (70%)

【満足度記載なし】

- ・ 本当に充実した3日間でした。貿易ゲームや、青年海外協力隊に行かれた方の話など途上国のことが詳しく知ることができてうれしかったです。

□ 一番印象に残ったプログラムは何ですか。その理由を記入してください。

〔クバーラ〕

- ・ 年齢関係なく楽しめるゲームができてとても楽しかった！
- ・ あまり動けなかったですが、頭を使ってすごく楽しかったです。優勝して盛り上がりました！
- ・ 初めてみんながひとつになれたから。

〔国際交流パーティ〕

- ・ 外国人の方と英語で話すことはほんとによい経験になりました。考え方の違いや、その国の文化など知れて良かったです。また様々な国の料理など、食べたことのなかったものを食べれたのも良かったです。英語でのコミュニケーションの難しさやもどかしさ、楽しさを知ることが出来ました。
- ・ 英語で交流が出来たことがとても嬉しかったです。通訳無しで、英語が聞き取れて伝統的な料理とか教えてもらえて良かったです。
- ・ JICA の研修前はほんとに自分には英語を生かせる仕事に向いているのかなどいろいろ不安なことを思っていました。でも実際外国の方を目の前にすると英語が伝わったり伝わなかったりはあったけど、とにかく楽しくて、聞き取って話せたときの嬉しさ

は忘れられません。

- ・ とっても面白い外国人の方で楽しかったから、もっと自分の英語力を高めようと思った。
- ・ 言葉が通じなくても人は繋がれると感ずることができたから。
- ・ 他国の伝統料理とか、英語の難しさとかたくさん学べました。
- ・ 外国の方と伝えること、伝わることの難しさを学べた。でもそれより楽しい！ という気持ちが大きかった。
- ・ 初めてみんなと出合ってドキドキのパーティーだった。ジョーイとも出合えてアフリカ人は超社交的で仲良くなりやすかった。料理もおいしくて大満足！
- ・ 外国の方と間近で話することができた。あまり知らない国だったけどとても興味がわいた。

[国際理解ワークショップ（貿易ゲーム）]

- ・ あまり稼げなかったし一文無しだったけど、それを通して考えられたから。
- ・ 今までは、貧しい国の大変さを文書や DVD で見て知っていたと思っていたが、実際に体験すると、その大変さがすごくわかったし、幸せは豊かさではないなあと感ずた。
- ・ はじめは、どの班も同じものが入っていると思っていたけど、まわりの班はちがくて、どうやって道具を手に入れるのが大変でした。途中で値段が変わってしまったのでとても残念でした。またやりたいです。
- ・ たくさんのお金を稼げたことと、まわりの国？みたいなのと協力したほうが良いと思った。
- ・ 世界の現場を肌で感ずることができた。
- ・ 二番だったけど 14450 ジャイを稼ぐことができたから。しかし、人間は欲深いものであると改めて実感した。
- ・ 貿易ゲームは初めてやりましたが、現実の世界と一致していることが多かったのすごいいと思いました。このゲームで大切だったように、世界各国が協力していくことが大切だと思いました。
- ・ 貿易の辛さや、情報の格差にもいろいろと分かった。変動が起こるととても辛かった。
- ・ 貿易ゲームにおいて、先進国、発展途上国そうでない国の関係性が分かりました。

[青年海外協力隊体験談]

- ・ 自分が想像していたよりもとても厳しいところだと思いました。人の命がどんどん消えていくのは、自分の無力さとかを感ずて、とてもきついと思いました。私にもできることがあるか、考え直すきっかけになりました。

[青年海外協力隊活動計画作り]

- ・ 村の人の気持ちになって考えるのがとても難しかった。
- ・ とっても難しかったです。何を言っても突っ込まれて大変でした。でも完成したときはとてもうれしかったです！
- ・ 班のメンバーと 1 番協力して取り組むことができたから。
- ・ グループのみんなと考えられたから。どんな案を出しても、お金は？ 誰が作るの？ とかたくさん壁ができて、すこし辛かったけど案がまとまったときは最高の達成感でした。

- ・ すごく難しかったけど、自分たちなりのアイデアを頑張って出した。でも実際、現地に行ったらやっぱり成功させるのは難しんだろうなと思う。
- ・ 最後の最後までみんなで意見を出し合って完成した最高の案になったから。
- ・ グループみんなで協力して、一生懸命話し合ってたし、貴重な経験となった。新たな気づきもあり、ためになった。
- ・ みんなで国について考え、案を出し合ったりして1番力を合わせて活動することができたからです。
- ・ みんなでたくさん意見を出し合って、いろいろな解決策を出していくけどそれと同時に問題も発生して、小さな村を変えることは難しいなと感じました。
- ・ たくさん悩んで時間を使って本当に頭を使いました。疲れたけど、みんなと意見を出し合って1つの作品が仕上がってよかったです。
- ・ 班の子たちとも仲良くなれて、人に自分の意見を伝える難しさを知りました。さらに、つきつめて考えることの大変さ、それぞれの考えの違いも知ることができました。

[活動計画発表]

- ・ 他の班の考え方などを知ることができ、すごく勉強になった。

□ 最後に何か書きたいこと、伝えたいことなどがあれば自由に書いて下さい。

- ・ 今回のプログラムは必ず将来につながると思います。
- ・ 不安で不安でたまらなかったけど楽しく終えることができた！英語力もっとつけねば！でも言葉だけではない！
- ・ いつか自分もここで働きたいなあと少し思った。
- ・ JICA 九州最高 I love you !
- ・ この実体験プログラムに参加して本当に良かったと思いました。あと、ホテルがとてもきれいでした！
- ・ どのことについても全力で取り組み、よく考えることができた3日間！考えることに意味がある！とにかく満足です！チームが最強で最高でした。
- ・ 3日間ありがとうございました！本当に良かったです。また皆さんに会いたいです。
- ・ 本当にありがとうございました。途中点呼をとばされたりしたけど、楽しく勉強できて、とても有意義な時間を過ごせました。
- ・ ありがとうございました！
- ・ このプログラムに参加してよかったと思っています。3日間本当にありがとうございました。プログラムを通して学んだことを、これからの生活に生かしていきたいと思っています。
- ・ みんな3日間ありがと！別れが辛い…。けどみんなとはずっと友達でいる！
- ・ みんなに出会えて、自分の考えも深まってものすごくいい経験になった。正直乗り気じゃなかったけど参加してよかった。
- ・ 村の人はお金がやっぱり一番大切なのでしょうか。それは「価値観の違い」として受け入れてもいい現実なのかな？と疑問に思った。JICAのホテルにずっと住みたいです！

- ・ 最初は女子が多くてためらっていたが、終わって考えてみるとこのプログラムに参加してよかったと心から思ったし、充実した時間を過ごせてよい思い出にもなった。これからの人生にも活かして行きたい。
- ・ このようなプログラムに参加できたことは光栄だし、何より JICA の人たちはとても優しかったです。短い時間でしたがありがとうございました。そしてまた様々なプログラムにも参加したいと思います。
- ・ とても楽しかったです。
- ・ 3日間本当にありがとうございました。たくさんの事を身につけることが出来て本当によかったです。
- ・ ほんとに充実した3日間でした！進路に迷っていたけれどある程度固まった！
- ・ 私は人見知りをするので、最初は他県の人とグループを作って行動するのはとても不安でしたが、すぐになじめたし、みんなで意見を出し合って良い勉強になりました。
- ・ いろんな人と出会い、3日間だけど、とても充実した3日間でした。楽しかったです。
- ・ 自分は将来、看護師になりたいと思っています。もし、資格を取ったら、青年海外協力隊にいけたらいいなあと思いました。考えさせられました。
- ・ 言葉に表現できないくらい、書ききれないくらい勉強になったし、楽しかったです。
- ・ このプログラムを通して、やはり1番学んだことは「価値観の違い」です。この価値観とは、日本と世界でもあるし、大人と子どもなどといった様々な物がありました。国際協力において大切なことは、一方の価値観を押しつけず、お互いを理解することだと思います。
- ・ この国際協力実体験プログラムに参加して、本当に良かったです。体験したことがないことがたくさんできました。
- ・ 2泊3日ありがとうございました。このプログラムから、これからの自分の行動に繋がっていかうと思います。
- ・ 本当に、ありがとうございました！
- ・ 今日まで3日間本当に貴重な経験をさせていただいて本当に楽しかったです。このことを忘れることなく家や学校生活、将来に活かして行きたいです！推進員のみなさんのおかげで頑張れました！ありがとうございました！

2014年度 第2回目 JICA 国際協力実体験プログラムアンケート

1日目（生徒用）

[自己紹介・アイスブレイキング]

☐ 満足度

(人)

満 足	21
やや満足	10
やや不満	0
不 満	0

☐ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

- ・ 新聞紹介や自己紹介の時間をもう少しとってもらいたかった。アイスブレイキングは必ず他者と関わるようになっていて打ち解けることができ、とても楽しかった。
- ・ けっこう楽しめました!! JICA のスタッフさんがみんな気さくな方ですごく話しかけやすかったです!! 個人的に角に分かれるみたいなゲームが楽しかったのも、もっとマニアックな質問を増やしたらいいと思います!
- ・ 人見知りの自分としては、アイスブレイクのおかげで、他の学校の人とも話せて緊張感がとれたので良かったです。でも学校紹介の時間が一分間は少し短いかなと思いました。
- ・ アイスブレイキングでビンゴのプリントを使った時、知らない事を知り、その上、他の学校の方と話すことができました。名札のピースを使ったグループ分けが、おもしろいと思いました。
- ・ 学校紹介の1分間は短く感じましたが、良い経験となりました。短い時間でいかに重要なポイントを短く、的確に、相手に伝えられるかの難しさが分かりました。言葉を発さずに誕生日順に並ぶのも、案外難しかったです。
- ・ 学校紹介の発表やビンゴゲームなどをする時とてもドキドキしました。でも、徐々に氷も溶けて楽しくビンゴゲームすることができました。国際関係の質問もたくさんあり楽しかったです。
- ・ 最初は、緊張していて他校の人と話すことができなかったけどアイスブレイキングを通して、たくさんの友達が出来たので本当に良かったです。明日からの活動も新しい友達と協力して頑張りたいです。
- ・ まだ打ち解けてなかったので緊張しました。
- ・ 最初は、緊張しすぎてうまく話せなかったけど、スタッフの人の高いテンションのおかげで少しずつ楽しくなって、みんなとも話すことができてよかった。
- ・ はじめは、知らない人ばかりで不安でドキドキした、でも、ゲームをしていくうちに話せる人が増えてワクワクしてきました。ビンゴゲームの質問は、簡単そうでできないのが多かったです。結構、身近に海外のものがあることを改めて感じました。

- ・ みんなと打ち解けあえたように感じたので本当によかったです。
- ・ 学校紹介では1分間という短い中で少しテンパってしまいましたが、いい経験になりました。また、誕生日順に並んだり、ビンゴなどのゲーム（アイスブレイキング）をして初めての人ともけっこう仲良くなれたので、嬉しかったです。話すきっかけがいっぱい会話もして仲良くなれました。他の人にも教えて、一緒にまたやりたいなと思いました。
- ・ すごくおもしろい企画だった。もう少し自分から積極的に動けばよかった。
- ・ 学校新聞を発表したり、ビンゴで他の人と話すのに初めはすごく緊張しました。
- ・ 自己紹介の時はまだみんなのことよく知らなくて、でも、アイスブレイキングをしたことによってお互いのことを少しでもたくさんを知れたので良かったです。
- ・ 人と慣れるまでに時間がかかったけど、いろいろなゲームなどをしていくうちに少しずつ打ちとけていけてよかったです。
- ・ 学校新聞でその人たちの個性がわかった。アイスブレイキングで学校・年齢関係なく話してくれる人が多くて気が楽になった。口を開かずに誕生日ごとに並ぶのが楽しかった。
- ・ 初対面の人と仲良くなれるか不安だったけど、アイスブレイキングのおかげでなじめた。
- ・ 人見知りなので他の高校の方などと喋れるか少し心配でしたが、ちゃんと喋れたので自分的には良かったと思います。
- ・ みんな初対面で最初は学校同士だけの交流だったが、アイスブレイクを通してお互いに分かり始めて徐々に会話が増えていった。でもまだ仲が深まっていないので2日目以降に頑張る。
- ・ 最初はけっこう緊張したけど、ビンゴゲームやクイズをして話していくうちに、少しずつ緊張もとけていき、楽しくなっていました。また、グループに分かれても、楽しくやっていけそうなのでよかったです。
- ・ 最初自分は同じ高校の人とばかりいてあまり周りに解けこまないでいた。地球ビンゴとか全然積極的に行けなくて一つもビンゴが出来なくて次のクバーラから頑張ろうと思った。
- ・ 知らない人たちばかりだったがアイスブレイクのおかげで少し打ち解けられた。
- ・ 全く仲良くなりきれなかったけど、少しずつ話せるようになった。
- ・ 地球ビンゴでいろいろな学校の人と会話できてよかった！最初は緊張したけど、少しずつ緊張がほぐれた。
- ・ 人見知りなので話せるか不安だったけど、“今日が誕生日”ということもあり、それをネタに話しかけてくれる子がたくさんいて打ちとけられた。ビンゴを通して名前も聞けたし、ゲームの中で1番楽しかった。
- ・ 緊張していたけど、アイスブレイキングのおかげでみんなと打ちとけることが出来た。
- ・ 周りに知らない人ばかりですごく不安になったけど、各学校紹介の時に明るい人が多いようで、人見知りの私だけですがすぐグループの皆と打ち解けました。
- ・ みんなと仲良くなれて良かった。最初は緊張したが、早くなじめて嬉しかった。

- ・こんなに知らない人たちと一度に集うことなんてなかなかないので、どうしたものかと思いましたが、自分らしく接することで、すぐに誰とでも仲良くなれるものなんだと感じました。
- ・色々な学校の新聞はそれぞれに特色があって発表を聞いていてとても楽しかったです。明日明後日でもっと読んでみたいです。アイスブレイキングで多くの人とコミュニケーションが取れて、不安がなくなりました。

[クバーラ]

☐ 満足度

(人)

満 足	30
やや満足	1
やや不満	0
不 満	0

☐ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

- ・ みんなで声をかけあったり、コミュニケーションをとることができてよかったと思う。夢中になれてとても楽しかった。ルール説明も分かりやすかった。学校でもしたいと思う。
- ・ クバーラなめてました…。体力さえあればいける!! と思ってましたが、実際にやってみると、なかなか難しかったです。頭使わないと勝てませんね。でも何回もやったら色々分かってきて、チームの仲も深まってとても楽しかったです!!
- ・ 初めて体験したクバーラでしたが全然難しくなく、ボールなどの道具が必要ないところがいいなと思いました。ただ走るだけではなく、仲間と協力しないと勝てないので仲間と戦略を練ったりして楽しかったです。
- ・ 勝っても負けても楽しくできるスポーツでした。遊び感覚でしているようで、運動が苦手な自分でも、することができました。コツがあるので、ずっと運動が苦手な私でも、することができました。コツがあるので、ずっとしていると頭が働きました。マダガスカルの事も勉強になりました。
- ・ ライン上しか動けなかったのが、相手にタッチするのが難しかったです。初めてアフリカのスポーツを体験できて、とても楽しかったです。
- ・ 今まで体験したことのないゲームだったのですごく楽しかったです。ボールがなくても自分の足だけで楽しむことができたのでよかったです。
- ・ 「クバーラ」は初めてのスポーツでしたが、仲間と協力してプレーする事ができました。チームで声をかけ合ったり、作戦を立てて勝つための工夫が出来ていたと思います。また機会があれば、「クバーラ」をしたいなあと思いました。
- ・ 仲間との協力もできて、とても楽しかったです。
- ・ ルールは簡単なのに、やってみるとものすごく難しくて頭も体もすごく使った。私たちのチームは優勝できたので協力できたかなと思います。
- ・ はじめ、何をするかまったく分からなかったのが楽しみでした。グループで協力して

勝てたときにはうれしかったです。そして、優勝でき、最高でした。ぜひ、学校でもうまく友達に説明してやってみたいです。

- ・ みんなと協力して体を動かすのは本当に久しぶりだったのでとても楽しかったです。
- ・ クバーラは聞いたのもこの研修に参加すると知ってからで、もちろんやったことすらなくてどんなことするのかととてもワクワクしていました。実際に体験してみて、足の速さだけでなく、チームプレイがとても重要で、だからこそいっぱい会話もして仲良くなれました。他の人にも教えて、一緒にまたやりたいなと思いました。
- ・ 運動が苦手な自分でもとても楽しめた。
- ・ 攻めたり、守ったりルールもあってとまどったりもしたけど、体を動かしたりチームで協力することで仲がもっと深まったのでよかったです。
- ・ 初め、クバーラという遊びを知らなくて自分にもうまくできるかな??と不安でしたが、チーム一丸となってみんなで協力していくにつれてみんなが一つになった気がします。とても楽しかったです！
- ・ 初めてのスポーツだったけどルールが簡単で覚えやすかったです。チームメイトと協力してできて楽しかったです。
- ・ 最初の印象はとても難しそう…と思ったけど単純なルールなのに結構頭を使う、奥の深いゲームだった。とっても楽しかったです!!!
- ・ マダガスカルスポーツがおもしろかった。
- ・ 運動音痴な僕でも楽しめたので良かったと思うし、マダガスカルでも日本の鬼ごっこみたいなのがはやっているんだなあと思います。
- ・ クバーラは「おにごっこ」のイメージが強かったが「おにごっこ」よりも頭を使うので、しっかりと考えることが必要だった。クバーラを他の人にも教えてもっと日本全体で普及できたら良いなと思った。
- ・ クバーラ体験では、「クバーラ」というものが何なのかも知らず、ビデオを見たり、説明を聞いている時楽しそうだなと思いました。そして、クバーラを始めたとき、攻めたり、守りをしたりしてとても楽しい体験ができてよかったです。
- ・ クバーラでは最初ルールがあまり理解できてなくて、あやふやなままやっていたが、数を重ねるごとにルールも覚えクバーラの楽しさがわかってきた。それに他の班の人とも会話できて楽しかったし、トーナメントでは優勝できて嬉しかった。
- ・ 今日は初めて知ったスポーツだったがチームを組んで協力しながらやっているうちに楽しかったし、みんなとより深くうちとけられたのでいいスポーツだと思った。
- ・ チームで楽しく優勝することができて良かった。
- ・ クバーラという遊びを初めて体験した。マダガスカルでクバーラの大会をするまでの過程も知ることができてよかった。ルールも未完成で大会の準備など大変そうだけど、終わった後の達成感すごいんだろうなと思った。チームの人とも仲良くできてうれしかった (^^) /
- ・ ルールが簡単で分かりやすかった。ゲームの最中で声をかけ合って仲良くなったのもあったし、仲間が出ている間の応援で話して仲良くなったのもあった。最初に推進員

が言っていたようにもったしたかった！

- ・ 言葉が通じなくても遊びだけで、こんなにも仲良くなるとは思わなかった。楽しかった。
- ・ 初めて、クバーラを体験してとにかく楽しかったです。グループで団結できて良かったです。でも、優勝したかったな！
- ・ 協力が大事。コミュニケーションを積極的にとることにより、みんなと仲良くなれた。学校の友達ともやりたいと思う。
- ・ 自分はスポーツをあまりしてなくて、正直自信がありませんでしたがアイスブレイクした仲間と共にプレイ出来て、とても楽しかったです。もっとやりたかった。
- ・ 最初は初めてするスポーツだということと、運動が苦手な私でも楽しめるのかと不安でしたが、やっていくうちに楽しくなりました。これから学校の友人などクバーラを知らない人とも一緒にしたいと思います。

[国際交流パーティ]

☐ 満足度

(人)

満 足	28
やや満足	3
やや不満	0
不 満	0

☐ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

- ・ めったにできないすばらしい経験ができたと思う。言葉が通じないというのがもどかしかったが、よりスペイン語を話せるようになりたいと思った。
- ・ 今日の中で1番楽しかったです！研修員の人達はスペイン語で何を言ってるかよく分からなかったけど、心が通じましたよ！料理大大大大満足でした！どれもうまい！！一番おいしかったのは肉です！明日のごはんも楽しみにしてます～！
- ・ 最初は研修員の方が話してばかりだったけど、だんだんと自分たちから身ぶり手ぶりだけで話しかけることができたので良かったです。研修員の方たちはすごく陽気で楽しかったです。あと料理もいろいろな国の料理があっておいしかったです。
- ・ 外国人と話す機会がない私にとってとても満足した時間でした。話が途切れることなく、いろいろな話をして下さいました。スペイン語が分からなくても、英単語やジェスチャーで上手く会話のできたので良かったです。
- ・ スペイン語はなかなか聞きとれなかったし、相手に何かを伝えるのも難しかったです。ですが、ジェスチャーなどで相手にちゃんと伝わったり、相手の方の伝えたことが分かったときは、とてもうれしかったです。料理も美味しかったです。
- ・ 外国の話や日本の話などをお互い話すことができました。私は英語をあまり知らなかったけど、ていねいに教えてもらったので嬉しかったです。
- ・ 「ベネズエラ」の方が来てくださり、たくさんのコミュニケーションをとる事ができました。言葉は、あまり伝わりませんでしたが、ジェスチャーや紙に文字やイラスト

で伝わるように班で協力して貴重な体験ができました。

- ・ 外国の方々と話すことができ、また、もっと英語をがんばろうと思いました。
- ・ 私たちのグループにはペルーの女の人がきてくれて英語を話してくれたのでとても助かりました。とっても勉強になったし、アメヤしおり、ブレスレットなどくれてとっても楽しかったです。
- ・ まず、英語が聞きとれなかったり、自分が喋る言葉がぱっと思いつかなかったりしたので、もっと英語を勉強してマスターしたいです。英語だけでなく、さまざまな語学を学んでみたいです。料理は、日本にはない珍しいものがたくさんあっておもしろかったです。
- ・ ラモンさんたち仲良くなれたり、まだ食べたことのないものを食べるのはとてもわくわくしました。
- ・ スペイン語が全然わからなくて、少しどうしようと思った時もありましたが、先生たちが助けに来てくださったり、筆記で会話が出来たりしてとてもいい経験ができました。少しだけですが、スペイン語を学べて楽しかったので、もっとやりたいと思いましたし、英語をもっと学びたいと思いました。
- ・ 研修員の方と、もっとコミュニケーションが取れるとよかった。見せていただいた写真がとてもきれいで感動した。
- ・ みんなでスペイン語練習したり、外国人の人と話して言葉が通じなくて困ったりもしたけど、身ぶりや英語を使ってたくさん会話することができた。
- ・ 私たちのグループはパナマから来てくださった外国の方と、一緒にごはんを食べたり、いろんな話をしたりしました。ごはんはとてもおいしかったです！
- ・ なかなか外国の方と話をする機会はないから、とても貴重な体験だったと思います。様々な国の食べ物も食べれて良かったと思います。
- ・ 好き嫌いが激しいから口に合わなかったらどうしようと不安だったけど、どの料理も余裕に食べることができた。ココナッツラーメンが特にお気に入り！
- ・ 言葉の壁を感じた。
- ・ 外国の方と喋るのは少し緊張しましたが、いろいろ聞けたり自分の英語が伝わったのでとても良かったと思います。
- ・ リカルドとガルルと会話したが、英語もスペイン語もままならない自分に、必死になって分からせようとしている姿勢にとってもうれしく感じた。明日以降も海外の人と交流してみたいと思った。
- ・ 国際交流パーティは、私たちのグループにはエルサルバドルから来たマイラさんが来ました。スペイン語で話をするのはなかなか通じないところもあったけど、英語で話したり、絵や文字を書いて通じることができて楽しかったです。
- ・ パーティではペルーの方と一緒にテーブルになって英語とスペイン語があまり分からなかったけど、周りのメンバーに助けられながら何とかすることができた。8 班の人とも大分打ち解けあうことができて仲良くなれた気がする。
- ・ ふだん国際交流などをしないので今回、外人の人とのコミュニケーションをとること

ができてよかったです。これからは外国のことや外人と接するようにしたいと思いました。

- ・ペルーの女性とたくさんお話できた。もっと英語を学んでおけばよかった。
- ・スペイン語で伝えたり、聞きとるのは難しくて通訳をしてもらったけど、少しでも伝わったときはうれしかった♪ これから英語以外にも他の言葉も知りたいと思った。言葉が話せなくてもジェスチャーでもっと伝えるようにしたい。
- ・いつも ALT の先生と英語で話すのとは訳が違うなあ、と驚いた。でも、ジェスチャーで伝えたり紙に書いたり、単語だけで何とか伝えたりして、それが伝わったときがとても嬉しかった！知らない国について知れて良かった。
- ・新しくスペイン語を知れてよかった。英語が通じる人だったので、たくさん喋ることが出来た。英語を学ぶことは大切だなと改めて考えさせられた。
- ・私は、英語は少しできるけど、スペイン語という言語を使っているのを実際に聞けて良かったです。言葉が話せなくても、絵に描いたり、身振り手振りで通じて、おもしろかったです。
- ・世界の料理を味わった。だいたいおいしかったが、モンゴルのギョーザは口に合わなかった。アルゼンチンの人とボリビアの人と話して、外国人と会話することの楽しさと難しさの両方を味わった。
- ・ほとんど初めて、他国の方と交流して、もちろんすごく楽しめましたが、自分の英語がここまで伝わらないのかと、無力さに落胆を覚えました。もっと勉強しなくては！！
- ・スペイン語での会話は恐らく初体験だったので難しく感じました。ただ完璧には理解できなくても何となく意味が分かる瞬間もあってそれが楽しかったです。世界各国の料理は初めて食べる物もありましたがすべて美味しかったです。

□ 今日の感想や新しく知ったこと・もっと知りたかったことなど、1 日目を振り返って自由に書いて下さい。

- ・マダガスカルに木が少ないということを初めて知った。地球ビンゴなどがとても楽しかった。たくさんの人と出会うことができてよかった。明日、明後日でより仲を深めたいと思う。
- ・体操おもしろかったです。
- ・最初はけっこう緊張していたけど、アイスブレイク、クバーラとやっていくうちに、自分の学校以外の人や班員の人と話せて楽しく過ごせました。研修員の方の話を聞いて、スペイン語で理解できないこともあったけど研修員の方の母国について少し知れてよかったです。
- ・私は外国の事や、英語に興味があり、今日は国際交流パーティーで緊張しながらもわくわくしていました。外国の方に、サインを下さいとお願いしたら、書いてくださいました。スペイン語では、あいさつしかできませんでしたが、自分の英語が伝わった事が嬉しかったです。
- ・今日 1 日の活動を、とても充実して終えることができました。明日も充実できると思

います。

- ・ お昼すぎからの研修とても濃い半日でした。もっと外国の方とコミュニケーションしたかったです。
- ・ 「クバーラ」というアフリカのスポーツにもふれ、「国際交流パーティ」では、ベネズエラの文化にもふれる事ができました。今日の体験では、世界の文化を身近に感じる事ができました。これからもたくさんの海外の方と関わり、新しい知識を増やしていきたいなと思います。
- ・ 今日、初めて会った人とたくさんの事について話せて、よかったです。明日は、今日よりも充実したものにしたいです。
- ・ もっともっと発展途上国でどんな活躍をしているのか知りたい。来るまでは面倒くせえ〜と思ってたけど、来てよかった。
- ・ 外国の遊びや料理などもっともっと知りたいです。それにマダガスカルが自然が90%もなくなっていると聞いて本当にびっくりしてしまいました。今日は本当に様々なことができて楽しかったです。
- ・ 最初は不安になりながら来たのですが、実際に来てみてすぐに不安よりワクワクの方が大きくなりました。他校の人たちもみんなフレンドリーで仲良くなれて良かったと安心してました。そして、普段じゃ経験することのないようなゲームや交流をして、とても楽しかったですし、自分にとってもいい経験になりました。明日からはいよいよ青年海外協力隊になりきって活動するので、グループの人と協力して頑張っていきたいと思います。
- ・ 男子が同じ学校にいないと、不安だったが、他の参加者の男子がたくさん話しかけてくれて、とても楽しい一日でした。
- ・ 全く知らない環境の中で初めて会う人と仲よくできるのか不安だったけど色んな子が優しく話しかけてくれて本当に嬉しかったです。そして、たくさんの国の言葉を聞いたり、マダガスカルについて知ることができて勉強になりました。
- ・ 国際交流パーティでは基本英語で会話しました。パナマからきたマリエアさんからパナマという国の文化のことを色々教えてもらい、いい経験になりました。
- ・ あまり話すことができなかったのも、2日目以降はチームの人と協力して、いい3日間で終われるようにしたいです。
- ・ パーティの時に研修員の方がいろいろと話しかけてくれたのに、英語を聞き取ること、伝えることができなくて悔しかった。他校の人たちはみんなおもしろくて優しくて、たった3日間しか会うことないのかと思うとすごく残念…。
- ・ こういう研修に参加するのが初めてだったのでとても緊張しましたが、アイスブレイキングなどで、少しずつ緊張もほぐれ、クバーラ体験の時からには既に楽しかったです。また、初めて外国の方と喋る機会もあって自分がどれだけ英悟を理解しているかも分かったのでこれからの英語学習に生かせるなどと思った一日でした。明日もよろしくお願いします。
- ・ 今日は、最初の方は緊張してたけど、グループに分かれたりして話していくうちにだ

んだん打ち解けることもでき、交流パーティでは外国の方と食事をして外国の料理もおいしかったです。今日は、国際協力実体験プログラムの1日目はいいスタートをきれたと思います。残りの2日が楽しみです。

- ・今日はみんなと打ち解けられたので明日からは積極的に話をしたりコミュニケーションをとっていきたいと思います。
- ・たくさんの友達と色々な体験ができてよかった。明日にもいかしていけたらと思う。
- ・今日は初日で緊張もしたけど、チームの人ともだんだん仲良くなれてよかったです(^^) 特に国際交流パーティでは国の紹介ビデオを作ってくれていて、チリ、コロンビアの風景、行事が見れて、すごく興味がわきました。明日からも頑張ります。
- ・グループになった時に先輩が2人と後輩が1人で、同じ学年の子がいなくてとても不安だったけど、先輩たちが「タメ口でいいよ!」と言って話しかけてくれて打ち解けられた。明日から2日間ずっと一緒に過ごすのでたくさん話して仲良くなりたい。
- ・グループで他のグループより仲良くなって、色々なプログラムでまとまって、たくさんの壁を皆で乗り越えたいです。もっと、外国人の方と話して、国について学びたいと思ったので、英語以外の言葉も学びたいと、前以上に強く思いました。
- ・今日の出会いに感謝!!!
- ・予想以上に新鮮で充実した1日でした。あっという間に時間が過ぎていって、もう1日終わってしまったのかと残念に思います。しかし、楽しむばかりがこのプログラムではありません。残りの2日、しっかり世界と向き合っていきたいと思います。
- ・1日目、緊張しましたが楽しかったです。2,3日目も頑張ります!

2日目（生徒用）

[朝のつどい・ボディ花火]

☐ 満足度

(人)

満 足	19
やや満足	11
やや不満	1
不 満	0

☐ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

【満足・やや満足】

- ・低血圧で、朝はきつかったのであまり元気にできなかった。
- ・みんなでリズムを合わせるのは難しかったけど楽しかった。
- ・朝、皆より遅れてしまったので明日は気をつけたいです。花火では、緊張して、楽しくできなかったの、次の機会があれば楽しみたいです。
- ・眠気が覚めた!そしてなおみんなが可愛く見えてきました。
- ・リズム感がなく、ダンスの苦手な私でもやりやすかった。中庭がとても陽が当たって

気持ちよかったです♪

- ・ ボディ花火は覚えやすく、楽しくて、そしてみんなで一体となって大きな花火を打ち上げられて良かったです。
- ・ 「ボディ花火」は簡単で先生方や JICA スタッフ、私たちと全ての人が楽しめました。
- ・ 朝から体を動かし、スッキリしました。1人ではなく、他の人と声を出してできました。外の緑を見ると元気になりました。
- ・ アイスブレイキングでは、最初は少し恥ずかしかったですが、やっているうちにだんだん楽しくなっていました。
- ・ 朝の低いテンションでいたけど皆でボディをして朝から元気がついたと思う。他の人たちも笑顔になっていて1日が楽しめそうな気がした。
- ・ 朝の眠気を吹き飛ばしてくれるいい企画だったと思います。
- ・ 少し恥ずかしかったが簡単にできて楽しかった。
- ・ 最初は恥ずかしくてみんな遠慮しがちだったが、ボディを花火で頭も体も冴えた。
- ・ 簡単でやりやすくよかった。
- ・ 養護施設の人達がやるにはとても良いな～と思いました。
- ・ 簡単で楽しかった。もうちょっといろんなパターンをしてみたい。
- ・ 目が覚めてとても良かったです。
- ・ みんなとふれあえてよかったと思う。花火がキレイにできてよかった。
- ・ 意外と花火っぽかった。風が強かった。もっと工夫したらもっと良くなると思った。
- ・ 朝一番のプログラムだったのでボディ花火をする前はちょっと眠かったけど、した後は目が覚め、楽しくできた。リズムも簡単で覚えやすかった。
- ・ 寝起きのだるい体が、シャキッと快適スッキリに!!
- ・ 打ちとける事が出来た。
- ・ 楽しかった。
- ・ 恥ずかしがらずに、周りの子と一緒に花火になりきりました。
- ・ ボディ花火って何だろうと思っていたら、すごく簡単で一体感が味わえて良かったです。特別支援学校などでされていると聞いて勉強になりました。
- ・ みんなで朝から体動かしたり、誰でも簡単にできる動きだったのでとても楽しかったです。
- ・ ボディ花火は朝から体を動かして楽しかったです。
- ・ 朝はまだ頭がぼーっとしていたけど、ボディ花火をしたら目も覚め、楽しむことができました。
- ・ 朝から軽く体を動かすことができ、みんな楽しく花火になりきりました。恥ずかしながって動きを小さくする人もいなくて、とてもキレイでした。
- ・ ボディ花火も決まった人とじゃなくて近くにいた人とやれてまた仲良くなれました。ボディ花火は初めてしたんですがみんなで一つになれた感じがして、楽しかったです。

【やや不満】

- ・ 朝イチでまだ目が覚めてない時だったのできつかった。みんな盛り上がってるのに私だけ盛り上がれなかった…。

[国際理解ワークショップ（貿易ゲーム）]

□ 満足度

(人)

満 足	28
やや満足	3
やや不満	0
不 満	0

□ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

- ・ 皆と協力してゲームを楽しむことができた。仲が深まった。
- ・ 貿易ゲームはとっても頭を使ったけどすごくすごく楽しかった。少し心の痛くなる話もあったけど、これが現実でこれをこれからどうするかを考えないと思いました。
- ・ 班の人と協力して、理解できました。
- ・ 世界の問題をゲームで分かりやすく、楽しくできたのが良かった。人の欲望の恐ろしさも知れて、自分自身考えさせられました。
- ・ どうすれば稼げるか、いかに効率よくできるかしか考えていなくて、商品が雑だった。これが中国的な考え方なのかなーと思った。皆の交渉の仕方がおもしろかった。
- ・ 最初、ハサミが壊れていてとても驚きました。どの図形を作るか考えることは難しくもありましたが、徐々に楽しんでいました。貿易ゲームは現実の世界と似通っていると分かって深いゲームだなあとと思いました。
- ・ 「貿易ゲーム」では、貧富の差を感じました。たくさんの資源があっても技術や能力のある国に買いとられ、利益を得ることができませんでした。このことは、世界でも行っている大きな問題だと思いました。
- ・ 体験をすると世界の経済の格差を感じました。最初はルールさえ理解できず、困りながらの作業でしたが、貧しい国の大変さや、豊かな国の人が逆に気まづくなることを知り、貿易に人の気持ちも関係しているのかもしれないと気づきました。
- ・ 貿易ゲームでは、他の国の人と上手く物を交換し合ったり、お金に換えたりするのが難しく、なかなかお金を増やすことができませんでした。貧富の差など、このゲームを通して色々なことを学びました。
- ・ 自分たちの班は、最初に配られた物は紙が20枚と鉛筆くらいだった。これをどう貿易しようか皆ですごく話をしたが全然貿易ができなくて、全く稼げなくて残念だと思っていたけどこーだいさんの話を聞いてちょっと考えさせられることがあった。
- ・ それぞれの手持ちで、やりくりするのが楽しかったです。
- ・ 貿易ゲームは貧しい国から始まったので、何とかしようと思ったがとても難しかった。だけど楽しかった。

- ・ 貿易ゲームを通じて貧富の差や相手とのやり取りの難しさを知った。次もすることがあったらもっと頭を使っていきたい。
- ・ 頭を使うゲームでとても楽しかった。
- ・ 貿易って価格の変動などがあって大変だなーと思ったし、国によって豊かだったり貧しかったりとあるけど、それぞれの国にも楽しさとかあれば乗り越えられるんじゃないかなとあとと思いました。
- ・ 技術が豊富で楽にたくさん稼げて楽しかった。逆に何もない状態でもしてみたい。
- ・ 貿易や世界の様々な状態を知ることができてよかったです。
- ・ 貿易ゲームはとても面白かった。頭を使って、世界の貿易を体験できてよかった。貿易の難しさを知ることができてよかった。
- ・ 相当おもしろかった。クバーラ並。もっと時間が欲しかった。
- ・ 貿易ゲームは初めてやったけど、最初の紙とか道具が少ないながらも班員と協力し、どうやったらうまく形がつかれるのかなど工夫しながらできたのでよかった。
- ・ 貿易ゲームを通して、今の世界の状況を少し理解できた。いっぱい金稼げてよかった。
- ・ お金、資源、技術どれも経済を発展させるには必要不可欠なことだとわかった。
- ・ 楽しかった。
- ・ 現実世界でも、きっと強い国はケチみたいな感じで、弱い国から資源を取り尽くすんだらうなと思った。
- ・ 私のチームは最初の物から他に比べて少なくとても困りました。楽しみながら現実の貧富の差を学べてよかったです。先生からの話であったように、貧しいと言われている国でも、その人たちにとっての幸せがあるから「貧しい国 = かわいそう」っていうのを見直そうと思いました。
- ・ “貿易ゲーム”は最初理由が分からなく戸惑ったし、貧乏だったのでお金が貯まらなかったけど、一生懸命交渉してお金を集めるのにこんなに大変なんだと知りました。
- ・ 貿易ゲームをして私たちのグループはクリップ1つと紙1つと鉛筆しか入ってなくて、結果的に100 ジャイしかたまらなかったです。
- ・ 初めてしたゲームで、私のグループはクリップ5個とはさみ、じょうぎが揃っていたけど他のグループは道具が揃っていなかったり、最初から色々と揃っていたりと様々で、色々交渉したりしておもしろかったです。
- ・ 私たちの班はとても貧しい国で、他の国の人に助けてもらわないと生活できない所でした。貧富の差をすごく実感しました。
- ・ グループのみんなとたくさん話すよいきっかけになった。色々なかけひきとか、とりひきとかしていく中で、世の中のしくみが少しわかった気がした。将来の夢が教師なので、こういった教え方も楽しそうだな、と思った。
- ・ 貿易ゲームをして、様々なことについて考えられました。貧富の差だったり、需要と供給だったり、実際に世界と同じだったりして、改めて考えるいい機会になりました。また、とても深い話も聞けて良かったなあと感じました。もっともっと知識をつけて、様々な世界を見たいなと思いました。

[青年海外協力隊体験談]

□ 満足度

(人)

満 足	26
やや満足	5
やや不満	0
不 満	0

□ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

- ・ 少し眠くなったけど、石けん作りの話などを聞いて理解が深まった。
- ・ 体験談を直で聞く機会はそんなになかったので本当にいい経験になりました。
- ・ とてもすごいお話を聞けて、よかったです！
- ・ 2つとも初めて聞いた国でした。石けん作りや、栄養の説明などの中で色々な工夫があったけど、1番大切なのは、相手のことを知り、チーム一丸となって協力することだと分かりました。
- ・ 海外へ協力隊として行くと、現地の方は皆「助けてくれてありがとう～！」っていう反応なのかと思っていたら、「何してくれるの？」っていう反応で驚いた。実際に行った人が何を経験したか知れてよかった。
- ・ 今日お話を伺って、これまで以上に青年海外協力隊について知ることができました。現実に行ってからその地で暮らす方々を説得するまでの苦労など、普段私たちには分からない部分が特に興味深かったです。
- ・ 体験談を2つ聞き、どちらの国も援助＝「何かをくれる」と現地の方は思っている事を知りました。確かに日本の方が豊かかもしれませんが、“助けてもらうのが当たり前”のような考えは少し違うんじゃないかなと思いました。
- ・ 実際に行った方の話を聞くというのはなかなかできないことなので、本当に貴重でした。思っていたよりも楽しそうな場面がありました。その国についてよく知り協力することが大切だと思えることができました。
- ・ 2人の方々の話をきき、青年海外協力隊の方々が、どんな活動をされているのかを知ることができてとても良かったです。「海外の方の役に立てるっていい事だな。」と思いました。
- ・ 佐々木さんと梅田さんの話を聞いて、ただ行ってただ自分のやりたいようにやるだけではその現地では上手くいかないのだと思った。それに多くの支援、協力をしていく中では2年間という期間は短い気もした。
- ・ 実際に行った方が写真などを使って分かりやすく説明して下さって、貴重な体験になりました。
- ・ 実際に現地に行った人たちに話をきけて、普段では考えられないことや、当たり前のことが当たり前じゃないんだということが分かったのでよかった。
- ・ 自分の全く知らない世界を知ると同時に知識も増え、体験談を聞けてよかった。
- ・ 貴重な話を聞けてすごく参考になった。

- ・ 自分も将来こういう仕事に就けたらいいなあと考えているので、今日の体験談を聞ける時間があつたっていうのはものすごく貴重だったと思います。
- ・ 具体的に活動内容が分かり勉強になった。私も語学をマスターして行ってみたいです。
- ・ 実際に行かれた方の話が聞けて本当によかったです。
- ・ 充実した話を聞けてよかった。海外への興味がよりわいた。
- ・ 普通では聞けない話でよかった。
- ・ 実際に青年海外協力隊として働いた人の話を聞くことができ、こういう仕事をしているんだなというのが少しわかってよかった。
- ・ 青年海外協力隊というものがより、はっきりと明確に見えた。
- ・ 現地で生活した人自身の話を聞くことが出来て、本当に良かったと思う。
- ・ 自分もぜひ、青年海外協力隊として他の国を援助したいと思った。
- ・ 実際に現地に行ってももちろん大変なことがいっぱいあるだろうけど、その中で「外国人」から自分の名前を呼ばれたり、小さいことが大きな喜びになることがいいなと思いました。ぜひ将来参加したいです。
- ・ 青年海外協力隊が実際どんな仕事なのか知らなかったなので、詳しく聞くことができとても勉強になりました。
- ・ 青年海外協力隊が実際にどのような体験をしているのかを、佐々木さんと梅田さん二人に聞きました。
- ・ 実際に話を聞いてみると、私が思っていたより、大変だったみたいで、現地の言葉を話すことも簡単ではないということもわかりました。
- ・ 実際に青年海外協力隊をしての苦労や行った活動などを聞けて良かったなと思いました。そして、国際協力をするにあたって、信頼関係がとても重要で、相手が何を求めているのか考えることなど、とてもいい勉強になりました。

[青年海外協力隊活動計画作り]

☐ 満足度

(人)

満 足	24
やや満足	7
やや不満	0
不 満	0

☐ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

- ・ チームで協力して計画作りができました。
- ・ みんなで話し合っ作ったのでとても仲よくなれた活動でした。明日の発表もがんばりたいです。
- ・ 仲間意識がとても高くなつたので、良かったです！
- ・ みんな協力的でなかなかいいものができました。明日の発表頑張ろう。スタッフさんと先生達すごくおもしろかったです。

- ・ ただただいいアイデアが思いつかず、グループ皆黙りこくったりでなかなか意見がまとまらず大変だった。問題はたくさんあるのに、いざ解決するとなると難しい。
- ・ 現実の良い所と問題点を考えてみると、問題の方がとても多く出てきていると気がつきました。それから活動計画をもとに村人に話を伺うと、方向性を変えた方が良いと分かってそれが大変でした。
- ・ チームで話し合い、協力して作ることができました。明日の発表では、私たちの考えを他のグループにも理解してもらいたいです。
- ・ 最初に、テーマとする問題を決めておいたのですが、話が進むうちに、水や仕事の問題が加わり、途中で息詰まりました。色々な問題がつながりを持っていて、解決策がなかなか見つからず難しかったです。
- ・ 活動計画作りは、班のみんなと協力してすることができました。実際にろ過装置を作ってみたりとかすることができたのでよかったです。
- ・ なかなか上手く考えが浮かばず、作業を効率良く進めることができませんでした。発表頑張りたいです。
- ・ JICA のスタッフの方々は日本人なのに自分たちのためにすごく役に成りきって頑張ってくれるなと思って、少し質問の返しがきついなと思った。自分なりに結構頑張ったけど見事に玉砕させられたのはいい思い出になった。
- ・ 問題点を出して、それについて話し合うのが難しかったけど楽しかったです。
- ・ 本気で現地のことを考えると色々な問題があって、簡単にはいかずとても難しいことなんだと実感しました。2年間の中で何ができるのだろうと考えると、小さなことをコツコツやって現地の人たちと協力して少しずつ村を変えていかないといけないと思った。
- ・ 時間的には終わらず期限は守れなかったが、みんなと協力して最後までやり遂げれたのが楽しかった。
- ・ アイディアがあまり出せなかった。活動自体はとても楽しかった。
- ・ 事前に聞いていたとおり、18：30 までには終われなかった。21：00 までロビーでみんな考えていた。そのおかげで仲良くなれたのもあったけど、問題が多すぎて対処しきれないことばかりで本当に大変だった。
- ・ 実際に計画を考えるのはとても難しく、グループみんなでもとても悩みました。村の人々の役をやっていた人たちに色々な話を聞いたりして頑張りました。もっと深く書けたらいいなと思いましたが、それはこれからの自分の課題と考え、明日発表を頑張りたいです。
- ・ 意外と簡単に思いつくものではなくて、ものすごく悩みました。「みんなが楽しめる」、「2年間でできる」などのテーマに合っていなかったりしたので大変でしたが、チームの人と協力して出来たと思います。
- ・ 課題を考えるのが思った以上に難しく、たくさん悩んだ。いい発表ができるといいです。
- ・ みんなで協力できました。

- ・ みんなと話し考えながらできてより打ち解けることができた。同じ世代の意見を聞けてよかった。
- ・ かなり悩んだけど、楽しかった。
- ・ 最初は、なかなかどれにするかが決まらず時間がかかったが、班員と様々な意見を出し合いながらできたので楽しく充実したものだだった。
- ・ 話し合いで黙ってしまうという部分があった。自分が思ったことを躊躇せずに口に出すことも必要だなと感じた。
- ・ 何を望んでいるのかが一番の鍵になったんじゃないだろうか。
- ・ 難しかった。
- ・ 最初は、行き詰まってしまい、会話がなくなりかけたけど、なかなか良いアイデアを出し合うことができたので良かった。
- ・ 村人との会話がすごく難しかった。日本ではあたり前のように使っていることでも村の人々は知らないことが多くて説明するのが大変だった。これをしようと思っても次々に課題がでてきてすごく考えさせられた。
- ・ みんなで何度も何度も考え直して作るのに時間はかかったけどみんなで力を合わせたり知恵を絞ったりして1つのことをすることができてよかったです。
- ・ 初め何を調べるか迷っていたけど、グループで話しているとだんだんいろんな案ができて、結果的にちゃんと仕上げることができて良かったです。
- ・ この計画作りでは、村人から色々と情報を教えてもらったりして、たくさん学ぶことができました。グループで話しあい、意見を出し合ったりして新聞を作りあげることができてよかったです。

□ 今日の感想や新しく知ったこと・もっと知りたかったことなど、2日目を振り返って自由に書いて下さい。

- ・ 人見知りのせいもあって、あまり友達作りができないでいたけど少しずつうちとけるようになった。
- ・ 本当に仲よくなれた1日でした。3人で話していて、また元の生活になったら会えないねって話しててとってもさみしかったです。
- ・ もう少し詳しく協力隊の人の仕事を知りたいです。
- ・ この活動計画が思ったよりたいへんでした。学校でも似たようなことをやったことがあるけど、ここまで、現実的に詳しくやったのは初めてです。考えれば考えるほど問題点が浮かび上がってきて苦戦だらけでした。
- ・ 宇宙から見た地球の光の画像がとても印象的だった。日本は形がはっきりわかるくらい光っているのに、オーストラリアや北米、南米は思った以上に光ってなくて驚いた。
- ・ 2日目は頭を使う場面が多かったので疲れもしましたが、その分みんなと仲良くなれました。最終日も頑張ります。
- ・ 「貿易ゲーム」の後の、お話でパソコンにうつされた絵がとても心に残りました。本を読んだり知識をつける事によって新しい世界を知る事ができ、視野が広がる事で、

世界の見方も変わるんだなあと思いました。

- ・ スタッフの方々が、青年海外協力隊活動計画作りの時に、バリボ村の住人になって下さり、分かりやすい解説から計画作りを進める事ができました。村の人の思っている事は、手に入れることが普段ないので、国際協力の活動をする時にいつも現地の人々の気持ちはどうなのだろうと考えていました。今日の経験を生かしたいです。
- ・ 国際理解のワークショップでは、国同士の扱い方の違いがはっきりしていて世界はすごいなと思いました。
- ・ 2日目は自分達で考える活動が多く、色々なことを考えさせられました。また、考えることの難しさも知りました。もっともっと自分達で考え、その考えを発信していきたいと思いました。
- ・ 2日目はより深く国際協力について学習できたと思います。
- ・ どの班もすごく頑張っていたので発表を聞くのが楽しみ。自分の班の発表も頑張りたい。
- ・ もっと深く深く、活動計画を立ててみたかった。現地で3ヶ月もかかる問題点を、まとめてあるとはいえ、探し出すのはとても難しかった。でも考えるのは楽しかったし、やっぱり海外に実際行ってみたい!!!
- ・ 二日間で多くの人と仲良くなり、グループでは一緒に悩み、考えてとてもいい時間を過ごせました。明日で終わりなのがとても寂しく感じています。が、とても楽しみにしてきたので、最後まで楽しみたいと思います。
- ・ 今日他校の人とかたくさん会話出来てよかったです。先輩とかも話しかけやすくて面白かったです！明日もお願いします。
- ・ もっと長い期間体験したい。
- ・ 2泊3日早ええー!!! あと1ヶ月くらいしたい。
- ・ 2泊3日短い!!
- ・ 班の皆とすごく仲良くなれたので、活動もすごく楽しかったです。初めて会った人と打ち解け合うというのは、村人とも共通することだと思い、人見知りの私にとって良い機会になりました。
- ・ “貿易ゲーム”は初めての体験で、お金よりも大切なものの大切さを教えてもらえて、青年海外協力隊の人が実際現地に行って自分がやったことを知ることができていい刺激になりました。
- ・ 青年海外協力隊の体験談を聞いて、実際に私が思っていたよりとても大変なことだったし、現地の言語を話せるようになるのが大変なことだと思いました。
- ・ 今日は、2日目で、一番印象に残ったのは、計画作りのときでした。村人の話や色々学び、楽しかったです。

3 日目（生徒用）

[青年海外協力隊活動計画発表]

☐ 満足度

(人)

満 足	27
やや満足	4
やや不満	0
不 満	0

☐ 感想や学んだこと、気付いたことなど自由記述

- ・ ぎりぎりまでグループのみんなと話し、不安になりながらの発表でした。けど、自分なりにうまく発表できたと思いますし、3位になれてとても嬉しかったです。また、他のグループにも様々なアイデアがあり、方法も様々でとても勉強になりました。
- ・ 様々なアイデアがあって、見ていて飽きることもなくとても楽しかった。
- ・ 1つの問題に対して多くの解決策があって、しかもそれが独特なアイデアでとてもおもしろかった。自分が途中で諦めた問題について最後までつきつめてくれていたグループもあってスッキリした。
- ・ 発表のときには緊張して少し言いたいことが言えなかったのが心残りです。でも、班員がしっかりフォローしてくれたのでよかったです。他の班の発表を聞いて色々学べました。
- ・ プレゼン用紙はうまく作れたが、優勝できなかったのがすごく残念。他の班のプレゼンの仕方も見れて、勉強になった。
- ・ 今日の発表で私たちのグループは正直発表する内容を何も考えてなくて全部アドリブで発表し、まさか3位に選ばれ驚いたけど、嬉しかったです。また、他のグループの発表もたくさん学べてよかったです。
- ・ 前日からみんなで考えて朝から水を汲みにいったりしたことで、本番で水が出なくてすごく焦ったりもしたけどみんなで力を合わせることができて2位をもらえてとても嬉しかったです。
- ・ グループで協力しあって計画発表した。
- ・ 昨日みんなががんばって作り上げた活動計画発表を今日みんなの前でできるかぎり分かりやすく伝えられたと思いました。
- ・ 緊張したが3人で協力できたのでよかった。一つの村をよくすることが大変なんだと思いました。
- ・ 班が1つのチームとして個々ではなく全体として動いて、しっかりとついてきてくれてうれしかった。失敗もなくよかった。
- ・ みんなで考えたことを発表してとても緊張しました。どういう質問がくるか不安だったけど自分たちで考えてできたので良かったです。
- ・ 活動計画発表では自分たちのポスターは表彰されなかったけど、なんとか無事に終

わったのでとてもやりきった感がある。

- ・ 2日目に時間が足りなくて、どうなるかと思ったけど、チームメイトと協力してできて良かったです。
- ・ 自分たちの考えを皆さんに発表することができ、そして、1位になれて、嬉しかったです。仲間と協力もでき、良かったです。
- ・ 皆オリジナリティあふれる内容、プレゼンでおもしろかった。自分が目を向けていなかったことがたくさんあって、グループそれぞれ着眼点が違うなーって感心した。質問されて、あ、そっかー!って思うことが多かった。
- ・ プロジェクトを考えるのも難しかったけど、伝えるプレゼンテーションもなかなか難しかった。いかに村人の興味を引きつけるかや、子どもにも理解できる内容かなど。JICAの人達はたくさんの苦難を乗り越えてプロジェクトを成功させていると分かり、尊敬した。
- ・ 計画の発表はみんなに納得してもらえるか不安で緊張したけど、最後には楽しんでいった。講評で仰っていただいたことがとても勉強になった。
- ・ 最後の最後に発表内容を間違えてしまった事が心残りでした。でも、グループの人と協力して作った新聞を上手く発表できて良かったです。
- ・ 1位がとれて大満足です。もっと詳しく調べられたらいいなあと思います!
- ・ みんな一丸となり、まとめて作った計画の発表はとてもおもしろく緊張しました。
- ・ いろんな班の活動計画を聞くことができ、自分では考えつかなかった内容もたくさん聞くことができたので、とてもおもしろかったです。このプログラムを実現させることができたらいいなと思います。
- ・ 昨日、模造紙を完成させたのですが、思うように話すことができませんでした。質問を受けたときにその場で考えることにも時間がかかりました。もっと話す力をつけたいです。
- ・ 自分の考えを伝える事ができて良かったです。青年海外協力隊についてさらに興味を持つことができました。私も一員になりたいなあと思いました。
- ・ みんなで朝から集まって泥水を作りに行ったり、発表内容の打ち合わせをしっかりとることができたので良かったです。青年海外協力隊の方がどのように活動するのも詳しく知ることができました。協力性もあって文句なしのチームでした!
- ・ 入賞はできなかったけどみんなで協力して書いた計画をみんなで多くの人々に伝えることができてよかった。人に想いや考えを伝える難しさを知ることができてよかった。貴重な体験になった。
- ・ 昨日の夜に班の皆で力を合わせた甲斐があって、発表で1位をとることができた。意見を交わし合い、皆の思いを少しずつ擦り合わせる事が大事。
- ・ 考えるのは、大変だったし、言葉まとめるのも苦手で難しかったけど、自信もって発表できて、順位は分からないけど楽しめました。
- ・ あまり緊張せず発表できて良かったです。他のグループの発表を聞きながら、こんな考えもあるのかーとすごくためになりました。発表後の質問は、ドキドキしたけど、

最後までみんなで協力することができてよかったです。いい経験になりました。

- ・ 色んな人の意見をきけて良かった。その国の人が何を必要としているのか考えることは大切！
- ・ 活動の時間が思ったより少なくて、大変だった。でもグループの仲間と団結できてよかった。

□ 3日間を通して、このプログラム全体の満足度は_____パーセント（％）

(人)

100%以上	24
90-99%	4
80-89%	2
79%以下	1

満足度の理由

【100%以上】

- ・ 本当に貴重な体験ができて、本当にみんな良い仲間で、最高に充実した時間でした。(200%)
- ・ 自分の考えが変わるし、いい経験になりましたし、何より楽しかったからです。もっとやりたいなと思えるような最高のプログラムでした。(100%)
- ・ 最初のアイスブレイクから楽しくて、すぐに班員とも仲良くなれたことやクバーラ、国際交流パーティーではすごく楽しめたこと、計画作りでは班で意見を出し合い、考え、皆で協力できたからです。(120%)
- ・ 1日目は少し緊張していたけどゲームをしていくうちにみんなと仲よくなるのができて楽しかったです。2日目も村人の劇など計画作りもしてよかったと思いました。また3日目はそれを発表し、3位になれてうれしかったです。(100%)
- ・ 普段と全く違う環境で3日間暮らしていけるか不安だらけだったけど、たくさんのプログラムを通して自分の知らないことをたくさん知ることができて、知るだけじゃなくて考えることができたから。(100%)
- ・ 最後いい思い出ができた。(100%)
- ・ このプログラムで私はたくさんのことを学ぶことができたからです。また他校の人との交流も楽しかったです。(100%)
- ・ さまざまな体験をできたのでとても勉強になった。このようなプログラムにまた参加してみたい。(1000%)
- ・ 自分の全く知らない知識や体験などを聞き、自分自身大きく成長できた。(100%)
- ・ 緊張もすぐなくなって、みんなと仲よくなれた。(100%)
- ・ クバーラ、パーティ、花火、体験談、ポスター作り、発表どれも楽しかった。それにこの三日間で友達も増え、とてもいい体験になった。(100%)
- ・ 初めて会う人と3日間で仲良くなれたかなと思います。(100%)
- ・ 知らなかったことを知れたし、1人じゃできないという事も学んで、とてもすばらし

い3日間でした。(100%)

- ・ 最初は皆と仲良くななんてムリだなーと思っていた。が、始まってすぐ、早く仲良くなりたーいとワクワクした。自分の思う国際協力とは全く異なっていて、とても勉強になった。(10000%)
- ・ 全部楽しかった！ 難しい内容を勉強しているのに、こんなに楽しかったのは、初めてです！(100%)
- ・ プログラムで今まで知らなかったことをたくさん知ることができたから。まずクバーラに始まって活動計画作りまで初めてすることばかりだった。それから友達ができて嬉しかった！(100%)
- ・ あっという間の2泊3日でした！ 外国の人と喋ったり、マダガスカル遊びを体験したりなど、とても楽しかったです。(100%)
- ・ 充実した3日間を過ごすことができました。アイスブレイキングで緊張がだんだんほぐれていき、初めて会った人達と同じ班で不安がありましたが、意見を交換していくうちにその不安も取り除かれていきました。3日間がとても早く感じました。(100%)
- ・ 全てのプログラムが内容深く、考えさせられるものが多く、とても心に残りました。学校でも3日間の内容をみんなに伝えていきたいと思いました。(100%)
- ・ 私の想像していた研修とは全く違ってとても楽しくて、学ぶ内容もすべて濃くて、とっても自分たちのためになったと思います。(100%)
- ・ このプログラムに参加してスポーツ、研修員とのふれあい、計画制作という経験ができたから。最高の仲間に出会えたから。(200%)
- ・ プログラムを通して世界の現状、協力隊の現地での活動などを具体的に知ることができた。なにより、これから先も大切にしたい仲間ができた。(100%)
- ・ いろんな県の人とチームになって交流できたし、スペイン語など、ふれあう機会のないものに触れ合うことができました。また、日常では考えないことについて考えて、これからの将来に役立たせたいです。(100%)
- ・ たくさんの経験をする事が出来たから。自分が今まで知らなかった事や、新しく発見することがあってとても良かった。(100%)

【90-99%】

- ・ 残りの5%は、自分にはもっとできるかもしれなかったという自分の未熟さです。(95%)
- ・ あと1日あってほしかった。活動計画づくりでけっこう苦労したけど楽しかった。(99.999%)
- ・ 全体的に楽しく学ぶことができました。体を使ったり、日本語以外の言葉を使ったり、頭を使いながらの活動でした。最後の活動計画発表が本当に大変でした。大変なことを乗り越えるための協力の大切さを知りました。(90%)
- ・ 内容もすごく楽しかったし、色んな県の人達の意見が聞けて、物事に対する見方が変わりました。ただ、他のグループの人と関わる事があまりなかったので、もう少し関わり合って仲良くなりたかったです。(98%)

【80-89%】

- ・ もう少しじっくり考え、活動計画を練っていたらと思った。プログラム自体はどれもおもしろかった。(80%)
- ・ 3日間楽しく活動ができたので！(80%)

【79%以下】

- ・ 仲間と協力できたことは自分にとっていい経験になったけど、時間が少なかったこと、意見のくい違いが少しあり、更に発表順が1番だったということが少しダメージがありました(笑)。(50%)

□ 一番印象に残ったプログラムは何ですか。その理由を記入してください。

[クバーラ]

- ・ 楽しかったから。

[国際交流パーティ]

- ・ 私は外国の方とあまり会話したことがなく緊張していたけど、その前のスペイン語の勉強をしたから少しはうまく話せたと思います。
- ・ ペルーの人と話して、なかなか英語で伝えるのは難しかったけど楽しかった。
- ・ 今回のプログラムで少しでも外国の人と喋りたかったので、一番印象に残りました。自分の英語も通じたので良かったです。
- ・ 私は外国が好きだけど、今まで外国の方と交流する機会がありませんでした。接し方がよく分からなかったのですが、最後まで楽しく、どのように対応すればよいか気づくことができたので、一番印象に残りました。
- ・ 普通では学ぶことのできない国の事を現地の人から学べてとても良かった。英語も通じることができたのでたくさん喋ることができたから！

[国際理解ワークショップ（貿易ゲーム）]

- ・ 世界のことをとてもよく表していてとてもおもしろかった。よく考えれば、貧しい国でも勝てるようになっていたし、どの結果になっても考えさせられ、とてもよくできていると思った。
- ・ 1番面白くてしかし、1番勉強になったから。世の中の回り方、不幸、幸せの基準や考え方のこーだいの話も感動した。
- ・ 単純そうに見えて難しく、考えすぎると全然動けないなど、頭をしっかりと使うのに苦労した。
- ・ 上手く他国と交渉をして物を交換することが難しかったです。ジャイもなかなか増やすことができませんでした。ですが、現実世界の貧富の差を身を持って体感することができたので、このプログラムが一番印象に残っています。
- ・ 私たちの班は貧しい国で、周りの助けがないと生活も困難になるので、助け合うのが大切だと改めて実感することができました。「100人の村」みたいに貧富の差を感じることができたので良かったです。
- ・ 班によって、ハサミなどの道具が多いチーム、紙などの資源が多いチームなどと分か

れていたのが、現実世界によく似ていたから。

- ・ 貿易ゲームは、遊びながら今の世界の現状をわかりやすく学べたと思います。話の中で出てきた風刺画がすごく印象的でした。
- ・ 私の班はとてもお金持ちだし、技術もたくさんそろっていたけど、このゲームに貧富の差があると気づくと胸が痛く感じることもあった。

[青年海外協力隊活動計画作り]

- ・ 班員全員でいろいろな意見を出し合いながら案がつまりながらもしっかりとできたので良かったです。
- ・ 「野菜を食べてもらおう」プロジェクトが、とても分かりやすく、良い計画作りだったと思う。
- ・ 村をよくするためにあんなに大変な思いをして、それをなしとげたときのよろこびはすごいものになると思ったから。
- ・ 村人に聞きにいっても全部否定されたりなど、もうこの村には改善は必要ないとかあきらめの気持ちもあったけど、なんとか問題点を見つけ出し自分なりに上手くできた。
- ・ メインであり、いちばん大事なプログラムだったと思います。実際に OV の方々の話を聞けてとても貴重な時間で良かったです。
- ・ なかなか話がはずまず、どうなるかと思ったけど、協力して、1つの事を成しとげれて、1位にもなれて、良かったです。
- ・ 全く案が出ないし、まとまらないし、難しいし…。もうダメだと泣きそうになった。けど1人1人なんとか考えて、結果的にまとまってよかった！プレゼン方法もとても勉強になった。
- ・ 小さな村を劇みたいに再現してたりしてて、考えやすかった！
- ・ みんなで協力して、最初考えていたものとは違う方向性になったりしたけど、とても勉強になったから。
- ・ みんなで協力しないとできない難しいことだったから。仲間意識が強くなるし、とても悩む内容だったから。
- ・ 現地の人の目線で考えないといけない難しさ、班員と意見を合致する難しさ。一見すると難しさだけが目立つが、中身はとても充実したものとなり、楽しかった。発展途上国について、人生で一番考えた。

[活動計画発表]

- ・ グループのみんなで様々な意見を出し合い、国際協力について考えることができたからです。いろいろなアイディアも知れて、いい経験になりました。
- ・ グループの仲が深まった活動だった。自分の意見を言うのにためらいがあったりしたけど、言ってみると案外賛成してくれて、嬉しかった。内容としても学ぶものが多いあった。
- ・ 他のグループの発表を聞いたりして、とてもためになりました。
- ・ 自分たちが村人の話を聞きながら案を出したり作ったり、うまく伝わるように発表することができて、いつもと違うことができたので。

- ・ 1 位だったから。
- ・ 自分たちで 1 から考え意見を出しあうのは、難しくもあり、楽しくもありました。私たちの考えたプログラムは、協力隊の方々に少しでも力になればいいなと思いました。

□ 最後に何か書きたいこと、伝えたいことなどがあれば自由に書いて下さい。

- ・ 2 泊 3 日ありがとうございました！ 今回学んだことをこれからに生かしていきたいと思います！ 本当にありがとうございました！
- ・ まだまだ小さくても自分にできることがあると改めて思った。ここでの経験を、違う形になっても生かしていきたい。
- ・ 国際協力について学んだことが多くあったけれど、1 番学んだのは人とのコミュニケーションのとり方だった。みんなグイグイいって、凄いなあと思うばかりだった。
- ・ 終わるのがすごく悲しい！ もっとしたかった！
- ・ この 3 日間とても楽しかったです。
- ・ 高校最後の夏に良い思い出が出来た。
- ・ この 2 泊 3 日のプログラムを通じてとても良い貴重な経験ができました。
- ・ また JICA に来たいです！
- ・ JICA での研修は、とても良い思い出になりました。違う班の子とも仲良くなれてよかったです。
- ・ 全部のプログラムが楽しくて、JICA がすごくおいしくて、部屋もきれいで、皆楽しい人ばかりでとってもすてきな体験になった。推進員の方々も皆優しくてすてきな方で、人を助ける人はこんな人じゃなきゃだめだなあと思った。
- ・ 私も研修に行かせて下さい。
- ・ 3 日間楽しかったです。プログラムに関わった全ての方々に感謝したいです。ありがとうございました。
- ・ 2 泊 3 日お世話になりました！ 全てのプログラムも楽しかったし、料理もおいしかったです！ 自分の将来の夢を決めるいい経験になりました。この体験を生かしてこれからの学校生活も過ごしていきたいです。本当にありがとうございました！！
- ・ とても貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございました。
- ・ 最高の体験ができました。
- ・ 3 日間、本当に充実して過ごすことができました。3 日間終わるのがとても早く感じられ、もっと長くいたいです。施設も良く、快適に過ごすことができました。
- ・ JICA 最高ー！ みんな最高ー！！！！
- ・ またこの仲間たちと集まりたい！！
- ・ このプログラムを通して、今まで自分一人の意見とか同じ学校の少人数の意見しか聞いたことがなかったけど、色々な学校や県の人のお話を聞くことにより、物事への見方や考え方が変わりました。
- ・ 3 日間っていう短い時間に、たくさんの経験ができてよかったです！！ 今回学んでいたことを忘れないようにします。

2014年度 第1回目 高校生国際協力実体験プログラム アンケート

1日目（教師用）

1. 各プログラムの感想・意見・改善点などをご自由にご記入ください。

〔自己紹介・アイスブレイキング〕

- ・ 事前に自分の学校の紹介について準備させ、当日発表させることは良かったと思うが、発表の時間があまりに短く感じた。準備までにかかった時間を考えれば、もう少し発表時間を与えても良かったと思う。また、発表者の声が小さすぎ、またマイクを使っても良く聞き取れなかった。発表時に円陣にしなくても縦列に整列させ、発表校は前で発表させたほうが聞き取りやすいと思う。
- ・ コミュニケーションのポイント（見る、聞く、考える、話す）が体験を通じて理解できていた。8つのグループに分かれても活用されていた。各校ごとに目的や目標を示してもらったのも、内面のアピールになると思った。
- ・ 学校紹介の時間は短すぎると感じた。長い時間を掛けて準備してきたのでもう少し、3～4分時間があると質疑応答まで取れて、打ち解けやすくなったかもしれない。その他は少し詰め込みすぎている感じがしたが、テンポがよく、間延びしたり飽きることがなくてよかった。
- ・ 新聞を使った学校紹介は楽しかったです。後で誤字を見つけて冷や汗をかきましたが。皆さん工夫されていて良いヒントをいただきました。声が小さかったり、早口で聞き取れなかったりしました。これは日ごろの私たちの指導を振り返ることにつながりました。
- ・ 自己紹介を一分間でやるのは難しいことだが、「もじもじしてはだめ、簡潔に、要領よく」ということを学ぶのに良い機会になった。生徒達の順応性を上手く引き出す組み立てがなされた。非常に良いアイスブレイキングでした。
- ・ 各学校の新聞はそれぞれよくまとめられており、個性と学校の特徴が出ていた。また、プレゼンも一分間で上手に出ていた。練習していた学校もあり、プログラムに対する積極さも見られた。
- ・ 最初はみんなよそよそしかったが、徐々に打ち解けてきて良かったと思います。
- ・ いろいろなグループ・分け方があることに驚き・勉強になりました。
- ・ いろいろと工夫されていて参考になりました。地球ビンゴは、授業でもテーマを変えて応用できると思いました。学校紹介などで、時間を厳しく切ってスピーディーにしていた点などテンポがよくていいと思いました。
- ・ 短時間でさまざまなアイスブレイキングがあったので、退屈することなく、お互いを知ることができて良かったです。私たち教員も学ぶことができて良かったです。

[クバーラ]

- ・ スポーツを通じて友達作りをするのは良い方法だ。このスポーツは手軽に楽しめ、攻撃する方も、守る側も適度にならなくていいので飽きない。マダガスカル説明があり興味深い話だったが、質問の時間がなく理解が深まらなかった。質問することにより他の参加者も理解が進む。一方通行だけでは不十分だと思う。
- ・ 「やるからには楽しむ」というのが私のモットー。テンションが上がってしまいました。まだ、お互いの名前を知らない状況なので、同じ学校の生徒が名前（ニックネーム）で応援してくれたら行動（姿）と名前が一致したと思った。
- ・ 体力差よりも戦略性やコミュニケーション力が大きなカギとなるクバーラの特性は、とても面白いと思った。学校での発表の際には、是非ともクバーラを生徒たちに体験させたいと思います。実際に生徒達も今回大いに打ち解けていたし、教員チームのアイディアも良かったと思う。他校の生徒と話すきっかけとなった。
- ・ 単純な遊びなのに夢中にさせる力をもっていると感じました。遊び方をすぐに覚えて、攻め方、守り方の作戦や助言を手振りや声に出して行う様子はとても生き生きしていて嬉しかったです。生徒は、みんなと一緒に体育祭でやりたいといっていました。とても楽しかったようです。
- ・ 道具がなくても考えれば楽しく出来るということを学べた。アイスブレイキングからの流れで、生徒達も一気に打ち溶け合っていて、工夫された段取りだった。クバーラはいつでもどこでも楽しく出来る遊びなので学校でもぜひやってみたい。
- ・ 人と場所がそろえばいつでも出来る楽しい競技。説明でもあったように男女差や運動能力もあまり関係なくみんなで楽しめる。また、チームの団結力（作戦）が重要であり、コミュニケーションが必要なので、入学時や新年度当初にクラスで実施すると親睦も早く深まると思った。
- ・ 音声がよく入らなかったのは残念でしたが、アクシデントはいくら準備してもあることなので、仕方ないかなと思います。しかし、実際にやってみるとそんなこと忘れていたくらい盛り上がって良かったと思います。
- ・ 説明もわかりやすく、作業タイムをとったところも、後のゲームにとってもよかったと思います。ビデオの内容が聞き取れなかったのも、とても残念です。
- ・ 何も道具がいらないのに、あんなに盛り上がるスポーツはすごいなとただ感心しました。
- ・ 説明もきちんと行われて、分かりやすかったです。何よりも楽しくて、皆が（体力や技能の差に関係なく）参加できていたことが良かったです。

[国際交流パーティ]

- ・ 外国からの研修生や外国の食文化を楽しむ、一番楽しみにしていたプログラムだった。ただ、生徒たちと外国からの研修生のやり取りをみていて、アフリカ英語に不慣れの生徒も多くいたようだ。研修員から学んだことの発表の時間もあまりに短いと感じた。各グループからの発表の後に質問する時間が欲しかった。
- ・ 事前指導をもっとしておけばよかったと思った。交流会の目標として自己PRや質問

など準備させて、自身を持たせたうえで他国の（他者）の理解につなげることが必要だった。事前に質問ボードがあり、どうやって答えを引き出すかというのも今回体験できているようだった。チームの結束が期待できる内容だった。

- ・ テーマが設定されており、生徒達はコミュニケーションをとりやすかったと思うが、また、発表の時間が短かった感がある。でも、それぞれのテーブルでよい雰囲気が作れていたなので、研修員さんたちの頑張りには感謝したい。
教員もそれぞれのテーブルで食事を取るというスタイルだったが、教員が入ることで生徒達と研修員との間のコミュニケーションの機会を奪ってしまうことが気になった。逆に教員のテーブルを作り、情報交換の場としても良かったと思う。
- ・ 研修員の方が気さくに話をなさっていたことと、好奇心旺盛な生徒たちということもあり、一生懸命交流しようとしている姿を多く見る事が出来ました。話をすることに夢中で気づいたら終了時間となっており、おかわりが出来なかったことが残念でした。各国の料理をおいしくいただきました。
- ・ 生徒達にとっては、めったに出来ない交流の体験なので、もう少し時間が確保できればいいかなと感じた。それでも、限られた時間の中で、うまく交流していた生徒達の意欲はすばらしいと感じた。
- ・ 実際に各国の研修員の方々と交流でき、生徒達も積極的にコミュニケーションをとっていました。ケニアに訪れた経験のある生徒がケニアの研修員と同じ班で、話が盛り上がっている様子を見ました。
- ・ どの班でも日本語の通じない方々と交流できているようで、別室にいる間に発表準備までできていてすごい！と思いました。ただ、せっかくの料理が余ってしまったのでは非常に残念でした。
- ・ 英語しか話せない相手から、情報を引き出して発表。それぞれのグループで国が違うので、発表を聞くことにも得ることがたくさんあることなどとても参考になりました。英語の授業で応用したいと思います。ただ、情報が多すぎてなかなか情報を頭に残すのは難しかったのかなと思います。
- ・ 生徒がとても楽しそうにしていたのが印象的でした。写真などが準備されていてそれを説明してもらったり発表させたり、短い時間で盛りだくさんの活動が出来たと思います。
- ・ 巻き寿司もあり、“一方通行”ではなく、お互いのことをお話できたことが良かったです。料理も様々な料理が用意され、文化を感じる事が出来ました。

[そ の 他]

- ・ 多くのプログラムが準備され、時間通りに進めるスケジュールだが、高校生のプログラムということを見ると質問コーナーや意見交換の時間が欲しい。また、本日の最初に発展途上国の抱える諸問題が合わせ絵ゲームで紹介されたが、もう少し具体的な内容まで深めた説明がそれぞれに欲しかった。
高校生には諸問題の深刻さも認識させたい。西アフリカの感染症問題(エボラ出血熱)

にも言及して欲しかった。

- ・ テンポ良くプログラムが進み、生徒の変化を感じることができた。このアンケート内容は無記名だが、各校毎の振り返りをしながら記入するのも良いと思った。みんなテンションが高いわけではなく、自分が出せなかった生徒へ声かけが必要だと感じた。本日はみな笑顔だったと思います。初日なのに充実度は200%です。ありがとうございました。
- ・ プログラム全般にわたってスタッフの方々の事前準備の細やかさと熱意に感心しました。2日目も楽しみにしております。
- ・ シャワーカーテンに水が飛び跳ねないか気がかりでした。部屋は快適で過ごしやすいです。
- ・ 高校生にとってもですが、我々にとってもいい体験です。
- ・ 初日から内容が盛りだくさんで生徒達も充実できたと思います。生徒同士の交流もあっという間に深まり、よく楽しめていたようでした。
- ・ とても充実しています。
- ・ スタッフの方々のてきぱきとした動きがとても素晴らしい!! 後2日間よろしくお願いします。(部屋もきれいで、ホテルみたーいと生徒は喜んでいました。)
- ・ 前回参加したときより、ゆったりしている感じを受けました。クーバラを全員でできたのは良かったです。

2 日目（教師用）

〔朝のつどい（ボディ花火）〕

- ・ 印象に残る面白運動だった。グループごとに練習する時間が少しあると、1日の初めとしては、テンションが上がりやすかったと思う。
- ・ 朝の気分をさらにすっきりさせる良い企画。班のコミュニケーションを再確認でき、班行動の再スタートとしてよかったです。
- ・ 元気よく体を動かして、しっかり目が覚めました。
- ・ 生徒達は朝眠たそうであったが、ボディ花火をおかげで一気に楽しくなった。軽快なリズムに乗り、大変良い内容でした。
- ・ ずっと建物内にいるので、外に出て体を動かすのはとても気持ち良かったです。簡単な動きですが、やっているうちに楽しくなりました。
- ・ 短時間で元気が出ました。ラジオ体操よりずっと高い効果があったと思う。いつも小さな声でしか自分を出せない子供達が笑顔で大きな声で両手を挙げていました。
- ・ 楽しかった。ウォーミングアップで使いたいと思います。
- ・ 目を覚ますのに気持ちの良い活動でした。常にチームワーク、みんなで協力というのはいいですね。
- ・ 初めての体験でラジオ体操よりもずっとわくわくして楽しかった。

- ・ 頭も体も眠っていたので、短時間で（それもラジオ体操以外で）目を覚ますことが出来て、よかったですし、効果的でした。

[国際理解ワークショップ（貿易ゲーム）]

- ・ 貿易ゲームはぜひ全生徒に体験して欲しいと思いました。自由貿易について考え実感する良いチャンスだと思います。貧しい国が貧しいのはその国の罪じゃないことが良くわかったと思います。
- ・ 貿易ゲームはすごく面白いと感じた。松永さんの進行がとても良かった。すごく大きな学びになったと思う。全グループの平均ジャイを評価しても面白かったと思う。
- ・ 各グループ自分達で一生懸命考えており、感心しました。
- ・ 貿易ゲームの奥深さに驚きました。振り返りに費やす時間が全体の 1/3 というのもじっくり考えることが出来る割合だと感じました。
- ・ 貿易ゲーム良かったです。特に振り返りをしてくださった広大さんのまとめがいろいろなポイントに適切に触れてくださっていたので全体的なことがわかりよかったと思います。
- ・ とても面白かった。生徒にきづかせるには、良い活動だと思う。
- ・ 貿易の仕方をわかりやすく、楽しく学べた。進行役の方の巧みな話術と洗練された展開術により生徒は活動に没頭していた。授業にもこれを応用し、準備と研究をしっかりとしなければと思った。

[青年海外協力隊体験談]

- ・ 実際に海外で活動することで、文化の違いを肌で知ったことがわかった。具体的なお話でした。実感がこもっていて、大変わかりやすかったです。
- ・ フィリピンの村落開発に携わった山田さん、ベナン共和国で栄養士として勤務された梅田さん、この2人の話はスライドを使いながらすばらしい体験談でした。厳しい状況の中で、使命感に燃えたお二人のお話は高校生の中にも、自分もぜひ挑戦してみたいと感じた人もいます。
- ・ やはり現地に行った方のお話は説明力があると思いました。現場で困ったことや、嬉しかったことなど、よく伝わってきました。あんなに細くてきれいなお2人がすごいと思います。
- ・ すごく刺激的な話で考えさせられた。逆に生徒の反応が薄くて、協力隊の方に申し訳ないと感じた。ワークシートがない方が話に反応を返しやすかったかもしれない。授業でも穴埋めのプリントを配ると生徒は記入することだけに一生懸命になってしまう。
- ・ 2人の講師の先生の話はこれから海外での活動を考える上でとても参考になったと思います。言葉や文化、習慣など、その地域の方々とどう打ち解けていくかのポイントが生徒たちにもよくわかったようでした。
- ・ まず好きであること。次に振り返ること。JICA の存在や世界について今も考え行動

することなど、2人の高校・大学時代の話はとても参考になりました。

- ・ 様々な情報を知ることができた。2人それぞれ違うきっかけ、体験談、とても活動の参考になりました。
- ・ 「どうしてあなた方が無理して行かなければならないの？ 他にいるでしょう。そこまでする必要はないのに」と思いながら話を聞いていたが、彼女らは、しっかりとした目的を持ち、責任を強く持ち、協力隊になったことに感動した。見習いたい。
- ・ プログラムの中でも楽しみにしていたものの1つで、多くのことを学ばせてもらいました。生の声を聞くことほど心に響くものはありません！

[青年海外協力隊活動計画作り]

- ・ テーマとしてはやはり難しいと思いますが、その中でどの班もよく考え工夫していたと思います。地域の方々が何を求め、望んでいるかをよく考え、伝え方にも工夫が必要。1人では大変ですね。また、村の状況を説明する寸劇はすばらしかったです。先生方も上手で、生徒達も驚いていました。実際にやってみることで生徒の理解も深まったと思います。
- ・ 生徒達が協力しながら、たくさん悩み、議論して意見をまとめるところが見られて良かった。すごく大きな学びになったと思う。しかし、議論が始まって少しするたびに新情報（ビデオ、村人への質問、協力隊員への質問など）が追加されていったので、生徒は混乱したかも知れない。
- ・ ウェストティモールの現状を踏まえ、協力隊の活動内容を作成するものでしたが、よく周到に準備された寸劇等もあり、とても理解しやすいものでした。参加しているすべての生徒に役を与えて参加させるやり方はとてもいいなと思います。
- ・ 「できない」が先に出たり、「必要ではない」と思えたり、思い切った発想が生まれず、慎重になってしまいました。しかし、「そこにしかないもの」を見つけたときさらにそれが良いものになるのでは？と話し合いが出てきました。
- ・ いろいろな情報の提供の仕方、感心しました。長時間にも関わらず全く時間を感じさせませんでした。生徒達もとても充実した時間を過ごしたと思います。

[そ の 他]

- ・ 明日、教員チームの発表が生徒より前にあるので生徒達が圧倒されるかもしれないと心配。
- ・ 夜の親睦会を開いていただきありがとうございます。青年海外協力隊でのエピソードや JICA の取り組みなど詳しく教えていただき楽しい時間を過ごすことができました。
- ・ 懇親会でたくさん話を伺うことが出来て楽しく過ごせました。
- ・ 懇親会で色々と話ができました。各校の先生方とは食事のときなどを利用してお話が出来ました。
- ・ それぞれの活動が、その後の活動につながっていて、とても上手に計画されていると

思った。

3 日目（教師用）

1. 3 日間を通してこのプログラムの満足度は パーセント

(人)

100%以上	5
90-99%	4
80-89%	0
79%以下	0
記載なし	1

理 由：

- ・ いいだろうな…と期待していましたが、まさにその通りでした。田舎の高校生たちが世界に目を向ける良い機会になりました。またプレゼンやディスカッション、サーベイの重要性もわかったようです。ありがとうございました。(100%)
- ・ 7年前に参加したときよりも（もちろんその時も良かったのですが）プログラムのそれぞれにかなりの工夫と改善があり、生徒ももちろんですが、引率の私も大満足でした。(100%)
- ・ 内容も豊富で充実した三日間でした。生徒たちもかなり刺激になったと思います。(100%)
- ・ 心に響く“言葉”に数多く出会いました。私自身の成長にもつなげられました。何より、生徒の笑顔と成長が見られたことが、1 番よかったです。(120%)
- ・ プログラムの中身、スタッフさんの準備や熱意にとっても感心させられました。予想以上の充実感です。しかし、少しテンポが速すぎて、もう少しゆっくり考え、深められる機会を持たせなかったと思う部分もありました。だから、「120%-20%=100%」です。(100%)
- ・ 1つ1つの活動がよく計画されていて、時間配分や内容もよく考えさせるものだったので。2%不足しているのは、自分自身がすべてにおいて 100%以上得ることができたかの自信がないので。(98%)
- ・ 国際協力について具体的に知ることができました。振り返ってまとめることで、再び思い出し、より定着させることが出来たと思います。(95%)
- ・ スタッフの方々が良く準備され楽しみながら仲間作りをし、海外協力隊の仕事について学ぶことができた。(90%)
- ・ 気づいて考えさせるしかけがたくさんありとてもよかった。(90%)
- ・ 引率者（教員）という視点で記録を含め出席（参加）したが、次第に、人として日本人として、JICA の一員として自分個人として考えながら参加していました。世界のことというより身近なこととして捉えられた！（満足度記載なし）

2. 全体の流れ、時間配分は適切でしたか？

(人)

とても良かった	6
良かった	4
あまり良くなかった	0
良くなかった	0

理 由：

【とても良かった】

- ・ スポーツが二日目でない分、体力は残っているが、しっかり考えるため疲れを通りこして、テンションが上がり盛り上がっていた。生徒たちが活発に話し合うことができていた。
- ・ 「時間が足りない！」とか「長すぎてだれる」とかなりがちですが、今回のプログラムはそのようなこともなく絶妙でした。
- ・ 欲を言えば、もう少しだけでも長く時間を取れたら…。楽しいうえに中身が濃いので。
- ・ 短すぎず、長すぎず、ほどよい時間でした。
- ・ 生徒達によく考える時間が与えられていた点
- ・ 二泊三日で、とても濃い内容のプログラムだったと思います。

【良かった】

- ・ 時間配分としては良かったが、スケジュールが少々 tight であったようで発表の途中でも発表の途中でも発表が途中でやめなければならない事もあった。
- ・ 説明・考えさせる時間、振り返る時間をしっかりとることができていたし、その時間を過ごせるだけの仕掛けをしていただいていたのでとてもよかった。
- ・ 慌しい場面もありましたが、その方が生徒も集中し、充実できたと思います。

3. 来年度の高校生国際協力実体験プログラムに向けて、改善点をご記入ください。

- ・ 体験談が「活動計画」に十分いかせていなかった。子どもの死や災害による悲しみをもっと共有していくべきだった。より良いものにするためにも事前学習後の声かけや指導をすべきだった。
- ・ 隣の九州国際大学の設備や学生との交流も考えられるのでは。高校生の中には大学で国際関係の学部に進みたい人もいるであろうし、大学生にとっても興味・関心を共有する高校生との交流も有意義だろう。大学キャンパスで学ぶのも魅力である。
- ・ 改善すべき点が思い浮かびません。二泊三日という短い研修期間でよくこれだけ盛り込むことができたなーと正直に思っています。また参加して別のネタも仕入れたいです。
- ・ とても素晴らしいプログラムで、改善点というのは今考え付きません。(もし、協力隊員の方で、日本国内での自然災害に派遣されることなどがあれば、他の国際 NGO とどのように協働するか、国内外に向けて活動情報などどう発信するかなど学ぶことも、一種の“国際協力”になりうるのではないかなと思います。)
- ・ 企画ごとにいろいろ趣向が凝らされていて、とても楽しめました。とても満足してい

ます。

- ・ 初めての生徒には、ちょうどよいプログラムだったと思います。生徒たちは、短かったと言っています。
- ・ 今回参加させていただき、プログラムの内容がよく分かりました。各学校からも話がありましたが、段階に応じた（続編のような）プログラムがあると生徒たちの興味関心もより深まっていくのかと感じました。
- ・ 扱い方によっては非常に難しいものになるのにとっても分かりやすく「心に響く活動」でした。とりいれたいなと思います。
- ・ 特にありませんが、「体育館シューズ」は下足ということですかね…。「体育館で使用するシューズ」という意味だったのでしょけど認識が違っていました。
- ・ 特にありませんが男女比をそろえるとか。

4. 今後、事後学習として取り組みたいこと、生徒たちと進めていきたいことをご記入ください。

- ・ 毎年、とにかく JICA と一緒に学ぶプランを立ち上げます。
- ・ まずは、エッセイコンテストに向けて、今考えていることを深めて欲しいと思います。そして応募します。11 月の文化祭では何らかの形で発表します。ステージ発表か展示になるか分かりませんが、他の生徒達に少しでも伝えたいと思っています。
- ・ 文化祭も終わったので、総合的な学習や AO 入試のプレゼンあたりで出来ないか…？
- ・ 日本だけでなく、諸外国でおきている諸問題を少しでも理解し何かしら出来る事を行うことができるよう学習させたい。
- ・ せっかくこのような活動ができたので、まず部活動内でシェアしていきたいです。その上で、文化祭などを通して、学校全体に還元していきたいと思います。“気づきのアンテナ”をこれからも持ち続ける努力をしていきます。
- ・ 今回学んだことを同学年の子どもたちと共有する機会を作りたい。貿易ゲームを取り入れたい。
- ・ 今回は総合学習の課題研究として参加させていただきました。国際理解と国際協力活動について学んだことをまとめ、班で認識を深めて、全体発表につなげていきたいと思います。
- ・ 生徒たちから「大変だけど頭に残る活動だった」という声が上がっていました。授業でもこのようなアクティブ・ラーニングが取り上げられればと思います。
- ・ クーバラ・貿易ゲーム・Reflection（このプログラムに参加する価値があると思っています。理由は特に最後に分かち合いがあるからです！）
- ・ 生徒達と、しっかり振り返りをして、体験や考えをまとめ、パワーポイントを使って発表の場を与えたいと思います。
- ・ 進路報告会で、参加した生徒に発表してもらい、国際協力への興味関心を持つ契機にして、ぜひこのプログラムへの参加を通して将来の進路実現に役立てたい。

5. JICA の開発教育支援にどのような役割を期待しますか。

- ・ 若者の活躍の場。
- ・ このようなプログラムがあることを初めて知りました。ぜひ継続して参加したいと思います。職員研修でもあったらいいのではと思いました。
- ・ 世界がひとつにつながれるよう…戦争はなかなかなくなりますが…。
- ・ JICA の教育支援をできれば学校教育にももっと導入できればと思います。学校では実体験に基づく授業がなかなか出来ず、説得力に欠く場合があるので、JICA の教育支援があればよいと思います。
- ・ 宮崎は特に海外との交流という面で、機会に限られる面もあるので、ぜひ海外からの研修員の方が来客されるときには学校交流も含めて検討していただけたら嬉しいです！
- ・ ぜひ、様々な活動を通じて、できるだけ、多くの生徒たちに国際理解についての意識を広げてもらえるように、頑張ってください。私も少しでも皆さんの活動について伝えることが出来ればと思っています。
- ・ この研修・体験を通して国際理解に興味関心を高めて、将来発展途上国の振興に役立ちたいと考える生徒がふえていくことを期待しています。
- ・ 生徒たちの顔つきが随分変わったように思います。“悩む顔”というか、何かにしっかり取り組んでいる良い顔です。
- ・ 期待というより、私自身、これからの教員生活の中で JICA のプログラムを積極的に取り入れていきたいと思っています。
- ・ 世界の中の日本を考えることは、広い視野をもつことにつながり、自分が周りの支えがあって生かされているということを考える…きっかけになりました。学校での出前授業などで、学年単位で共有できたらいいと思いました。

2014年度 第2回目 高校生国際協力実体験プログラム アンケート

1 日目（教師用）

1. 各プログラムの感想・意見・改善点などをご自由にご記入ください。

〔自己紹介・アイスブレイキング〕

- ・ とても面白かったし、自分の授業でも使えるなと思ったところがありました。
- ・ 様々なゲームを取り入れて、本当のアイスブレイクが出来ていたと思った。生徒たちも少しずつですが、打ち解けていくのを目の当たりにしました。新聞形式、プレゼンテーション、良いと思います。
- ・ 生徒を見ていたら、まず最初に引いてしまうところが日本人だなあと感じました。
- ・ バースデーラインや地球ビンゴ等、アレンジすれば授業でも活かせると思いました。生徒たちも何とかコミュニケーションをとろうとしていて、よいアイスブレイキングになったと思います。
- ・ 和やかに進められていて、その雰囲気の中、生徒たちは少しずつ仲良くなれていました！
- ・ 生徒たちがすぐに打ち解けて明るい表情になったので少しほっとしました（来る途中までは不安そうだったので）。学校紹介は、時間をかけて準備していたので一分間スピーチでは、生徒は少し残念そうでした。
- ・ いろいろ考えていただいており、説明などもおもしろく明確でした。事前研修のときに、時間通りきっちり進んでいくことなどを説明していただければ、生徒ももう少し早めの行動が出来たのではないかと思います。MDG'sの2015年までの目標が現在どれだけ達成しているのか知りたかった。2030年までに更に増えるのに対しての現実と目標達成の難しさなど。
- ・ 様々な工夫がされていて、とても楽しく過ごせました。授業でも取り入れることが出来る活動もあり、勉強になりました。
- ・ 自己紹介（学校紹介）では、各学校1分ずつということでしたが、時間が足りなさそうな学校がいくつかあったので、もう少し時間を延ばせないかなと思いました。初めは、同じ学校の友達としか話していなかった子ども達でしたが、アイスブレイキングのおかげで、他の学校の人とも話をし、打ち解けられていて良かったなと思います。また、そのアイスブレイキングも様々な種類を体験させていただき、とても楽しかったです。

〔クバーラ〕

- ・ クバーラ体験は、試合数を半分にして学びの部分（マダガスカルについての講話）を増やすのもいいのではないのでしょうか。マダガスカルだけで時間がもたないなら、普段高校生がその文化等あまり習わないような開発途上国を2～3取り上げてもいいと

思います。現地で生活された方からの話なので聞き入ってしまい、よく頭に入っていました。

- ・ 思った以上に戦略、戦術が必要なゲームでチームを作るのに大切と思いました。チームワークを磨くするには、もってこいのスポーツです。ぜひ、特別活動で導入したいと思います。
- ・ 道具の要らないスポーツは非常にいいものだと感じました。
- ・ 生徒たちはこのゲーム体験を通じて打ち解けたのではないかと思います。各校同士の交流を深める第一歩になった、とても内容のよい体験学習だったと思います。
- ・ ルールを理解するまでに時間がかかりましたが、若い生徒たちは感覚がさすが！ですね。リーダー的存在も見えてよかったです。
- ・ 生徒たちがどんどん真剣になっていったので、後半は対戦するのが怖いくらいでした。簡単なルールですが、いざ体を使うと難しくて奥に深いスポーツだなあと感じました。
- ・ 正式なルールの基礎など日本人が設定し、スポーツとして発展されたことについて初めて知り、こんなにおもしろくエコなスポーツがあるのだなと感心しました。実際にやってみないと分からないことが多かったですが、生徒も次第に真剣になっていく目や適応能力などが分かって楽しく参加させていただきました。
- ・ 説明を聞くだけでは分からなかったけれど、実際に体験できて、だんだんとクバーラの楽しさが分かりました。道具を使わず、体力差も、男女の体力差も考えず出来るよいスポーツと思いました。
- ・ 最初に、クバーラがどうやってできてきたかを教えてもらうことで、クバーラの事を一応理解してプレイすることが出来たので、とても良かったと思います。マダガスカルに実際にいっていた方がマダガスカルについて説明してくださり、とても興味を持って聞くことが出来ました。知らないことがたくさんあったので、とても楽しかったです。クバーラは、説明も丁寧にしてくださり、プレイする時間もたくさんあったので、とても楽しむことが出来ました。1つだけ…アウト、セーフがあいまいなことがちょっとあったので、もう少しピシッとやってもいいかなと思いました。

[国際交流パーティ]

- ・ とてもおいしかったし、生徒たちも研修員や他校のメンバーと楽しそうに食事が出来ていました。割りばしを未使用のまま捨ててしまっているようであれば使うか使わないか選べるようにセルフ式に料理の場所に置いておく等すれば少し無駄がなくなるかなと思います。
- ・ 初めてのスペイン語講座が大きいと思います。素地を作ってからパーティは、有意義だと思います。難しいかもですが、諸国事情を10～15分取ると盛り上がるかと思いました。
- ・ 事前に使用する言語がわかれば学校でも少し練習できるかと思いました。全体に各国の紹介があれば、生徒たちは情報の共有が出来るかもしれません。
- ・ あんなに多くの海外からの方達が参加してくれるとは思っていなかったので驚きまし

たが、言葉や文化の違う異国の人達と何とかコミュニケーションを取ろうとする生徒たちの様子は見ていてとても頼もしく感じられました。これからの成長が楽しみです。

- ・ 英語での会話が出来ないグループもあり、それが逆にコミュニケーションをとるために必死になれていて良かったと思います。
- ・ 珍しい料理で、とてもおいしくいただきました！ 欲を言えば、先生方のテーブルにもお一人くらい来てほしかったなあ！と思いました！ 料理の食べ方（手で食べる方法？）なども知りたいです。
- ・ グループ内で溶け込むことがそれぞれ出来ていて、興味深く真剣に研修員の方たちとコミュニケーションをとってよかったです。また、ジェスチャーや片言の英語、スペイン語が相手に通じるという喜びの表情、感想が聞けてよかったと思います。各国の料理も普段食べることの出来ないものばかりで良い経験になりました。
- ・ スペイン語講座から始まり、英語以外の言語でコミュニケーションをとる機会があったので、生徒たちは難しさを感じながらも楽しんでいるようでした。生き生きとした生徒達の顔が印象に残ります。
- ・ 各テーブルに2人も外国の方を招いていて、子供たちがみんな話したり、接したりする機会を得ることが出来たと思います。子ども達が、とても楽しそうでした。また、最初にスペイン語をいくつか教えてもらって、その後すぐ使う機会を持っていたので、意欲的に楽しく学ぶことが出来ました。私自身、スペイン語面白そうと興味を持ちました。様々な国の料理を用意してくださり、どれもおいしかったです。日本の料理とは違う味付けで、「こういう味のものを食べているのかー！」と思いました。

[そ の 他]

- ・ 自己紹介、アイスブレイキングを国際交流パーティに入れるとまた一層おもしろくなりそうな気がします。1日有難うございました。
- ・ スタッフの皆さんのチームワークがすばらしく、生徒達にはそういうところも学んでもらえたらと思います。あと2日、宜しく願いいたします。
- ・ いろいろな工夫があり、私自身楽しく参加しています。ありがとうございます。
- ・ JICAのスタッフの方々がいつも笑顔で優しく接して下さり、1日とても楽しかったです。プログラムの内容も、順番もとても工夫されているなと感じました。1日目、ありがとうございました。残り2日もよろしくお願いします。
- ・ お部屋の件で…大変きれいなお部屋で大満足ですが、洗面所の水が初め茶色の水が出てきてびっくりしました。長く使われていないお部屋だったのかもしれませんが。きれいな水があるだけ幸せなのですが…。生徒にはしばらく流水してから使うように言っておきました。
- ・ 個人的な疑問ですが、なぜJICAの皆さんはニックネームなのでしょうか。

2 日目（教師用）

〔朝のつどい（ボディ花火）〕

- ・ 手軽に出来て、一体感を感じることが出来て楽しく出来ました。
- ・ 朝の最初の活動としてとてもおもしろい試みだと思いましたが、スペースがもう少しあるところでやったらもう少し大きなきれいな円が作れたかもしれませんね。
- ・ 朝のウォーミングアップとしてよかったと思います。
- ・ 元気に動くことが出来たと思います。ケチャクダンスの様に面白かったです。1日を通じてボディ花火が出来るとより面白いので良いと思いました。疲れるかもですが。
- ・ ボディ花火大会と聞いてもっとすごく動く活動なのかと思っていましたが、程よい動きで安心しました。みんなが参加できる、しかも楽しくなる活動だと思いました。
- ・ 朝お天気にも恵まれて、楽しい時間でした。最後の大きな花火は、思いがけずちょっと感動しました。みんなが1つになるすばらしさを再確認しました。
- ・ 体も頭も声も使った活動で、目を覚ますにはピッタリだと思いました。
- ・ リズムカルで簡単でなおかつ、一発できれいな花火が打ちあがったのでとても良かった。

〔青年海外協力隊体験談〕

- ・ 分かりやすかったです。
- ・ とても分かりやすく現地での活動を伝えてくれたので生徒も理解し易かったと思います。任務も異なっていたため、協力隊員の活動の様子を、広く知ることができ、良かったと思います。またブドゥー教に対して理解を深められたので良かったです。
- ・ 内容が深いことと自分に知識や経験が全くないことから話されていることが映像として浮かんでできませんでした。分かったのは、マニュアルが存在しないので自分の判断で行動することがかなりあるのではないかなと言うことでした。
- ・ 生徒の質問がなかなか出ないのが残念である。生の声が聞けたのは良かった。
- ・ 実際の活動体験談を聞く機会が今まででなかったので、いい経験をさせていただきました。
- ・ 実際に体験した話の説得力には、私たちがどれだけ勉強して分かったつमりの話は到底及ばないと改めて実感です。もっともっと話を聞きたいです。
- ・ 二人の方から話を聞くことが出来、比較することが出来たので、とても良かったなと思いました。また、二人の話が同じ項目でまとめられていたので、特に分かりやすかったです。どちらのほうの話も、とても面白く興味がわきました。
- ・ 大人向けなプレゼン？体験だったのかなと思いました。ベナンに行かれた方は子ども達の引きが上手かったのだいぶ聞きやすかったと思いました。お話としては普段このように細かく聞けるチャンスがないので私もとても勉強になりました。
- ・ 両事例とも、その後の計画作りへの導入部として効果的だったと思います。「金は出

さない」「持続可能な発展のため」という主旨が生徒にも伝わったと思います。具体的な事例があったうえで、「日本的な協力」の方法論について語られていたところが、JICAとしての協力姿勢が生徒達に、説得性を持って伝わったと思います。「相手のニーズに立った協力」とは何か、自分でもやってみたい！と言うところが現れたと思います。

[国際理解ワークショップ（貿易ゲーム）]

- ・ とても考えさせる、国際協力の導入としてとても内容のよいものだと思います。世界のエネルギー消費との地区の対比はとても分かり易く印象の良いものでした。
- ・ 大きなテーマを、生徒達に分かり易く再確認するための活動だったと思います。
- ・ 子ども達の率直な行動が、世界の縮図のように思いました。人間のかしこさ、ずるさ、欲望など生徒達自身がより感じたのではないかと思います。
- ・ 貿易ゲームと言うものを初めて知りました。ルールもその意図もわかりやすく、ゲームでとても面白いと思いました。ぜひ、授業でもやってみたいです。
- ・ 貿易ゲームはとても明確で生徒も小さい世界から大きな世界に目を向けやすい内容で学校でも取り入れたいと思いました。
- ・ 価格の決定のメカニズムに際して、生徒が「陳情できる」アクションをいれるとおもしろいかと思います。がめついトレーダーが生まれるかと思いましたが生徒は案外「素直」でした。大学生、企業家(起業家)の人々がやると違う視点が生まれるかと思っています。(DEAR とかは、あまり想定していないかもですが…)幸せの概念の提示は、生徒達に刺激だと思いました。モノポリー国家の将来の役割を考えるのは興味深いです。

[青年海外協力隊・活動計画作り]

- ・ とても分かりやすく、またスタッフの方々のなりきり度が高かったので、疑似体験しやすかったです。
- ・ 大人は頭でっかちになりがちですね。協力の大切さを身にしみて感じました。
- ・ 初めて活動計画作りに参加しました。限られた期間で、周囲と協力して次につながるような援助を考えることは想像以上に大変でしたが、生徒たちがどのような計画作りを行ったのか、明日が楽しみです。
- ・ 実際活動されている隊員の方からすれば絵空事のようなものや「は？」みたいなものばかりだろうと思います。ただ、計画を作らせるための情報やプログラムの展開は綿密に計画されていて驚きました。
- ・ 具体的な場面設定、質問受付など、生徒が活発に動ける工夫がされていた。
- ・ 一番の軸となる活動だと思います。子ども達が生き生きと取り組んでいた姿が印象的でした。人々にニーズを聞き、入り込む大切さを感じさせただけでも、高校生以降の学術学問へ対するアプローチの1つの方法を自然と身につけたと思います。有難うございます。

- ・ 実際に私たちも活動計画を作ったので、生徒達が感じている難しさを感じることが出来、またどのように生徒達に考えてもらったらいいかを、考えることが出来た。自分の授業の持っていきかたにも取り入れていきたいと思いました。
- ・ いざ活動計画を立てるとなると、何を求められているか、何を優先すべきか、どこまで関わるべきかなど、難しいと感じました。明日の発表、緊張します！頑張ります！
- ・ 寸劇、少し緊張しましたが、面白かったです。子ども達からの反応があまり感じられませんでした。理解の役に立っていればいいなと思います。人がやったことを聞くことだけでは「すごいなー」と思うのだけですが、自分がやるとなると、具体的に考え問題も見つかるので、とってもいい体験だなと思いました。
- ・ 生徒以上に教師チームも真剣になって取り組みましたし、何より1番良く分かったのは、生徒のほう人が話を良く聞いていること。こちらが生徒のほうを盗み見るほどでした。しかし、考えれば考えるほど泥沼にはまっていき、どうすれば現地の方が考えてその意味を見出してくれるようになるかが難しく、簡単に国際協力と口に出来ないなと実感しました。そして、問題がたくさんありすぎる。根本はひとつだけ。二年間の協力では力が及ばないこと、短期間では改善できない問題がたくさんあることなどを学びました。

[そ の 他]

- ・ 交流会、とても楽しかったです。普段学校という狭い世界で生活していると、時々、疑問を感じたりすることがあります。いろんな人から、たくさんパワーをもらいました！明日も楽しみです！
- ・ 教員研修で数多くの研究作業や授業の組み立て方の事例等見てきましたが、あの短時間で生徒（と教員グループ）にあれほどの計画を練らせる仕掛けは勉強させていただきました。純粋な学習内容についても当然勉強になりました。
- ・ 子ども達が、緊張の糸が吹っ切れた生きた姿が見られました。本当にありがとうございます。
- ・ 一つ一つの活動がつながっていてよく考えられたすばらしいプログラムだと思いました。
- ・ 懇親会を開いてくださりありがとうございました。もっとお一人ひとりと話をして体験談などを聞かせていただきたかったです。あっという間の時間でした。楽しかったです。
- ・ どの活動も自分の頭を使ってよく考えるものでした。私も国際協力についてもっと勉強し、授業に取り入れたいと思いました。

3 日目（教師用）

1. 3 日間を通してこのプログラムの満足度は パーセント

(人)

100%以上	4
90-99%	2
80-89%	2
79%以下	0
記載なし	1

理 由：

- ・ 自身、3 回参加しましたが、年々バージョンアップしてきていると感じます。1 つ 1 つのプログラムを「やりっぱなし」にするのではなく、振り返りの時間をきちんと取られていること。そして、刺激の多いプログラムがたくさんで大いに啓発された（学生、生徒、教員も）と思います。（150%）
- ・ 生徒たちが自分たちで考えるための“種まき”をたくさんしていただきました。普段、やっているつもりでいましたが、やはり偏っていたり、押し付けになっていたりしたと思います。また私自身、隊員の皆さんから人間的にたくさんの学びや気づきをいただきました。本当にありがとうございました。（120%）
- ・ 1 つ 1 つの活動が、最終日のプレゼンにつながっていたので、私自身勉強になりました。また、チームでする活動が多く、3 日間で子ども達は友人を作りやすかったと思います。（100%）
- ・ 今まで得られなかった情報などを知れて、とても勉強になりました。生徒もそれぞれの活動に真剣に取り組むことができていましたし、チームやその枠を越えて交流ができていたので。（100%）
- ・ 大満足です！ 生徒たちも充実した 3 日間だったと！ 1%は私自身が、どのようなスタンスで参加すべきか最後まで迷っていた部分があったことです。私自身の問題です！（99%）
- ・ 日頃からぼんやりとしか思っていなかったことが多かったですが、協力隊の方々の話を聞いたり、活動計画を作ったりして、真剣に身近に感じる事が出来ました。自分も何かできそうと思いました。（95%）
- ・ 生徒たちは各アクティビティに対してよく活動できていたと思う。ただ、プレゼンテーションに対しての質問がなかなかでないことが残念であった。生徒の質問を引き出す何かがないのかと思いました。（学校でも悩んでいます。）グループ分けの方法が良い。生徒たちはすぐ仲良くなれる。（80%）
- ・ 途中プログラムを一部受けていないから。（80%）
- ・ 各協力隊員のこれまでの経験を通しての活動をいろいろと生徒達と体験することが出来、国際援助・協力の形を幅広く学べたことはとても収穫のある内容だったと思います。またスーパーもすぐ後ろにあったので生徒も摂れる（食べたい）食事に制限がな

くて良かったと思います。(満足度記載なし)

2. 全体の流れ、時間配分は適切でしたか？

(人)

とても良かった	4
良かった	5
あまり良くなかった	0
良くなかった	0

理 由：

【とても良かった】

- ・ テンポよく、でも詰め込み過ぎないバランスでとても良かったと思います。生徒たちの思考が断ち切られないだけの時間もそれぞれしっかり確保してありました。
- ・ どの活動もしっかり時間を取っていて、きちんと活動することが出来ました。流れも、だんだん自分で考え、参加するようになっていて良かったと思います。
- ・ メリハリがあってとても良かったと思います。最後の振り返りまでとても面白いプログラムでした。

【良かった】

- ・ 3日目の発表に向けての話し合い、聞き取り、発表に生徒たちは良く取り組んでいた。深く考え、話し合う時間があったと思います。
- ・ どのプログラムも充実していて、あつという間の時間でした。もう少しゆとりが欲しい気もします。
- ・ 座学だけでなく、体を動かす活動や目で見て楽しめる工夫がたくさん盛り込まれている3日間でした。
- ・ 弱冠は前後しましたが、時間通りにプログラムが進むようにメンバーの方々が配慮していただいたことは有難く思いました。
- ・ 少しタイトだと思いましたが、ほとんど計画通りでよかったと思います。

3. 来年度の高校生国際協力実体験プログラムに向けて、改善点をご記入ください。

- ・ 生徒の質問を引き出す要素を入れてもらいたい。最近、地理を選択する生徒は多くありません。プログラムで触れる国名について事前に分かれば、少しは勉強してこれるかと思いました。
- ・ 思いつきません。来年参加しても、また新鮮な気持ちで参加できると思います！
- ・ 活動計画作りにぜひ元隊員の方に入っていただき、更に深めてより実践的な計画作りもさせてみたいと思います。質問がいろいろ出て考えさせられていると思うので、中間発表と最終発表まで出来ると言います。(時間がないとは思いますが…)
- ・ 寸劇のとき、ちょっとガラガラなってしまったので(自分も含め)、一回リハがしたいなと思いました。
- ・ “この村にはどんな人がいますか？”という質問は生徒たちは何を答えていいのか迷っているようでした。どんな職業の人が良かったのかと思いました。

- ・ 開発援助や協力の仕方をもう少し勉強する時間を設けた上で援助計画作成に取り組ませたほうが生徒たちも自分たちが何を求められているのか明確になり、もっと良い内容の計画に繋がったのかと思います。
- ・ 最後のプログラム（活動計画の作成）は、やはりとても面白いし、有意義であると思いました。難しいかも知れませんが、もう少し長い時間をかけてとことんやると面白いのではと思います（例えば、お題を2つ出すなど）。「プレゼンテーション」、「質問」、「ロールプレイ」など様々な要素が磨かれます。素晴らしい。2泊3日→3泊4日でも面白いと思います。大変になるとは思いますが、とても良いプログラムで「仲間作り」をしていくのももう一つの効能だと思います。
- ・ 事前学習のときにももう少し具体的な内容が知りたかった。
- ・ 時期の設定が難しいと思います。行事予定に年度当初から入れておけば助かります。

4. 今後、事後学習として取り組みたいこと、生徒たちと進めていきたいことをご記入ください。

- ・ 2、3学期にある発表会で、今回の研修内容についてプレゼンテーションをしてもらおうと思っています。
- ・ 世界に目を向けること、そして、世界の人々とともに活動していくために何ができるか。「施し」でない支援のあり方を考え、行動していきたい！
- ・ 今回のプログラムをぜひ発表する場を作りたいと思います。今回は三年生の参加でしたが、今後は一、二年生にも参加を呼びかけて、学校全体で国際協力に取り組んで行きたいと思います。
- ・ 文化祭での発表、エッセイコンテストへの応募をしたいと思います。
- ・ 同じ科あるいは学校全体に対して報告会。JICA の作文コンクールへの応募をし、自ら振り返る時間を作りたいと思います。
- ・ 今回活動している中では触れられませんでした。国際協力の求められているプログラムに参加し、学校の所存する地域や学校の特性を活かした支援の形を考えていきたいと思います。今後ぜひいろいろとお話を伺っていただきたいと思います。
- ・ 世界に出させていきたいと思います。特に途上国中心に単身で行かせたいと思います。その為のノウハウを伝えていきます。具体的な将来を考えさせる。「3年生での将来の夢」を明確化させ、実現可能か、それ以外の要因を話して文章として残せていける形にしたいと思います。他校との仲間づくり（ヨコのつながり）
- ・ 今日のこの実体験の経験を学校で発表させ、またそこから JICA の活動に興味をもってもらえるよう伝えさせたい。真の国際協力とは何かをクラスで考えさせ、参加した生徒にアドバイザーとして展開できるように授業に取り入れたいと思います。
- ・ 卒業研究として継続していきます。

5. JICA の開発教育支援にどのような役割を期待しますか。

- ・ 一歩の出だしを待たずに踏み出せる日本人の育成
- ・ 生徒、教師共に広い視野で物事を見たり考えたりすることが出来る（現地に行かずとも、現地のことを身近に感じる事が出来る）様な機会。
- ・ 教師用のプログラムもぜひ開いてください！
- ・ このプログラムに参加することで、国際協力についてより具体的に身近なものとして考えることが出来たので、子ども達も、もっと興味を持って、実際に行動する子どもも増えてくると思います。
- ・ 他の生徒達にも参加させたい。とても良い研修だと思いますので、今後もぜひ続けていって欲しいと思いました。出前授業もあると聞きましたので、検討したいと思いました。
- ・ 小学校・中学校・高校生と、対象とする学年に特化した、どのような教科や学習時間で取り組ませることが出来るかを念頭に置いた上で、教材の選定、提供を行って欲しいと思います。また値段は出来ればもう少し安くしてもらえるとありがたいです。
- ・ 大変だとは思いますが、この実体験プログラムは素晴らしいと思います。この機会をたくさん増やして（夏、冬、春？）いっていただけたらと思います。どうか宜しくお願い致します。
- ・ もっともっと実情や体験などについて伝える場所をもって頂き、参加する人、興味をもってもらえる人を増やし、私たちの日本での生活もよりよくなるように意識を変えてもらえるように活動してもらいたい。
- ・ 学校の教員のように個人負担があまりに増えないよう行政の方で頑張ってもらいたいです。隊員の善意に頼りすぎないようにしてほしいです。3日間お世話になりました。有難うございました。

